

令和5年度

各会計決算における
主要な施策の成果等報告書

福島市

目 次

令和5年度決算における主要な施策の成果報告書

1 一 般 会 計	4
2 国民健康保険事業費特別会計	89
3 飯坂町財産区特別会計	95
4 公設地方卸売市場事業費特別会計	98
5 土地区画整理事業費特別会計	102
6 介護保険事業費特別会計	104
7 庁舎整備基金運用特別会計	109
8 後期高齢者医療事業費特別会計	111
9 青木財産区特別会計	114
10 工業団地整備事業費特別会計	116
11 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計	119

各基金運用状況報告書

1 福島市土地開発基金	121
-------------------	-----

凡 例

- 1 文中及び表中に用いた数字は、原則として表示数値未満を四捨五入して表示した。
したがって、差し引き及び合計金額と内訳の計が一致しない場合がある。
- 2 比率は、原則として表中の数値により算出（表示数値未満を四捨五入）して表示した。
- 3 構成比は、原則として表中の数値により算出（表示数値未満を四捨五入）して表示した。
したがって、内訳の計が100にならない場合がある。

令和5年度決算における主要な施策の成果報告書

令和5年度一般会計及び特別会計の決算を議会の認定に付するにあたって、地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定により、主要な施策の成果について報告いたします。

1 一般会計

一般会計決算

令和5年度一般会計歳入歳出予算は、当初114,700,000千円で、その後11回の補正を行い、令和4年度からの繰越事業費を合わせると最終予算額は、140,153,962千円となった。

これに対して決算額は、歳入133,356,448千円、歳出127,913,855千円で、差引き5,442,593千円の決算剰余金を生じた。

このうち、（仮称）市民センター整備事業など6事業の継続費繰越に伴う持越所要財源201,613千円、清水支所建設事業など48事業の繰越明許費繰越に伴う持越所要財源1,459,536千円及び災害等廃棄物処理事業（令和4年福島県沖地震関連）など2事業の事故繰越に伴う持越所要財源665,884千円を控除すると、純剰余金は3,115,560千円となった。

各年度の決算状況は別表第1のとおりであり、令和5年度は、前年度に比較し、歳入は1.1%の減、歳出は2.5%の増となったが、「第6次福島市総合計画」に基づき、本市の新たなステージに向けたまちづくりやポストコロナに向けた各種事業に取り組んだ。

なお、決算の内容等については、下記資料のとおりである。

記

別表第1	各年度の決算状況	6
別表第2	令和5年度歳入歳出予算の補正状況	8
別表第3	令和5年度市税徴収実績	10
別表第4	令和5年度税外収入の収入未済額内訳	12
別表第5	令和5年度歳出の性質別決算額	16
別表第6	地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられた社会保障施策経費	18
別表第7	基金の状況	19
別表第8	主要な施策の成果報告	20
	総 務 費	20
	民 生 費	28
	衛 生 費	40
	労 働 費	50
	農林水産業費	51
	商 工 費	58
	土 木 費	64
	消 防 費	73
	教 育 費	74
	災 害 復 旧 費	87

別表第1

各年度の決算状況

(単位 千円、%)

年度	予算額				歳入決算額						歳出決算額					決算剰余額		
	当初	補正	繰越事業等 充当分	計	調定	収入	対前年度		予算に対して		支出	対前年度		翌年度 繰越額	不用額	金額	左のうち	
							増減額	増減率	繰越事業 等のため	その他		増減額	増減率				繰越 事業等 充当分	純剰余金
21	85,020,000	6,388,926	6,488,335	97,897,261	101,799,499	93,477,637	△ 447,896	△ 0.5	△ 4,732,143	312,519	89,259,562	3,687,977	4.3	5,978,962	2,658,737	4,218,075	1,246,819	2,971,256
22	89,550,000	9,922,364	5,978,962	105,451,326	108,173,898	103,445,344	9,967,707	10.7	△ 1,177,007	△ 828,975	99,904,001	10,644,439	11.9	2,667,986	2,879,339	3,541,343	1,490,979	2,050,364
23	87,980,000	28,773,405	2,667,986	119,421,391	123,270,932	111,227,237	7,781,893	7.5	△ 8,792,683	598,529	104,290,104	4,386,103	4.4	10,226,783	4,904,504	6,937,133	1,434,100	5,503,033
24	129,920,000	30,419,628	10,226,783	170,566,411	172,273,004	126,507,787	15,280,550	13.7	△ 42,970,081	△ 1,088,543	120,320,908	16,030,804	15.4	44,209,649	6,035,854	6,186,879	1,239,568	4,947,311
25	159,900,000	15,781,249	44,209,649	219,890,898	215,823,617	158,239,849	31,732,062	25.1	△ 55,035,341	△ 6,615,708	152,295,962	31,975,054	26.6	56,323,085	11,271,851	5,943,887	1,287,744	4,656,143
26	178,750,000	32,226,252	56,323,085	267,299,337	268,383,145	198,042,079	39,802,230	25.2	△ 67,928,051	△ 1,329,207	188,956,786	36,660,824	24.1	72,123,876	6,218,675	9,085,293	4,195,825	4,889,468
27	210,210,000	△ 3,482,392	72,123,876	278,851,484	268,028,222	201,245,615	3,203,536	1.6	△ 64,779,178	△ 12,826,691	194,837,832	5,881,046	3.1	65,243,511	18,770,141	6,407,783	464,333	5,943,450

(単位 千円、%)

年度	予 算 額				歳 入 決 算 額						歳 出 決 算 額					決 算 剩 余 額		
	当 初	補 正	繰 越 事業等 充当分	計	調 定	収 入	対前年度		予算に対して		支 出	対前年度		翌年度 繰越額	不用額	金 額	左のうち	
							増減額	増減率	繰越事業 等のため	その他		増減額	増減率				繰 越 事業等 充当分	純剰余金
28	188,580,000	△ 7,962,410	65,243,511	245,861,101	233,167,212	196,502,749	△ 4,742,866	△ 2.4	△ 34,891,610	△ 14,466,742	191,889,717	△ 2,948,115	△ 1.5	35,460,899	18,510,486	4,613,032	569,288	4,043,744
29	141,880,000	5,499,785	35,460,899	182,840,684	172,277,465	140,017,478	△ 56,485,271	△ 28.7	△ 30,679,535	△ 12,143,671	134,525,411	△ 57,364,306	△ 29.9	32,065,652	16,249,621	5,492,067	1,386,118	4,105,949
30	134,840,000	△ 9,592,449	32,065,652	157,313,203	150,650,158	137,021,702	△ 2,995,776	△ 2.1	△ 12,217,000	△ 8,074,501	131,256,692	△ 3,268,719	△ 2.4	13,184,215	12,872,296	5,765,010	967,215	4,797,795
令 元	123,450,000	9,058,660	13,184,215	145,692,875	143,322,288	125,992,074	△ 11,029,628	△ 8.0	△ 15,937,518	△ 3,763,283	119,662,809	△ 11,593,883	△ 8.8	17,217,007	8,813,059	6,329,265	1,279,489	5,049,776
2	117,000,000	45,112,391	17,217,007	179,329,398	175,318,401	161,493,057	35,500,983	28.2	△ 12,070,765	△ 5,765,576	153,887,225	34,224,416	28.6	14,259,766	11,182,408	7,605,832	2,189,000	5,416,832
3	112,300,000	25,620,064	14,259,766	152,179,830	153,342,207	143,906,817	△ 17,586,240	△ 10.9	△ 7,660,766	△ 612,247	133,355,526	△ 20,531,699	△ 13.3	9,388,134	9,436,170	10,551,291	1,727,368	8,823,923
4	115,900,000	20,820,283	9,388,134	146,108,417	146,628,991	134,877,190	△ 9,029,627	△ 6.3	△ 10,378,315	△ 852,912	124,834,763	△ 8,520,763	△ 6.4	13,420,957	7,852,697	10,042,427	3,042,643	6,999,784
5	114,700,000	12,033,005	13,420,957	140,153,962	139,411,725	133,356,448	△ 1,520,742	△ 1.1	△ 4,429,129	△ 2,368,385	127,913,855	3,079,092	2.5	6,756,162	5,483,945	5,442,593	2,327,033	3,115,560

別表第2

令和5年度歳入歳出予算の補正状況

(単位 千円)

補正 の 月日	予 算 額		補 正 の 概 要			
	補 正 額	累 計	歳 出		歳 入	
					歳出補正に伴う特定財源	そ の 他
5.3.24	(当初予算額)	114,700,000				
5.4.25	1,386,844	116,086,844	住民税非課税世帯等生活支援特別給付金給付事業費 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費 福島型給食推進事業費 その他	992,500 286,000 100,044 8,300	国庫支出金 289,750 県支出金 1,250	国庫支出金 1,092,544 繰越金 3,300
5.5.30	1,309,085	117,395,929	国庫支出金返還金 飼料価格高騰緊急対策事業費 福島市デジタルくーぼん事業費	471,640 23,445 814,000		国庫支出金 623,812 繰越金 685,273
5.6.15	523,841	117,919,770	高齢者福祉施設整備費補助金 未就園児の定期的な預かりモデル事業費 (仮称) もりあい認定こども園整備事業費 街なか空き店舗入居者家賃補助事業費 街なか再生リノベーション事業費 企業立地促進費 その他	97,404 8,083 20,300 25,000 25,000 155,533 192,521	国庫支出金 18,094 県支出金 110,057 市債 31,600	繰越金 364,090
5.9.1	65,777	117,985,547	(仮称) 市民センター整備事業費 高齢者エアコン設置緊急支援事業費 国庫支出金返還金	33,234 22,550 9,993	国庫支出金 2,285 繰入金 3,049 市債 27,900	繰越金 32,543
5.9.25	585,495	118,571,042	復興基金積立金 放課後児童クラブ整備事業費 光熱費高騰対策支援事業費 あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備事業費 松陵中学校校舎等改築事業費 三河台学習センター整備事業費 古閑裕而を活かしたまちづくり事業費 その他	272,074 12,600 46,901 11,088 50,000 76,000 13,000 103,832	国庫支出金 18,500 県支出金 12,900 市債 134,500	繰越金 419,595

(単位 千円)

補正 の 月日	予 算 額		補 正 の 概 要			
	補 正 額	累 計	歳 出	歳 入		
				歳出補正に伴う特定財源	そ の 他	
5.12.15	715,108	119,286,150	清水支所建設事業費 病児・病後児保育施設整備事業費 子どもの医療確保対策事業費 四季の里整備費 河川土砂浚渫事業費 学校教育運営費 その他	45,000 14,133 33,000 13,000 50,000 155,401 404,574	分担金及び負担金 8,293 国庫支出金 19,428 県支出金 6,728 市債 90,500	繰越金 529,959 市債 60,200
5.12.15	2,447,727	121,733,877	住民税非課税世帯等生活支援特別給付金給付事業費 一般職員の給与改定等に伴う職員給与費等及び他会計繰出金 その他	1,998,000 185,503 264,224	国庫支出金 145,261 市債 122,800	国庫支出金 1,998,000 繰越金 181,666
5.12.15	710,000	122,443,877	福島市デジタルくーぼん事業費	710,000		国庫支出金 513,253 繰越金 196,747
(専決) 6.2.2	640,000	123,083,877	住民税非課税世帯等生活支援特別給付金給付事業費	640,000		国庫支出金 640,000
6.3.1	47,077	123,130,954	(仮称) 市民センター整備事業費	47,077	国庫支出金 20,590 繰入金 2,787 市債 23,700	
6.3.26	3,602,051	126,733,005	財政調整基金積立金 減債基金積立金 環境基金積立金 福島駅東口地区市街地再開発事業費 仮置場返還等推進事業費 その他	3,000,000 600,000 1,700,000 △ 1,269,800 △ 953,000 524,851	国庫支出金 △ 763,803 県支出金 △ 1,191,147 寄附金 122,745 繰入金 △ 31,750 諸収入 △ 6,411 市債 △ 806,700	地方交付税 1,567,976 財産収入 206,463 寄附金 50,000 繰越金 4,321,196 諸収入 33,482 市債 100,000

別表第3

令和5年度市税徴収実績

(単位 千円)

科目	区分	調 定 額			収 入 済 額			不納欠損額 ($\frac{\text{上段・現年分}}{\text{下段・滞納分}}$)	収 入 未 済 額			収 入 率(%)		
		現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分	滞納繰越分	計		現年課税分	滞納繰越分	計	現	滞	計
一	普 通 税	37,777,394	947,678	38,725,072	(13,624) 37,450,660	(426) 248,073	(14,050) 37,698,733	— 91,372	340,358	608,659	949,017	99.1	26.2	97.3
1	法 定 普 通 税	37,777,394	947,678	38,725,072	(13,624) 37,450,660	(426) 248,073	(14,050) 37,698,733	— 91,372	340,358	608,659	949,017	99.1	26.2	97.3
	(1) 市 民 税	17,613,274	470,159	18,083,433	(11,961) 17,445,641	(229) 124,466	(12,190) 17,570,107	— 47,737	179,594	298,185	477,779	99.0	26.5	97.2
	○ 個 人	15,413,010	419,981	15,832,991	(6,119) 15,253,023	(99) 118,257	(6,218) 15,371,280	— 37,470	166,106	264,353	430,459	99.0	28.2	97.1
	均 等 割	495,381	13,498	508,879	(197) 490,239	(3) 3,801	(200) 494,040	— 1,204	5,339	8,496	13,835	99.0	28.2	97.1
	所 得 割	14,917,629	406,483	15,324,112	(5,922) 14,762,784	(96) 114,456	(6,018) 14,877,240	— 36,266	160,767	255,857	416,624	99.0	28.2	97.1
	○ 法 人	2,200,264	50,178	2,250,442	(5,842) 2,192,618	(130) 6,209	(5,972) 2,198,827	— 10,267	13,488	33,832	47,320	99.7	12.4	97.7
	均 等 割	815,886	18,607	834,493	(2,166) 813,051	(48) 2,302	(2,214) 815,353	— 3,807	5,001	12,546	17,547	99.7	12.4	97.7
	法 人 税 割	1,384,378	31,571	1,415,949	(3,676) 1,379,567	(82) 3,907	(3,758) 1,383,474	— 6,460	8,487	21,286	29,773	99.7	12.4	97.7
	(2) 固 定 資 産 税	17,202,509	447,916	17,650,425	(1,516) 17,052,334	(195) 116,561	(1,711) 17,168,895	— 40,168	151,691	291,382	443,073	99.1	26.0	97.3
	○ 純固定資産税	16,939,635	447,916	17,387,551	(1,516) 16,789,460	(195) 116,561	(1,711) 16,906,021	— 40,168	151,691	291,382	443,073	99.1	26.0	97.2
	土 地	5,705,272	150,858	5,856,130	(511) 5,654,693	(66) 39,258	(577) 5,693,951	— 13,529	51,090	98,137	149,227	99.1	26.0	97.2

科目	区分	調 定 額			収 入 済 額			不納欠損額 〔上段：現年分 下段：滞納分〕	収 入 未 済 額			収 入 率(%)		
		現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分	滞納繰越分	計		現年課税分	滞納繰越分	計	現	滞	計
家 屋		7,991,735	211,317	8,203,052	(715) 7,920,886	(92) 54,991	(807) 7,975,877	－ 18,950	71,564	137,468	209,032	99.1	26.0	97.2
償 却		3,242,628	85,741	3,328,369	(290) 3,213,881	(37) 22,312	(327) 3,236,193	－ 7,689	29,037	55,777	84,814	99.1	26.0	97.2
○ 交 付 金		262,874	－	262,874	(－) 262,874	(－) －	(－) 262,874	－ －	－	－	－	100.0	－	100.0
(3) 軽自動車税		914,545	29,603	944,148	(147) 905,619	(2) 7,046	(149) 912,665	－ 3,467	9,073	19,092	28,165	99.0	23.8	96.7
○ 環境性能割		56,680	－	56,680	(－) 56,680	(－) －	(－) 56,680	－ －	－	－	－	100.0	－	100.0
○ 種 別 割		857,865	29,603	887,468	(147) 848,939	(2) 7,046	(149) 855,985	－ 3,467	9,073	19,092	28,165	99.0	23.8	96.5
(4) 市たばこ税		2,047,066	－	2,047,066	(－) 2,047,066	(－) －	(－) 2,047,066	－ －	－	－	－	100.0	－	100.0
二 目 的 税		2,953,287	79,698	3,032,985	(258) 2,924,496	(33) 21,716	(291) 2,946,212	－ 6,688	29,049	51,327	80,376	99.0	27.2	97.1
(1) 入 湯 税		96,721	4,460	101,181	(2) 93,224	(－) 2,057	(2) 95,281	－ －	3,499	2,403	5,902	96.4	46.1	94.2
(2) 都市計画税		2,856,566	75,238	2,931,804	(256) 2,831,272	(33) 19,659	(289) 2,850,931	－ 6,688	25,550	48,924	74,474	99.1	26.1	97.2
合 計		40,730,681	1,027,376	41,758,057	(13,882) 40,375,156	(459) 269,789	(14,341) 40,644,945	－ 98,060	369,407	659,986	1,029,393	99.1	26.3	97.3

(注) 収入済額欄中 () は内書、未還付額である。

別表第4

令和5年度税外収入の収入未済額内訳

(単位 円)

科 目		現年度・滞 納繰越の別	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入率 (%)	不納欠損額	収入未済額	収入未済額計
分担金及び負担金	社 会 福 祉 費 負 担 金	現	111,938,000	109,103,436	107,988,715	99.0	-	1,114,721	4,849,179
		滞	-	6,548,156	1,496,565	22.9	1,317,133	3,734,458	
	児 童 福 祉 費 負 担 金	現	427,685,000	446,157,810	444,624,130	99.7	-	1,533,680	12,786,980
		滞	-	13,497,575	1,391,600	10.3	852,675	11,253,300	
使用料及び手数料	保 健 衛 生 施 設 使 用 料	現	153,649,000	93,423,156	93,389,116	99.9	-	34,040	66,190
		滞	-	63,250	26,050	41.2	5,050	32,150	
	農 業 施 設 使 用 料	滞	-	2,560	1,280	50.0	-	1,280	1,280
	商 工 観 光 施 設 使 用 料	滞	-	4,617,024	-	0.0	-	4,617,024	4,617,024
	道 路 橋 り よ う 使 用 料	滞	-	36,660	23,940	65.3	-	12,720	12,720
	都 市 計 画 使 用 料	現	3,634,000	3,346,751	3,323,644	99.3	-	23,107	23,107
	市 営 住 宅 使 用 料	現	557,460,000	539,626,100	536,725,500	99.5	-	2,900,600	13,618,530
		滞	4,992,000	17,677,920	4,088,160	23.1	2,871,830	10,717,930	
	特 別 市 営 住 宅 使 用 料	現	52,980,000	50,991,100	50,931,100	99.9	-	60,000	60,000
		滞	-	120,000	120,000	100.0	-	-	
	子 育 て 住 宅 使 用 料	現	11,800,000	13,161,200	12,427,200	94.4	-	734,000	826,000
		滞	11,000	253,700	161,700	63.7	-	92,000	
	市 営 住 宅 等 駐 車 場 使 用 料	現	23,265,000	22,699,200	22,577,500	99.5	-	121,700	258,800
		滞	180,000	225,600	88,500	39.2	-	137,100	
	清 掃 手 数 料	滞	-	99,100	-	0.0	-	99,100	99,100
国 庫 支 出 金	保 健 衛 生 費 負 担 金	現	701,743,000	469,358,120	413,358,715	88.1	-	55,999,405	55,999,405
	舗 装 道 維 持 修 繕 費 負 担 金	滞	12,000,000	10,317,060	10,317,060	100.0	-	-	-
	中 学 校 費 負 担 金	現	591,642,000	605,158,000	345,270,000	57.1	-	259,888,000	259,888,000
		滞	261,853,000	245,108,000	245,108,000	100.0	-	-	
	特 別 支 援 学 校 費 負 担 金	滞	25,894,000	24,654,000	24,654,000	100.0	-	-	-
	土 木 施 設 災 害 復 旧 費 負 担 金	現	5,213,000	5,137,000	-	0.0	-	5,137,000	5,137,000
	デ ジ タ ル 田 園 都 市 国 家 構 想 交 付 金	滞	124,786,000	119,706,704	119,706,704	100.0	-	-	-
	総 務 管 理 費 補 助 金	現	32,000,000	32,000,000	-	0.0	-	32,000,000	32,000,000
	社 会 福 祉 費 補 助 金	滞	100,244,000	99,794,000	99,794,000	100.0	-	-	-
	児 童 福 祉 費 補 助 金	現	4,711,000	4,711,000	-	0.0	-	4,711,000	4,711,000
		滞	18,789,000	18,789,000	18,789,000	100.0	-	-	
	保 健 衛 生 費 補 助 金	現	771,705,000	616,764,000	606,168,000	98.3	-	10,596,000	10,596,000

(単位 円)

科 目		現年度・滞 納繰越の別	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入率 (%)	不納欠損額	収入未済額	収入未済額計
国 庫 支 出 金	清 掃 費 補 助 金	現	7,733,000	28,741,000	28,740,000	99.9	-	1,000	1,025,084,000
		滞	2,261,575,000	1,831,476,000	806,393,000	44.0	-	1,025,083,000	
	道 路 橋 り よ う 費 補 助 金	現	656,627,000	556,785,600	347,280,600	62.4	-	209,505,000	209,505,000
		滞	96,370,000	96,370,000	96,370,000	100.0	-	-	
	都 市 計 画 費 補 助 金	現	164,795,000	163,876,000	73,836,000	45.1	-	90,040,000	90,040,000
		滞	1,973,272,000	1,972,982,000	1,972,982,000	100.0	-	-	
	住 宅 費 補 助 金	現	155,862,000	151,483,000	15,140,000	10.0	-	136,343,000	136,343,000
		滞	34,970,000	34,968,000	34,968,000	100.0	-	-	
	消 防 費 補 助 金	滞	20,000,000	19,345,700	19,345,700	100.0	-	-	-
	小 学 校 費 補 助 金	現	89,072,000	108,242,000	100,661,000	93.0	-	7,581,000	7,581,000
		滞	29,018,000	10,721,000	10,721,000	100.0	-	-	-
	中 学 校 費 補 助 金	滞	18,579,000	31,877,000	31,877,000	100.0	-	-	-
	特 別 支 援 学 校 費 補 助 金	滞	7,220,000	10,630,000	10,630,000	100.0	-	-	-
	社 会 教 育 費 補 助 金	現	19,732,000	19,760,832	15,874,000	80.3	-	3,886,832	3,886,832
県 支 出 金	原 子 力 災 害 復 旧 費 負 担 金	現	1,051,564,000	1,010,930,489	980,930,489	97.0	-	30,000,000	30,000,000
		滞	250,000,000	236,554,800	236,554,800	100.0	-	-	
	児 童 福 祉 費 補 助 金	現	4,711,000	4,711,000	-	0.0	-	4,711,000	4,711,000
	農 業 費 補 助 金	現	88,881,000	88,881,000	-	0.0	-	88,881,000	88,881,000
		滞	11,000,000	11,000,000	11,000,000	100.0	-	-	
	林 業 費 補 助 金	現	105,722,000	105,688,313	65,998,281	62.4	-	39,690,032	39,690,032
		滞	54,212,075	54,203,367	54,203,367	100.0	-	-	
	都 市 計 画 費 補 助 金	滞	933,000,000	933,000,000	933,000,000	100.0	-	-	-
財 産 収 入	土 地 貸 付 料	滞	-	21,625	-	0.0	21,302	323	323
	保 育 施 設 副 食 売 払 収 入	滞	-	3,300	3,300	100.0	-	-	-
繰 入 金	庁 舎 整 備 基 金 繰 入 金	現	1,003,187,000	1,000,323,350	930,694,350	93.0	-	69,629,000	69,629,000
	公 共 施 設 建 設 基 金 繰 入 金	現	177,366,000	134,249,300	107,608,754	80.2	-	26,640,546	26,640,546
	環 境 基 金 繰 入 金	現	254,892,000	250,386,553	214,996,253	85.9	-	35,390,300	35,390,300
		滞	274,378,400	274,065,000	274,065,000	100.0	-	-	
	森 林 環 境 整 備 基 金 繰 入 金	滞	16,580,000	16,580,000	16,580,000	100.0	-	-	-
	文 化 振 興 基 金 繰 入 金	現	7,127,000	7,887,100	7,819,269	99.1	-	67,831	67,831
	復 興 基 金 繰 入 金	滞	122,046,400	118,442,420	118,442,420	100.0	-	-	-
諸 収 入	加 算 金	滞	1,000	59,952	12,852	21.4	-	47,100	47,100
	子 育 て 短 期 支 援 事 業 徴 収 金	現	119,000	36,850	36,850	100.0	-	-	88,000
		滞	-	88,000	-	0.0	-	88,000	

(単位 円)

科 目		現年度・滞 納繰越の別	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入率 (%)	不納欠損額	収入未済額	収入未済額計
諸 収 入	日本スポーツ振興センター納付金	滞	-	460	-	0.0	460	-	-
	生 活 保 護 費 返 還 金	現	7,670,000	54,259,910	38,960,788	71.8	-	15,299,122	83,234,709
		滞	-	75,489,882	5,726,932	7.6	1,827,363	67,935,587	
	医 療 品 等 頒 布 実 費 徴 収 金	滞	-	300	-	0.0	-	300	300
	学 校 給 食 費 徴 収 金	現	483,987,000	475,790,173	475,268,249	99.9	-	521,924	2,059,531
		滞	-	2,516,967	300,407	11.9	678,953	1,537,607	
	雑入（児童手当返納金・児童扶養手当返納金・生活 支援型短期入所利用料・在宅介護措置利用者徴収 金・生活保護費過払い返納金・街なか再生リノーベ ーション事業補助金返還金・家賃相当額損害金）	現	273,629,000	294,534,016	289,765,895	98.4	-	4,768,121	17,914,761
	雑入（児童手当返納金・児童扶養手当返納金・子育て 世帯等臨時特別給付金返還金・子育て世帯生活支 援特別給付金返納金・生活保護費過払い返納金・特 別定額給付金過払い返納金・生活支援型短期入所利 用料・在宅介護措置利用者徴収金・中小企業信用保 証料補助金返還金・街なか空き店舗出店支援事業補 助金返還金・駐車場放置車両処分費・家賃相当額損 害金）	滞	-	15,952,834	2,161,340	13.5	644,854	13,146,640	
	障 害 者 自 立 支 援 事 業 返 還 金	滞	-	30,527,732	30,527,732	100.0	-	-	-
市 債	総 務 管 理 債	現	1,725,500,000	1,666,300,000	999,800,000	60.0	-	666,500,000	666,500,000
		滞	385,700,000	385,700,000	385,700,000	100.0	-	-	
	保 健 衛 生 債	現	84,300,000	83,600,000	2,500,000	3.0	-	81,100,000	81,100,000
		滞	63,300,000	63,300,000	63,300,000	100.0	-	-	
	清 掃 債	現	169,000,000	162,000,000	92,800,000	57.3	-	69,200,000	69,200,000
		滞	733,600,000	732,400,000	732,400,000	100.0	-	-	
	農 業 債	滞	23,600,000	15,400,000	15,400,000	100.0	-	-	-
	道 路 橋 り よ う 債	現	1,083,500,000	972,700,000	809,400,000	83.2	-	163,300,000	163,300,000
		滞	100,500,000	99,300,000	99,300,000	100.0	-	-	
	河 川 債	現	465,700,000	462,700,000	240,300,000	51.9	-	222,400,000	222,400,000
		滞	177,300,000	165,400,000	165,400,000	100.0	-	-	
	都 市 計 画 債	現	347,500,000	342,600,000	188,600,000	55.0	-	154,000,000	154,000,000
		滞	936,700,000	936,700,000	936,700,000	100.0	-	-	
	住 宅 債	現	389,800,000	344,700,000	179,700,000	52.1	-	165,000,000	165,000,000
		滞	38,600,000	38,600,000	38,600,000	100.0	-	-	
	消 防 債	滞	17,000,000	16,500,000	1,700,000	10.3	-	14,800,000	14,800,000
	小 学 校 債	現	509,500,000	443,700,000	306,700,000	69.1	-	137,000,000	137,000,000
		滞	114,100,000	33,700,000	33,700,000	0.0	-	-	
	中 学 校 債	現	1,275,600,000	1,233,200,000	508,200,000	41.2	-	725,000,000	936,900,000
		滞	548,000,000	437,100,000	225,200,000	51.5	-	211,900,000	

(単位 円)

科 目		現年度・滞 納繰越の別	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入率 (%)	不納欠損額	収入未済額	収入未済額計
市 債	特 別 支 援 学 校 債	滞	411,800,000	25,100,000	25,100,000	100.0	-	-	-
	社 会 教 育 債	現	320,400,000	291,700,000	246,800,000	84.6	-	44,900,000	44,900,000
	衛 生 施 設 災 害 復 旧 債	滞	91,000,000	-	-	0.0	-	-	-
	土 木 施 設 災 害 復 旧 債	現	22,600,000	22,400,000	19,900,000	88.8	-	2,500,000	2,500,000
	教 育 施 設 災 害 復 旧 債	滞	3,500,000	2,900,000	2,900,000	100.0	-	-	-
合 計		現	14,395,501,000	13,493,803,359	9,925,094,398	73.6	-	3,568,708,961	4,933,944,580
		滞	10,295,670,875	9,290,486,648	7,917,031,409	85.2	8,219,620	1,365,235,619	
		計	24,691,171,875	22,784,290,007	17,842,125,807	78.3	8,219,620	4,933,944,580	

別表第5

令和5年度歳出の性質別決算額

(単位 千円、%)

経費名	5年度		4年度		比較	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
① 人件費	18,546,149	14.5	18,888,733	15.1	△ 342,584	△ 1.8
1 議員委員等の報酬、手当	2,051,898	1.6	1,942,156	1.6	109,742	5.7
2 職員基本給	8,333,340	6.5	8,170,145	6.5	163,195	2.0
3 諸手当	5,277,260	4.1	5,867,631	4.7	△ 590,371	△ 10.1
4 共済組合負担金	2,651,186	2.1	2,658,567	2.1	△ 7,381	△ 0.3
5 その他の人件費	232,465	0.2	250,234	0.2	△ 17,769	△ 7.1
② 物件費	19,735,571	15.4	22,168,193	17.8	△ 2,432,622	△ 11.0
1 旅費	108,675	0.1	100,350	0.1	8,325	8.3
2 交際費	2,222	0.0	1,145	0.0	1,077	94.1
3 需用費	3,135,114	2.5	3,179,084	2.5	△ 43,970	△ 1.4
4 役務費	641,180	0.5	634,474	0.5	6,706	1.1
5 備品購入費	79,814	0.1	101,045	0.1	△ 21,231	△ 21.0
6 委託料	14,042,321	11.0	16,436,469	13.2	△ 2,394,148	△ 14.6
7 その他	1,726,245	1.3	1,715,626	1.4	10,619	0.6
③ その他の経費	21,523,065	16.8	18,968,454	15.1	2,554,611	13.5
1 積立金	7,418,980	5.8	4,260,976	3.4	3,158,004	74.1
2 投資及び出資金	512,286	0.4	432,699	0.3	79,587	18.4
3 貸付金	1,275,921	1.0	932,546	0.7	343,375	36.8
4 寄附、負担金	1,446,882	1.1	2,350,469	1.9	△ 903,587	△ 38.4
5 補助交付金	6,158,136	4.8	6,733,807	5.4	△ 575,671	△ 8.5
6 その他	4,710,860	3.7	4,257,957	3.4	452,903	10.6

(単位 千円、%)

経 費 名	5 年 度		4 年 度		比 較	増 減 率
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比		
④ 維 持 補 修 費	1,247,274	1.0	1,420,785	1.1	△ 173,511	△ 12.2
1 道 路 橋 り よ う	721,654	0.6	827,950	0.6	△ 106,296	△ 12.8
2 庁 舎 、 小 ・ 中 学 校	100,956	0.1	101,077	0.1	△ 121	△ 0.1
3 そ の 他	424,664	0.3	491,758	0.4	△ 67,094	△ 13.6
⑤ 扶 助 費	29,283,594	22.9	28,276,495	22.7	1,007,099	3.6
1 生 活 保 護	4,913,647	3.8	4,794,322	3.8	119,325	2.5
2 児 童 福 祉	13,465,143	10.5	13,129,412	10.5	335,731	2.6
3 そ の 他	10,904,804	8.5	10,352,761	8.3	552,043	5.3
⑥ 繰 出 金	10,244,946	8.0	9,814,176	7.9	430,770	4.4
⑦ 公 債 費	9,788,867	7.7	9,244,273	7.4	544,594	5.9
1 元 利 償 還 金	9,788,867	7.7	9,244,273	7.4	544,594	5.9
⑧ 投 資 的 経 費	17,544,389	13.7	16,053,654	12.9	1,490,735	9.3
1 普 通 建 設 事 業	17,428,150	13.6	15,661,157	12.6	1,766,993	11.3
○ 補 助 事 業	11,427,632	8.9	8,912,178	7.2	2,515,454	28.2
○ 単 独 事 業	5,920,222	4.6	6,681,372	5.4	△ 761,150	△ 11.4
○ 県 事 業 負 担	80,296	0.1	67,607	0.0	12,689	18.8
2 災 害 復 旧 事 業	116,239	0.1	392,497	0.3	△ 276,258	△ 70.4
○ 補 助 事 業	10,891	0.0	174,439	0.1	△ 163,548	△ 93.8
○ 単 独 事 業	105,348	0.1	218,058	0.2	△ 112,710	△ 51.7
合 計	127,913,855	100.0	124,834,763	100.0	3,079,092	2.5

別表第6

地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられた社会保障施策経費

（歳入） 地方消費税交付金（社会保障財源化分） 40.6億円

（歳出） 社会保障施策経費 527.3億円

（単位 千円）

事 業 名	経 費	財 源		内 訳
		特 定 財 源	一 般 財 源	
社 会 福 祉 費	社 会 福 祉 総 務 費	4,015,227	36,667	3,978,560
	国民健康保険事業費特別会計繰出金	1,986,605	890,268	1,096,337
	障 害 者 福 祉 費	7,227,027	4,861,837	2,365,190
	老 人 福 祉 費	1,463,187	567,268	895,919
	介 護 保 険 費	4,154,509	256,171	3,898,338
	後 期 高 齢 者 医 療 費	3,764,300	557,582	3,206,718
	小 計	22,610,855	7,169,793	15,441,062
児 童 福 祉 費	児 童 福 祉 総 務 費	2,276,932	870,477	1,406,455
	児 童 措 置 費	16,638,078	11,055,263	5,582,815
	児 童 福 祉 施 設 費	114,946	7,095	107,851
	青 少 年 育 成 費	26,850	5,633	21,217
	小 計	19,056,805	11,938,468	7,118,337
生 活 保 護 費	生 活 保 護 総 務 費	442,998	47,155	395,843
	扶 助 費	4,914,630	3,695,712	1,218,918
	小 計	5,357,628	3,742,867	1,614,761
保 健 衛 生 費	保 健 衛 生 総 務 費	661,018	5,536	655,482
	保 健 所 費	2,594,267	954,795	1,639,472
	保 健 指 導 費	404,832	66,958	337,874
	健 康 増 進 費	890,647	16,917	873,730
	予 防 費	750,777	6,455	744,322
	小 計	5,301,541	1,050,661	4,250,880
幼 稚 園 費	幼 稚 園 費	400,070	24,915	375,155
合 計		52,726,899	23,926,704	28,800,195

※地方消費税交付金（社会保障財源化分）は、上記事業の一般財源の一部となっている。

別表第7

基金の状況

1 特定目的基金

(単位 千円)

区 分	4年度末 現在高	5年度決算額		5年度末 現在高	積立方法
		積立額	取りくずし額		
1 財政調整基金	6,625,552	3,000,439	2,400,000	7,225,991	(※1)
2 減債基金	5,674,683	1,433,596	-	7,108,279	定期性預金
3 温泉地施設整備基金	130,659	18,008	(※2) 15,391	133,276	〃
4 公共施設建設基金	2,020,922	300,141	(※3) 22,651	2,298,412	普通預金及び定期性預金
5 庁舎整備基金	4,193,296	1,223	930,694	3,263,825	(※4)
6 社会福祉基金	426,275	2,229	(※5) 2,838	425,666	定期性預金
7 長寿社会福祉基金	739,634	99	200	739,533	〃
8 子ども・子育て基金	229,218	200,729	(※6) 38,096	391,851	〃
9 環境基金	1,529,105	1,700,098	(※7) 476,948	2,752,255	〃
10 産業振興基金	29,301	3	22,739	6,565	〃
11 緑化基金	232,765	188	1,138	231,815	〃
12 スポーツ振興基金	401,088	300,118	15,305	685,901	〃
13 復興基金	744,884	272,135	120,135	896,884	〃
14 頑張るふくしまっ子復興夢応援基金	2,462	-	795	1,667	〃
15 森林環境整備基金	136,893	66,165	(※8) 30,014	173,044	〃
16 前澤未来基金(※9)	1,605	-	1,605	-	〃
17 文化振興基金	474,476	1,063	7,819	467,720	〃
18 農林業振興基金	20,313	122,746	-	143,059	〃
計	23,613,131	7,418,980	4,086,368	26,945,743	

(※1) 定期性預金及び歳計現金に繰替運用

(※2) 4年度出納整理期間中に取りくずした15,391千円を含む
ほかに5年度出納整理期間中に15,000千円を取りくずし

(※3) 5年度出納整理期間中に107,609千円を取りくずし

(※4) 定期性預金及び庁舎整備基金運用特別会計に運用

(※5) 4年度出納整理期間中に取りくずした1,155千円を含む

(※6) 4年度出納整理期間中に取りくずした38,096千円を含む
ほかに5年度出納整理期間中に40,921千円を取りくずし

(※7) 4年度出納整理期間中に取りくずした147,244千円を含む
ほかに5年度出納整理期間中に159,357千円を取りくずし

(※8) 4年度出納整理期間中に取りくずした30,014千円を含む
ほかに5年度出納整理期間中に81,319千円を取りくずし

(※9) 6年4月1日に廃止

2 定額運用基金

(単位 千円)

区 分	4年度末 現在高	5年度決算額		5年度末 現在高	5年度末 現在高の内訳
		積立額	取りくずし額		
1 土地開発基金	3,256,307	450	-	3,256,757	土地 540,131 貸付金 1,338,000 現金 1,378,626
計	3,256,307	450	-	3,256,757	

主要な施策の成果報告

2款 総務費 1項 総務管理費 (単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳				
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源	
一般管理費 (生活課)	1 笑顔つなぐまち交流事業費 (復興事業費)	349	—	—	349		
	(説明) 広域避難者と周辺住民との交流活動に対して補助金を交付し、相互理解と融和を図った。 ○事業内容						
	対 象	事業数	参加者数(人)				
	復興公営住宅	3	398 (うち広域避難者145)				
(契約検査課)	2 電子入札システム運用費 (新型コロナウイルス関連)	5,561	—	—	5,561		
	(説明) 新型コロナウイルス感染症拡大時及び台風等の災害時にあっても入札を継続し、応札者の入札手続きの時間的・費用的コストの低減及び利便性の向上を図るため、5年度から電子入札を開始した。						
文書広報費 (広聴広報課)	1 市政だより等作成費	104,041	国 県	219 4,477	雑入	2,802	96,543
	(説明) 市政だよりや市民フォト・ふくしま夢通信など市政広報紙・誌を発行し、市政情報の提供に努めるとともに、地区だよりを発行し、地区ごとの情報発信の充実を図った。 また、市政だよりを自主避難者や広域避難者等に配布し、市政情報の提供に努めた。						
	発行区分		発行回数		発行数		
	市政だより		年12回		1,283,400部		
地区だより		年12回		1,295,938部			
点字版市政だより		年12回		504部			
音声版市政だより		年12回		540本			
市民フォト・ふくしま夢通信		年4回		61,680部			

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
財産管理費 (管財課)	1 (仮称)市民センター整備 事業費	1,134,604	国	213,210	基金繰入金 97,494 債 823,900	—
	(説明) 暮らし・にぎわい再生事業を活用し、平成30年12月に策定した「風格ある県都を目指すまちづくり構想」に基づき、事業を休止していた本庁舎西棟と耐震性の不十分な中央学習センター、市民会館、敬老センターの機能を統合し、市民交流機能、議会機能を有した複合市民施設となる「(仮称)市民センター」の整備を進めた。 ○(仮称)市民センター整備事業費(4～6年度継続事業)					
	年 度		左 の 財 源 内 訳		特 定 財 源	
	事 業 費		国 県 支 出 金		地 方 債	
企画費 (政策調整課)	1 福島市応援関係人口創出事 業費	2,210	国	557	—	1,653
	(説明) 市が事務局を務める「福島市ゆかりの会」及び「東京ふくしま笑而会」並びに福島商工会議所が事務局を務める「ふくしまわらじ会」への加入促進を行ったほか、「東京福島市のつどい」を開催した。 ○福島市ゆかりの会 本市出身者や市内の学校に通学していた方等を対象とした組織 ○東京ふくしま笑而会 本市の事業所に勤務経験があり、現在首都圏で活躍中の方等を対象とした組織 ○ふくしまわらじ会 県外に本社を有する市内の事業所や、市内に本社を有する事業所の代表者等で、県外での勤務経験がある方等を対象とした組織 ○会員数(6年3月31日現在) 延べ382人(福島市ゆかりの会 297人、東京ふくしま笑而会 45人、ふくしまわらじ会 40人) ○東京福島市のつどい ・開催月日 8月27日 ・開催場所 アートホテル日暮里ラングウッド(東京都荒川区) ・開催内容 会員同士の交流、市政の近況報告、本市特産品を使った料理・飲料の提供など。 ・参加者数 72人					
	年 度		左 の 財 源 内 訳		特 定 財 源	
	事 業 費		国 県 支 出 金		地 方 債	

2款 総 務 費		1項 総 務 管 理 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入 一 般 財 源
	2 ふるさと納税促進事業費	715,263	—	—	715,263
	(説 明) (一社)福島市観光コンベンション協会と連携し、返礼品取扱事業者・生産者募集説明会や事業者訪問を行うなど、事業者との意思統一を図り、返礼品の開拓を推進するとともに、寄附の使い道をはじめ、本市の旬な情報の発信を行い、関係人口の拡大を図った。 また、能登半島地震の被災地応援として、氷見市及び金沢市のふるさと納税の代理受付を実施した。 ○寄 附 金 額 1,469,545千円(うち代理受付分(氷見市970千円、金沢市417千円)を含む)				
	3 シティセールス推進事業費	3,573	国	1,235	—
	(説 明) ふるさと納税などを通じ、本市への更なる応援を募るため、ホームページやふるさと納税サイト等で本市の魅力を効果的に発信した。 また、本市特産品の魅力を広く拡散するため、ふるさと納税サイトでレビューキャンペーンを実施し、ふるさと納税寄附者による魅力の発信を促進した。				
	4 ふくしま田園中枢都市圏推進事業費	2,008	—	—	2,008
	(説 明) 本市と近隣8市町村で形成したふくしま田園中枢都市圏において、首長会議やビジョン懇談会を開催し、それぞれの市町村が持つ都市機能や強み、特長等を生かした魅力あふれる圏域の実現に向け、連携して取組の推進を図った。 また、圏域内の子を持つ親や遊び場施設の職員などによるワークショップにおいて、LINEアカウント「あそびばみっけ!」を作成し、子どもの遊び場やイベント情報を発信することで圏域内の交流を推進した。				

2款 総 務 費

1項 総 務 管 理 費

21

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳										
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源							
(地 域 共 創 課)	5 町内会等交付金	79,028	—	—	79,028								
	(説 明) 住民活動をさらに促進するため、町内会等に対し交付金を交付し、活動の円滑化及び地域コミュニティの活性化に寄与した。 ○交 付 額 <table> <tr> <th>区 分</th> <th>件数</th> <th>交付額</th> </tr> <tr> <td>均 等 割 (年額10,000円／町内会)</td> <td>864</td> <td>8,640</td> </tr> <tr> <td>世 帯 割 (年額770円／世帯)</td> <td>91,413</td> <td>70,388</td> </tr> </table>					区 分	件数	交付額	均 等 割 (年額10,000円／町内会)	864	8,640	世 帯 割 (年額770円／世帯)	91,413
区 分	件数	交付額											
均 等 割 (年額10,000円／町内会)	864	8,640											
世 帯 割 (年額770円／世帯)	91,413	70,388											
(定 住 交 流 課)	6 外国人生活相談事業費	4,667	国 2,333	—	2,334								
	(説 明) 外国人生活相談窓口（市役所1階）に専門の相談員を配置し、転入・転出や税金、ビザ、新型コロナウイルス感染症に関すること等、日常生活の相談や行政手続きのサポートを多言語で行った。 また、外国人向け生活ハンドブック『KORANSHO GUIDE』や多言語パンフレット等の配布、SNSを活用した生活情報の発信を行った。 ○外国人生活相談窓口 ・対 応 言 語 英語、ベトナム語、日本語 ※その他の言語については、多言語翻訳機による対応 ・相 談 件 数 385件												

2款 総務費

1項 総務管理費

(単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	7 多文化共生センター費	10,194	—	—	—	10,194
	(説 明) 市国際交流協会が運営する多文化共生センター「Yuiverse」事業に対して補助金を交付し、多文化共生と国際交流の推進を図った。 ○施設概要 ・開設場所 MAXふくしま3階（曾根田町1番地の18） ・開設時間 午前10時から午後7時まで ・休館日 年末年始及びMAXふくしま休館日 ○事業概要 ・英会話講座、各国料理教室、餅つき体験・書道体験などの日本文化体験、外国人のための就労支援、ごみ分別ルール講座、買い物講座などの開催 ○来場者数（9月30日～6年3月31日まで 稼働178日） ・5,978人（うち外国人822人）					
	8 結・ゆい・フェスタ開催費	2,000	—	—	—	2,000
	(説 明) 市国際交流協会が実施する結・ゆい・フェスタ事業に対して補助金を交付し、多文化共生社会の推進を図った。 ○結アンブレラスカイ ・実 施 内 容 国籍や文化等が違ってても互いに尊重し合う姿を表現した色とりどりの傘の展示 ・会 場 福島トヨタクラウンアリーナほか ・来 場 者 数 37,043人 ○結・ゆい・フェスタ2023 ・開 催 月 日 10月7・8日 ・実 施 内 容 外国料理・ワークショップ・活動展示等のブースの出店 結アンブレラスカイの展示 ・会 場 まちなか広場 ・来 場 者 数 約12,000人 ○結・ゆい・ランチ ・開 催 月 日 7月15日 ・実 施 内 容 外国料理のブース・キッチンカーの出店 ・会 場 道の駅ふくしま ・来 場 者 数 約500人					

2款 総務費

1項 総務管理費

(単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	9 結婚新生活支援事業費	65,330	県	19,698	—	45,632
	(説 明) 結婚に伴う新生活を支援するため、住宅取得・リフォーム費用や賃借費用（敷金・礼金・家賃等）及び引越費用の支援を行った。5年度は、より多くの新婚世帯を支援するために、スタートアップ支援の賃貸初期費用及び引越費用に対し所得要件を緩和し、支援対象の拡大を図った。 ○補助世帯数 374世帯 ○スタートアップ支援 145件 ・住宅購入・リフォーム費用 21件 ・賃貸初期費用 112件 ・引越費用 12件 ○家賃支援 291件					
	10 新生活応援事業費	10,223	—	—	—	10,223
	(説 明) 本市への移住・定住を促進するため、本市で新たに生活を始める方を応援する移住引越支援金や湯めぐりパスポートを交付した。 また、移住希望者へのアドバイスや移住後のアフターケアを行う福島市移住応援サポーターの活動を支援した。 ○移住引越支援金の交付 9,182 ・交 付 件 数 152件 ○湯めぐりパスポート 1,038 ・交 付 件 数 192件 ○移住応援サポーターの活動支援 3 ・移住応援サポーター 11人					

2款 総 務 費		1項 総 務 管 理 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入
(情報企画課)	11 ICT推進事業費	12,069	—	—	12,069
	(説 明) ICTを活用して市民サービスの向上及び庁内の業務効率化を図った。 ○RPAの推進 システムへの手入力や単純な繰り返し作業にRPAを導入し、業務効率化を図った。 ・導 入 業 務 2業務 ・削 減 時 間 622時間 (65%) ○A I－O C Rの推進 高い文字認識率を持つA I－O C Rを活用し、紙媒体の申請書やアンケート等の「文字のデータ化」を行い、職員によるシステム入力や集計作業の業務負担を軽減し、事務処理の効率化を図った。 ・11所属 約33,000枚読み取り ○音声文字起こしシステムの活用 会議録の作成に自動文字起こしシステムを利用して、業務量を削減した。 ・会 議 数 1,095回 ・利 用 時 間 1,155時間53分 ・削 減 時 間 6,398時間 ○L I N Eの活用 市L I N E公式アカウントによる子育て・観光・イベント等の情報配信や登録者が道路の破損状況等を通報するシステム等を運用するとともに、講座や相談等の申込みを24時間行うことができる予約システムにおいて受付メニューの拡充を図った。また、福島市デジタルくーぼん事業の効果により、友だち登録者数が74,815人 (6年3月31日時点・市人口の約27%相当) となった。 ○I C T人材の育成 全職員とDX推進員に対して習熟度に応じたRPA研修を実施し、業務の改善や効率化に向けた人材の育成を図った。				
(デジタル推進課)	12 デジタル推進費	3,942	—	—	3,942
	(説 明) デジタル都市の形成に向けて、市内の各界代表者らによるふくしまデジタル推進協議会及び協議会構成メンバーの実務者らによるデジタル推進者会議を運営し、地域全体・各分野のデジタル化を推進した。 ○福島市デジタル化推進フォーラム開催 「デジタルで便利で豊かな新ステージ」の実現に向け、世界で活躍する本市出身の講師を招き、デジタルテクノロジーの未来や企業等が行うべき対応等について考える機会とした。 ・開催月日：11月24日 ・開催場所：クーラクーリアンテサンパレス ・参加者数：235人 ・内 容：基調講演「ソーシャルテクノロジーの次なる未来」 福島市のデジタル施策紹介 市内企業の先進事例紹介 旅館におけるデジタル活用術 タクシー事業のデジタル化について 人の成長と企業発展のための社内業務デジタル化事例				

20

2款 総 務 費		1項 総 務 管 理 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入
(地 域 共 創 課)	13 地域活性化起業人活用事業費	13,916	—	—	13,916
	(説 明) 総務省が推進する「地域活性化起業人制度」を活用し、富士通Japan株式会社からデジタル人材1人を4年10月より受け入れており、5年度も継続して受け入れ、デジタル化を推進した。 ○ふくしまデジタル推進協議会及びデジタル推進会議の運営サポート 健康分野における本市の課題解決に向けたデジタルサービスの検討や協議会会員が開発したアプリを活用した小学校とのデジタル連携事業を実施した。 ○福島市デジタル人材バンクの運営 市内中小企業や団体の抱える課題をデジタルの力で解決する「デジタル人材バンク」を運営し、課題解決に向けてマッチングを行った。 ・登録者数 個人38人、法人17社 (6年3月31日時点) ・マッチング成立 8件 (6年3月31日時点)				
	14 個人番号カード利用環境整備事業費	37,154	国 37,154	—	—
	(説 明) キャッシュレス決済で利用できるポイントが付与されるマイナポイントの申込みやマイナンバーカードの健康保険証としての利用申込み、公金受取口座登録それぞれの支援を行い、カードの普及促進を図った。 ○支援窓口数 10カ所 (市役所1階4カ所、清水・北信・飯坂・松川・信夫・吾妻支所に各1カ所) ○窓口来訪者数 延べ19,186人				
	15 電子町内会推進事業費 (新型コロナウイルス関連)	604	—	—	604
(説 明) 町内会におけるデジタルの活用やスピーディーな情報伝達を推進するため、電子町内会推進アドバイザーの派遣を行った。 また、電子町内会ウェブサイトを運用し、若年層に町内会への興味・関心を持ってもらう機会の増加を図った。 ・参加町内会数 40町内会 (うちウェブサイト内専用ページ作成町内会数 23町内会) ・電子町内会推進アドバイザー派遣 1回					

2款 総 務 費		1項 総 務 管 理 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(デジタル推進課)	16 高齢者デジタル活用サポーター事業費 (新型コロナウイルス関連)	17,706	国 1,627	－	16,079
(説 明) デジタル活用に不慣れな高齢者等に対し、携帯会社のスタッフが講師、学生等がサポーターとなり、スマートフォンの便利さや楽しさを体験できる講座を開催した。 また、シニアＩＣＴサポーター育成講座を実施するとともに、デジタル活用に不慣れな方が誰でも気軽に相談可能な窓口によるサポート、デジタルを活用した小学生と祖父母の世代間交流の開催、高齢者向けスマホハンドブックの作成を行った。 ○スマートフォン利活用支援講座 ・開催時期：6月26日～6年2月19日 ・開催場所：各学習センター及び地区集会所等 ・開催回数：121回 ・受講者数：延べ713人 ○シニアＩＣＴサポーター育成講座 ・開催時期：10月25日～11月15日 ・開催場所：中央・北信・飯坂・松川・信夫学習センター ・開催回数：5回(1回あたり90分×2日間) ・受講者数：延べ87人 ・シニアＩＣＴサポーター登録者数：63人(6年3月31日時点) ○ふくしまデジタルサポートデスクの運営 ・開設曜日：毎週月・水・金曜日 ・開設場所：市役所1階(月・水曜日)、アクティブシニアセンター(金曜日) ・利用者数：延べ558人 ○世代間デジタル交流会 ・開催月日：9月16日 ・開催場所：吉井田学習センター ・参加者数：6組13人(小学生：7人、祖父母：6人) ○高齢者向けスマホハンドブックの作成 ・作成部数：10,000部(データを市ホームページで公開) ・特徴：ふくしまデジタルサポートデスクで相談の多い項目をピックアップ。 スマホ特有の言葉ではなく、高齢者に伝わりやすい言葉で説明。 スマホの操作画面や文字を大きくし、操作手順を端的に説明。					

2款 総 務 費

1項 総 務 管 理 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳																																
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源																														
支所及び出張所費 (管 財 課)	1 清水支所建設事業費	503,308	—	基金繰入金 63,007 債 436,400	3,901																														
	(説 明) 施設の老朽化が著しい清水支所を建て替えるため、建築工事等を行った。 ○清水支所建設事業 (4～5年度継続事業) 456,770																																		
	<table> <tr> <th rowspan="3">年 度</th> <th rowspan="3">事 業 費</th> <th colspan="3">左 の 財 源 内 訳</th> <th rowspan="3">一 般 財 源</th> </tr> <tr> <th colspan="2">特 定 財 源</th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th>国 県 支 出 金</th> <th>地 方 債</th> <th>そ の 他</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>105,880</td> <td>—</td> <td>95,200</td> <td>10,680</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>456,770</td> <td>—</td> <td>411,000</td> <td>45,770</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>562,650</td> <td>—</td> <td>506,200</td> <td>56,450</td> <td>—</td> </tr> </table>					年 度	事 業 費	左 の 財 源 内 訳			一 般 財 源	特 定 財 源			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	4	105,880	—	95,200	10,680	—	5	456,770	—	411,000	45,770	—	計	562,650	—	506,200	56,450	—
	年 度	事 業 費	左 の 財 源 内 訳					一 般 財 源																											
特 定 財 源																																			
国 県 支 出 金				地 方 債	そ の 他																														
4	105,880	—	95,200	10,680	—																														
5	456,770	—	411,000	45,770	—																														
計	562,650	—	506,200	56,450	—																														
○敷地舗装工事ほか 28,206 ○備品購入ほか 18,332																																			
安 全 心 な り ま ち づ く 費 (生 活 課)	1 交通安全対策費	13,102	—	—	13,102																														
	(説 明) 交通事故を防止するため、各季の交通安全運動等を展開するとともに、交通安全教室を開催するなど交通安全教育の推進を図った。 ○年間の交通安全運動 ・新入学 (4/6～4/12) 「新入学 (園) 児童・園児の交通事故防止」 ・春 (5/11～5/20) 「子どもを始めとする歩行者の安全の確保」 ・夏 (7/16～7/25) 「夏休み中の子どもの交通事故防止と過労運転防止」 ・秋 (9/21～9/30) 「高齢者と夜間・夕暮れ時の交通事故防止」 ・年末年始 (12/10～1/7) 「飲酒運転の根絶」 ○交通安全教室の開催 開催数：96回 ○シルバー交通安全推進員研修会 参加者数：54人 ○ひとり暮らし高齢者世帯訪問 訪問件数：391件 ○交通安全市民大会 参加者数：150人 ○高齢者体験型交通安全研修会 参加者数：13人 ○夜の交通安全講習 参加者数：18人 ○通学路看板の修繕等																																		

2款 総 務 費		1項 総 務 管 理 費		(単位 千円)		
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
男女共同参画費 (男女共同参画センター)	1 啓発事業費	469		—	—	469
	(説 明) 男女がともにお互いの人権を尊重し、心豊かにいきいきと暮らすことができる男女共同参画のまちづくりを進めるため、引き続き各種啓発事業を実施するとともに、Webマガジン「ふくしまさんかく通信」をSNS等で発信し、市民の意識高揚を図った。 ○Webマガジン「ふくしまさんかく通信」 ・トピック 6回 ・コラム 9回					
	2 女性の起業チャレンジ応援事業費	332	国	249	—	83
	(説 明) 女性活躍の場を広げるため、起業にチャレンジしたい女性を対象に、「ふくしま起業女子応援事業」として、知識習得のための講座や先輩女性起業家と交流するカフェを開催した。 ○姉妹のようにつながる起業チャレンジ ・参加者数 44人 (6回)					
	3 みんなの活躍応援事業費	264	国	132	—	132
(説 明) 本市及び県北地区を取り巻く団体や、業種における女性の活躍を加速するために、経営トップの意思決定及び、その体制づくりの考え方を共有することを目的としたセミナーを開催した。 ○女性活躍推進のための経営者セミナー ・参加者数 114人 (1回)						

2款 総 務 費

1項 総 務 管 理 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入 一 般 財 源	
住 み よ り 地 域 づ く り 推 進 (地域共創課)	1 地域おこし協力隊活用事業費	25,382	—	雑入	26	25,356
	(説 明) 都市地域の人材を地域おこし協力隊として任命し、地区内に居住しながら地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等による地域おこしの支援や地域協力活動などを行い、住民ニーズに応えながら地域力の維持・強化を図った。 ○隊 員 数 5人(6年3月31日現在) ・飯坂地区 4年 4月着任 ・飯野地区 4年12月着任 ・大波地区 4年12月着任 ・吾妻地区 5年 4月着任 ・土湯温泉町地区 5年 4月着任					
	2 地域コミュニティ等支援事業費	16,283	—	—	—	16,283
	(説 明) 「ふくしま共創のまちづくり計画」に基づく地域活動等の事業費を支援し、地域活動の活性化、地域活力の向上に寄与した。 ○地域コミュニティ等支援事業 ・一般事業枠 81件					

地区(支所)	実施件数	地区(支所)	実施件数
中 央	10	土湯温泉町	2
渡 利	8	信 陵	3
杉 妻	3	立 子 山	2
蓬 萊	4	飯 坂	4
清 水	7	松 川	3
東 部	5	信 夫	5
北 信	5	吾 妻	11
吉 井 田	4	飯 野	1
西	4	合 計	81

・花いっぱい運動等推進事業枠 21件

○健康づくりで競争(共創)チャレンジ

地区ごとの「参加率」と「参加者1人あたりのポイント数」に応じたまちづくり資金を交付。

・参加者数 3,427人(うちアプリによる参加者数 3,065人)

・取り組み期間 5年2月1日～6年1月31日

2款 総 務 費		1項 総 務 管 理 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
(道路保全課) (道路建設課) (河川課) (農林整備課)	3 地域生活基盤整備事業費	149,996		－	－	149,996
(説 明) 道路や水路などの身近な生活基盤の整備を図った。						
○ 道 路						141,571
・道路側溝修繕		L = 1,823.9m			47,579	
南沢線 ほか						
・道路舗装修繕		A = 1,651.0㎡			15,839	
柳沢・吉ノ口線 ほか						
・路肩修繕		L = 90.0m			2,399	
姥坂・上ノ内線 ほか						
・道路側溝新設		L = 395m			19,549	
太子前・中屋敷線 ほか						
・道路舗装新設		A = 668.4㎡			10,052	
山ノ下・天神2号線 ほか						
・カラー舗装		A = 658.9㎡			8,054	
荒井・太平寺線 ほか						
・街路灯設置		76灯			10,234	
赤貝森・中島線外3路線 ほか						
・反射鏡設置		53基			12,593	
表前・朝日館線 ほか						
・防護柵設置		L = 105m			2,959	
前野・志和田線 ほか						
・路面標示設置		2ヵ所			293	
向・毘沙門前線						
・路肩等除草		L = 160,367m			2,039	
東部地区 ほか						
・その他交通安全施設設置・修繕等		14件			9,981	
極楽・中屋敷線外3路線 ほか						
○ 河 川 施 設						8,425
・排水路改良等		9件				
浜子川 ほか						

2款 総 務 費		1項 総 務 管 理 費				(単位 千円)												
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳															
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源												
(地 域 共 創 課)	4 集会所建設費等補助金	10,552		－		－	10,552											
	(説 明) 町内会等が実施する集会所の大規模改修に対し補助金を交付し、地域住民の福祉向上と地域コミュニティの活性化に寄与した。 また、老朽化に伴う計画的整備や長寿命化のための小規模修繕、バリアフリー化に対し補助金を交付した。 ○補 助 件 数 <table><tr><th>区 分</th><th>件 数</th><th>交付額</th></tr><tr><td>大規模</td><td>5</td><td>7,842</td></tr><tr><td>小規模</td><td>8</td><td>1,660</td></tr><tr><td>バリアフリー化</td><td>4</td><td>1,050</td></tr></table>						区 分	件 数	交付額	大規模	5	7,842	小規模	8	1,660	バリアフリー化	4	1,050
区 分	件 数	交付額																
大規模	5	7,842																
小規模	8	1,660																
バリアフリー化	4	1,050																

2款 総務費

3項 戸籍住民基本台帳費

(単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費 (スマート窓口推進課) 【 市 民 課 】	1 個人番号カード交付事業費	98,386	国	98,032	雑入 354	－
	(説 明) 外出が困難な住民の個人宅やカード所持率が低い地区への出張申請受付を重点的に実施し、個人番号カードの交付率向上を図った。 ○個人番号カード交付率 81.3% (6年3月31日現在人口比)					
	2 おくやみ窓口運営事業費	548		－	－	548
(市 民 課)	(説 明) 死亡に関連する手続きをまとめたおくやみハンドブックを作成・配布するとともに、事前予約で主な手続きがワンストップでできる「おくやみ窓口」を開設し、手続きの負担軽減を図った。 ○おくやみハンドブック作成部数 5,500部 ○予約による受付件数 1,151件 うちオンライン予約数 525件					

2款 総務費

4項 選挙費

(単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
県議会議員選挙費 (選挙管理委員会)	1 県議会議員選挙費	74,691	県	74,691	－	－
	(説 明) 県議会議員の任期満了による選挙を11月12日に執行した。 ○選挙当日の有権者数 228,362人 ○投票者数 90,005人 ○投票率 39.41% ○立候補者数(定数) 9人(8人)					
市議会議員選挙費 (選挙管理委員会)	1 市議会議員選挙費	150,672		－	－	150,672
	(説 明) 市議会議員の任期満了による選挙を7月9日に執行した。 ○選挙当日の有権者数 227,802人 ○投票者数 95,600人 ○投票率 41.97% ○立候補者数(定数) 46人(35人)					

3款 民 生 費		1項 社 会 福 祉 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
社会福祉総務費 (共生社会推進課) (障がい福祉課)	1 バリアフリー推進事業費	4,518	国 県	54 27	－ 4,437
	(説 明) 誰もが安心して暮らせる「共生社会」の実現に向けて、ハード・ソフト・心のバリアフリーの取り組みを官民一体となって進めた。 新たな取り組みとして心のバリアフリー講演会を開催し、6年4月から民間事業者でも義務化される「合理的配慮の提供」について理解促進を図った。 ○バリアフリー推進パートナー ・登録団体数 304団体 ○バリアフリー推進パートナーミーティングの開催 ・開 催 月 日 10月2日 ・会 場 ホテル福島グリーンパレス ・参加者数 55人 (45団体) ○心のバリアフリー講演会の開催 ・テ ー マ 合理的配慮について ・開 催 月 日 6年2月16日 ・会 場 とうほうみんなの文化センター ・参加者数 112人 ○心のバリアフリー推進隊による啓発活動 ・開 催 回 数 5 回 (各種イベントでの啓発 4回、推進隊企画による啓発 1回) ・内 容 心のバリアフリー双六の製作及びこども食堂での啓発活動 ○心のバリアフリー出前講座の開催 ・実 施 件 数 44件 ・参加者数 2,216人 ○心のバリアフリー啓発冊子の配付 ・対 象 者 市内の小学4年生 ・配 付 部 数 2,243冊 ○ヘルプマーク・ヘルプカード普及推進事業 ・配 布 部 数 マーク 602個 カード 262枚 ○いきいきふくしマーケット ・開 催 日 数 296日 ・出 店 施 設 延べ453カ所 ○ポッチャ普及推進事業 ・体験会実施回数 7回				

20

3款 民 生 費		1項 社 会 福 祉 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
(共生社会推進課)	2 包括的支援体制整備事業費	29,025	国 県	14,421 6,606	雑入 9 7,989
	(説 明) 制度の狭間にあり、必要な支援が届いていない方や、複雑・複合的な課題を抱えている方の相談を受け、支援する体制づくりを実施した。 各地域包括支援センターにおいて高齢者のみならず様々な世代の相談を受け、複雑・複合的な相談者の関係機関等へのつなぎ、庁内各課、関係機関と情報共有・協議、アウトリーチをはじめとした相談者への支援等を行うための体制づくりを行った。 ○包括的相談支援事業 ・委 託 先 地域包括支援センター (22カ所) ○アウトリーチ等を通じた継続的支援事業 ・委 託 先 地域包括支援センター (22カ所) ○参加支援事業 ・委 託 先 福島市社会福祉協議会 福島地域福祉ネットワーク会議 (事務局：社会福祉法人青葉学園) ○地域づくり事業 ・委 託 先 福島市社会福祉協議会				
(生活福祉課)	3 住民税非課税世帯等生活支援特別給付金給付事業費 (物価高騰対策関連)	2,967,595		－	－ 2,967,595
	(説 明) 物価高騰による負担感が大きい低所得世帯への支援を行うため、住民税非課税世帯等生活支援特別給付金を支給した。 ○令和4・5年度住民税非課税世帯等に対する給付 (3万円/世帯 基準日：4月1日) ・非課税世帯等 28,965世帯 ○令和5年度住民税非課税世帯に対する給付 (7万円/世帯 基準日：12月1日) ・非課税世帯 25,778世帯 ○令和5年度住民税均等割のみ課税世帯に対する給付 (10万円/世帯 基準日：12月1日) ・均等割のみ課税世帯 648世帯 ○令和5年度低所得世帯のこども加算 (5万円/児童 基準日：12月1日) ・非課税世帯のこども 1,086世帯 (1,914人) ・均等割のみ課税世帯のこども 41世帯 (71人)				

3款 民 生 費

1項 社 会 福 祉 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳																						
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源																				
障 害 者 福 祉 費 (障がい福祉課)	1 居宅介護等事業費	533,740	国 県	211,254 105,627	－ 216,859																				
	(説 明) 居宅において身体介護等に要した費用を支給し、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう援助を行った。																								
	<table><tr><th>サービス区分</th><th>施 設 数</th><th>延べ利用者数 (人)</th><th>延べ利用日数 (日)</th></tr><tr><td>居 宅 介 護</td><td>47</td><td>5,047</td><td>51,180</td></tr><tr><td>重 度 訪 問 介 護</td><td>15</td><td>259</td><td>4,879</td></tr><tr><td>同 行 援 護</td><td>13</td><td>939</td><td>5,763</td></tr><tr><td>行 動 援 護</td><td>1</td><td>12</td><td>158</td></tr></table>					サービス区分	施 設 数	延べ利用者数 (人)	延べ利用日数 (日)	居 宅 介 護	47	5,047	51,180	重 度 訪 問 介 護	15	259	4,879	同 行 援 護	13	939	5,763	行 動 援 護	1	12	158
	サービス区分	施 設 数	延べ利用者数 (人)	延べ利用日数 (日)																					
	居 宅 介 護	47	5,047	51,180																					
	重 度 訪 問 介 護	15	259	4,879																					
	同 行 援 護	13	939	5,763																					
	行 動 援 護	1	12	158																					
	2 生活介護事業費	1,533,026	国 県	784,931 392,466	－ 355,629																				
	(説 明) 障がい程度が一定以上で常時介護を要する者が、主として昼間に障害者支援施設等で利用した入浴、排泄、食事の介護等に要した費用を支給し、生活の質の向上を図った。																								
<table><tr><th>施 設 数</th><th>延べ利用者数 (人)</th><th>延べ利用日数 (日)</th></tr><tr><td>91</td><td>7,370</td><td>133,673</td></tr></table>					施 設 数	延べ利用者数 (人)	延べ利用日数 (日)	91	7,370	133,673															
施 設 数	延べ利用者数 (人)	延べ利用日数 (日)																							
91	7,370	133,673																							
3 共同生活援助事業費	597,094	国 県	268,374 134,187	－ 194,533																					
(説 明) 在宅で生活が困難な障がい者が、夜間や休日に利用した共同生活や生活介護に要した費用を支給し、住居における相談や日常生活の援助を行った。																									
<table><tr><th>施 設 数</th><th>延べ利用者数 (人)</th><th>延べ利用日数 (日)</th></tr><tr><td>64</td><td>4,275</td><td>122,873</td></tr></table>					施 設 数	延べ利用者数 (人)	延べ利用日数 (日)	64	4,275	122,873															
施 設 数	延べ利用者数 (人)	延べ利用日数 (日)																							
64	4,275	122,873																							
4 施設入所支援事業費	313,048	国 県	159,560 79,780	－ 73,708																					
(説 明) 施設に入所する障がい者が、主として夜間に利用した排泄などの介護等に要した費用を支給し、生活の質の向上を図った。																									
<table><tr><th>施 設 数</th><th>延べ利用者数 (人)</th><th>延べ利用日数 (日)</th></tr><tr><td>38</td><td>2,539</td><td>75,966</td></tr></table>					施 設 数	延べ利用者数 (人)	延べ利用日数 (日)	38	2,539	75,966															
施 設 数	延べ利用者数 (人)	延べ利用日数 (日)																							
38	2,539	75,966																							

3款 民 生 費

1項 社 会 福 祉 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳																																																																																							
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源																																																																																				
	5 就労継続支援事業費	1,777,563	国 県	947,715 473,857	—	355,991																																																																																				
(説 明) 施設に通所する障がい者が、創作活動や就労のための訓練に要した費用を支給し、生産活動の機会の提供や就労に必要な能力向上の支援を行った。 <table><tr><td>施 設 数</td><td>延べ利用者数 (人)</td><td>延べ利用日数 (日)</td></tr><tr><td>99</td><td>14,166</td><td>255,302</td></tr></table>							施 設 数	延べ利用者数 (人)	延べ利用日数 (日)	99	14,166	255,302																																																																														
施 設 数	延べ利用者数 (人)	延べ利用日数 (日)																																																																																								
99	14,166	255,302																																																																																								
	6 補装具給付費	59,694	国 県	24,889 12,444	—	22,361																																																																																				
(説 明) 身体障がい児・者の身体機能を補完または代替するための補装具の交付、修理に要した費用を支給し、日常・職業生活の支援を行った。 <table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">交 付</th><th colspan="2">修 理</th></tr><tr><th>件数 (件)</th><th>金額 (千円)</th><th>件数 (件)</th><th>金額 (千円)</th></tr><tr><td>義 肢</td><td>17</td><td>8,129</td><td>16</td><td>1,659</td></tr><tr><td>装 具</td><td>88</td><td>8,832</td><td>15</td><td>340</td></tr><tr><td>座 位 保 持 装 置</td><td>20</td><td>7,390</td><td>3</td><td>443</td></tr><tr><td>盲 人 安 全 つ え</td><td>23</td><td>135</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>眼 鏡</td><td>26</td><td>873</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>補 聴 器</td><td>78</td><td>6,153</td><td>39</td><td>678</td></tr><tr><td>車 い す</td><td>39</td><td>11,469</td><td>42</td><td>1,989</td></tr><tr><td>電 動 車 い す</td><td>8</td><td>6,078</td><td>26</td><td>2,119</td></tr><tr><td>座 位 保 持 い す</td><td>6</td><td>750</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>起 立 保 持 具</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>歩 行 器</td><td>7</td><td>279</td><td>1</td><td>54</td></tr><tr><td>頭 部 保 持 具</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>歩 行 補 助 つ え</td><td>5</td><td>43</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>重度障害者用意思伝達装置</td><td>3</td><td>2,281</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>計</td><td>320</td><td>52,412</td><td>142</td><td>7,282</td></tr></table>							区 分	交 付		修 理		件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	義 肢	17	8,129	16	1,659	装 具	88	8,832	15	340	座 位 保 持 装 置	20	7,390	3	443	盲 人 安 全 つ え	23	135	—	—	眼 鏡	26	873	—	—	補 聴 器	78	6,153	39	678	車 い す	39	11,469	42	1,989	電 動 車 い す	8	6,078	26	2,119	座 位 保 持 い す	6	750	—	—	起 立 保 持 具	—	—	—	—	歩 行 器	7	279	1	54	頭 部 保 持 具	—	—	—	—	歩 行 補 助 つ え	5	43	—	—	重度障害者用意思伝達装置	3	2,281	—	—	計	320	52,412	142	7,282
区 分	交 付		修 理																																																																																							
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)																																																																																						
義 肢	17	8,129	16	1,659																																																																																						
装 具	88	8,832	15	340																																																																																						
座 位 保 持 装 置	20	7,390	3	443																																																																																						
盲 人 安 全 つ え	23	135	—	—																																																																																						
眼 鏡	26	873	—	—																																																																																						
補 聴 器	78	6,153	39	678																																																																																						
車 い す	39	11,469	42	1,989																																																																																						
電 動 車 い す	8	6,078	26	2,119																																																																																						
座 位 保 持 い す	6	750	—	—																																																																																						
起 立 保 持 具	—	—	—	—																																																																																						
歩 行 器	7	279	1	54																																																																																						
頭 部 保 持 具	—	—	—	—																																																																																						
歩 行 補 助 つ え	5	43	—	—																																																																																						
重度障害者用意思伝達装置	3	2,281	—	—																																																																																						
計	320	52,412	142	7,282																																																																																						

3款 民 生 費		1項 社 会 福 祉 費		(単位 千円)																																								
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳																																									
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源																																							
	7 自立支援医療費	261,980	国 県	137,127 68,563	－ 56,290																																							
(説 明) 身体障がい児・者に更生のための医療費を支給し、障がいを軽減・除去するとともに、日常生活能力や職業能力の回復向上を図った。 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">決定件数 (件)</th></tr><tr><th>育 成 医 療</th><th>更 生 医 療</th></tr><tr><td colspan="2">聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 害</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td colspan="2">音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 害</td><td>8</td><td>－</td></tr><tr><td colspan="2">肢 体 不 自 由</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td rowspan="4">内 臓 障 害</td><td>心 臓</td><td>2</td><td>－</td></tr><tr><td>じ ん 臓</td><td>－</td><td>121</td></tr><tr><td>肝 臓</td><td>－</td><td>10</td></tr><tr><td>そ の 他</td><td>4</td><td>－</td></tr><tr><td colspan="2">免 疫 機 能 障 害</td><td>－</td><td>12</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>15</td><td>144</td></tr></table>						区 分		決定件数 (件)		育 成 医 療	更 生 医 療	聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 害		1	1	音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 害		8	－	肢 体 不 自 由		－	－	内 臓 障 害	心 臓	2	－	じ ん 臓	－	121	肝 臓	－	10	そ の 他	4	－	免 疫 機 能 障 害		－	12	計		15	144
区 分		決定件数 (件)																																										
		育 成 医 療	更 生 医 療																																									
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 害		1	1																																									
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 害		8	－																																									
肢 体 不 自 由		－	－																																									
内 臓 障 害	心 臓	2	－																																									
	じ ん 臓	－	121																																									
	肝 臓	－	10																																									
	そ の 他	4	－																																									
免 疫 機 能 障 害		－	12																																									
計		15	144																																									
	8 移動支援事業費	29,695	国 県	8,230 4,115	－ 17,350																																							
(説 明) 重度障がい児・者が社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動等を行うため、ヘルパーによる移動支援に要した費用を支給し、地域での自立した生活、社会参加の支援を行った。 ○延べ利用者数 1,339人 ○利 用 時 間 11,967時間																																												
	9 日中一時支援事業費	78,629	国 県	21,792 10,896	－ 45,941																																							
(説 明) 重度障がい児・者が日中活動する場を設け、日常的な介護者への一時支援に要した費用を支給し、障がい児・者の家族の就労支援と負担軽減を図った。 ○延べ利用者数 3,732人 ○利 用 回 数 26,128回																																												

3款 民 生 費		1項 社 会 福 祉 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
(共生社会推進課)	10 地域生活支援拠点等整備事業費	8,696	国 県	1,993 997	—	5,706
	(説 明) 障がい者に対して、緊急事態が発生した際に一時的に保護する緊急一時受入事業と、地域移行や自立を支援するため自立応援体験事業を実施し、障がい者の地域生活支援の促進を図った。 ○緊急一時受入 4件 ○自立応援体験 6件					
	11 寝たきり障がい者介護慰労手当支給費	3,352		—	—	3,352
	(説 明) 在宅で寝たきりの身体障がい者等を常時介護している家族等に対し手当を支給し、在宅福祉の増進を図った。 ○介護慰労手当（障がい者分） 60,000円／人 50人 3,000 ○そ の 他 352					
	12 重度心身障がい者医療助成費	731,551	県	262,476	雑入 146,615	322,460
(説 明) 重度心身障がい者に対して、医療費の一部負担金を助成し、重度心身障がい者の福祉の増進を図った。						

3款 民 生 費		1項 社 会 福 祉 費		(単位 千円)		
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
老 人 福 祉 費 (介護保険課)	1 介護分野参入促進事業費	950	県	781	－	169
	(説 明) 不足する介護職の人材の裾野を広げるため、若年層向けの介護の仕事紹介パンフレットを作成し、市内中学校等へ配布した。 また、元気高齢者等に対し、介護分野での仕事に関心を持つきっかけづくりとなるセミナーや施設見学会等を実施した。 ○介護の仕事紹介パンフレット配布先 ・市内中学校 19校 (各学年全クラス203学級) ・アクティブシニアセンター・アオウゼ ・協力事業所 2カ所 ○介護助手の仕事紹介 (2回実施) ・セミナー参加者数 延べ53人 ・施設見学会参加者数 延べ46人					
	2 福祉人材定着・離職防止事業費	2,939	県	2,672	－	267
	(説 明) 介護職員の早期離職を防止し、優秀な人材の定着及びサービスの質の向上を図るため、各種研修を実施した。 ○研修受講者数 延べ120人					
	3 高齢者福祉施設整備費補助金	113,804	国 県	7,700 106,104	－	－
	(説 明) 高齢者福祉施設の整備事業を行った事業者に補助金を交付し、施設の整備等を促進した。 ○認知症高齢者グループホーム施設整備 ・補助件数 2件 106,104 ○高齢者施設等の非常用自家発電設備整備 7,700					

3款 民 生 費

1項 社 会 福 祉 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入 一 般 財 源
(長寿福祉課)	4 施設措置費	413,458	—	負担金 109,485	303,973
	(説 明) 在宅での生活が困難な高齢者を対象に、施設へ入所措置し、生活の支援を図った。 ○老人ホーム入所措置状況 (6年3月31日現在) ・ 養護老人ホーム 191人 ・ 特別養護老人ホーム 12人				
	5 寝たきり老人等介護慰労手 当支給費	26,877	—	—	26,877
	(説 明) 在宅で寝たきりまたは重度の認知症高齢者を常時介護している家族等に対し手当を支給し、在宅福祉 の増進を図った。 ○介護慰労手当 (高齢者分) 60,000円/人 395人				
	6 権利擁護支援事業費	17,957	国 県	146 500	— 17,311
(説 明) 成年後見制度の利用に関する相談窓口として権利擁護センターを設置し、認知症や障がい等により判 断能力が十分でない方の法律面や生活面などの支援につなげた。 ○相談件数 259件 ○市長申立件数 3件					
7 避難行動要支援者支援事業 費	19,565	—	雑入 31	19,534	
(説 明) 高齢や障がい、難病などにより、災害避難時に周囲からの支援を要する方 (避難行動要支援者) を対 象として、要支援者登録台帳の整備や、災害時の個別の避難計画である「個別避難支援プラン」の作成 を進めた。 ○個別避難支援プラン作成件数 (要介護3～5、75歳以上1人暮らし高齢者など) ・ ハザード区域内の避難行動要支援者 337人 / 2,867人 作成 (6年3月31日現在)					

3款 民 生 費		1項 社 会 福 祉 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(介 護 保 険 課)	8 高齢者エアコン設置緊急支援事業費	4,555	—	—	—	4,555
	(説 明) 災害級の暑さによる熱中症の発生リスク軽減を図るため、高齢者世帯へのエアコン設置を支援した。 ○対象者 下記の要件に該当する65歳以上の高齢者のみの世帯 ・世帯員全員が住民税非課税であること ・エアコンを1台も保有していないこと（完全故障も含む） ・世帯員全員が市税を滞納していないこと ○支援内容 エアコン設置費用の2分の1相当額の助成 ・8畳用エアコンの場合 5万円 ・10～12畳エアコンの場合 5.5万円 ○申請受付期間 ・9月4日～6年1月31日 ○実績（設置件数） ・71件					
	9 地域包括支援センター事業費	341,386	国 県	131,433 65,716	特別会計繰入金 78,519	65,718
	(説 明) 高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、地域の身近な総合相談窓口として地域包括支援センターを設置し、介護や福祉サービスの相談、介護予防活動への支援などを行った。 ○地域包括支援センター設置数 22カ所 ○相談件数 45,110件					
	10 社会福祉施設復旧支援事業費 (令和4年福島県沖地震関連)	10,891	国	7,260	—	3,631
(説 明) 令和4年福島県沖地震により被災した高齢者施設の復旧費用に対して補助金を交付した。 ○補助件数 4件						

3款 民 生 費

2項 児 童 福 祉 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(こども家庭課) (幼稚園・保育課)	1 未就園児の定期的な預かり モデル事業費	5,816	国	5,234	—	582
	(説 明) 保育所等を利用していない未就園児を、地域子育て支援センターで定期的に預かり、対象児童を養育する保護者に対して面談を実施し、子育ての助言等を行い保護者の負担軽減を図った。 ○利 用 件 数 延べ106件					
	2 児童福祉施設等補助金	142,755		—	—	142,755
	(説 明) 児童福祉施設等に対して運営費等を補助し、円滑な事業運営の支援と関係職員の処遇改善を図った。 ○児童福祉施設等運営事業補助金等（2施設、1団体）560 ○私立保育所等運営費補助金（67施設）142,195					
	3 子ども家庭総合支援拠点事業費	15,253	国 県	5,636 2,017	雑入 26	7,574
(こども家庭課)	(説 明) こども家庭センター・えがおを設置し、子どもとその家庭や妊産婦等の相談対応及び切れ目ない支援を行った。 ○相 談 件 数 延べ1,091件					
	4 児童虐待防止推進事業費	586	国 県	195 195	—	196
	(説 明) 家庭における児童養育や児童虐待防止のため、要保護児童対策地域協議会の開催等を通じ、関係機関と連携して早期発見、早期対応及び虐待防止推進の普及啓発を行った。 ○要保護児童対策地域協議会開催実績 ・代表者会議 2回 ・実務者会議 3回 ・個別ケース検討会議 198回 ・管理ケース 139件					

3款 民 生 費		2項 児 童 福 祉 費		(単位 千円)											
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳												
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源										
(こども政策課)	5 女性相談員費	5,999	国 2,999	雑入 30	2,970										
	(説 明) 女性相談員を配置するとともに、配偶者等からの暴力（DV）相談等に対し、関係機関と連携して女性保護事業を推進した。 ○相 談 件 数 （件）														
	<table><tr><td>来所</td><td>訪問・巡回</td><td>電話</td><td>その他（手紙等）</td><td>計</td></tr><tr><td>600</td><td>8</td><td>233</td><td>18</td><td>859</td></tr></table>					来所	訪問・巡回	電話	その他（手紙等）	計	600	8	233	18	859
	来所	訪問・巡回	電話	その他（手紙等）	計										
	600	8	233	18	859										
	6 放課後児童健全育成事業費	702,007	国 233,774 県 233,774	－	234,459										
	(説 明) 就労等により保護者が昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後や長期休業日等に適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全育成を図った。 ○ク ラ ブ 数 94クラブ ○児 童 数 3,556人（5月1日現在）														
	7 放課後児童支援員等処遇改善等事業費	195,125	国 65,041 県 65,041	－	65,043										
(説 明) 放課後児童支援員等の処遇の改善に取り組むことにより、放課後児童健全育成事業の質の向上及び児童の安全・安心な居場所の確保を図った。 ○事業実施クラブ数 91クラブ															
8 放課後児童クラブ多子世帯利用料補助金	35,252	－	－	35,252											
(説 明) 放課後児童クラブの利用者負担額について、多子世帯に対して利用料助成を行い、利用者の経済的負担を軽減した。 ○対象児童数 1,323人（登録児童数3,556人）															

3款 民 生 費		2項 児 童 福 祉 費		(単位 千円)						
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳							
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源					
(こども家庭課)	9 放課後児童クラブ育成支援体制強化事業費	6,794	国 2,264 県 2,264	—	2,266					
	(説 明) 放課後児童健全育成事業の運営に関わる業務や育成支援の周辺業務を外委託するために必要な経費を補助することにより、育成支援の内容向上を図った。 ○事業実施クラブ数 42クラブ									
	10 放課後児童クラブ整備事業費	12,198	国 4,066 県 4,066	—	4,066					
	(説 明) 学童保育の受け皿を拡大するため、必要となる既存民間施設の改修費等の経費の一部を補助し、施設整備等を支援することで、待機児童の解消を図った。 ○補 助 件 数 1件									
	11 ファミリーサポート事業費	27,719	国 9,214 県 9,214	財産売払収入 21 雑入 38	9,232					
	(説 明) 児童預かりの援助を希望する者（お願い会員）と児童預かりの援助をすることが可能な者（まかせて会員）を組織化し、相互援助活動を行うことにより、仕事と育児を両立できる環境を整備した。 ○会 員 数（6年3月31日現在） 1,688人（お願い会員 1,285人、まかせて会員 274人、どっちも会員 129人） ○利 用 件 数 2,821件									
	12 子育て世代包括支援センター事業費	12,227	国 8,151 県 2,038	雑入 15	2,023					
(説 明) 妊娠期から子育て期の切れ目のない支援を行う総合窓口として、「こども家庭センター・えがお」を設置し、保健師、助産師、保育士、ケースワーカー等の専門職員が、全ての妊産婦を継続的に把握し、関係機関と連携して相談支援を行った。										
<table><tr><td>内容</td><td>件数</td></tr><tr><td>相談支援件数</td><td>14,148</td></tr><tr><td>関係機関との連絡調整件数</td><td>11,323</td></tr></table>					内容	件数	相談支援件数	14,148	関係機関との連絡調整件数	11,323
内容	件数									
相談支援件数	14,148									
関係機関との連絡調整件数	11,323									

3款 民 生 費		2項 児 童 福 祉 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
(こども政策課)	13 地域子育て支援拠点事業費	243,432	国 県	81,144 81,144	—	81,144
	(説 明) 地域における子育て支援の拠点施設として地域子育て支援センターを設置し、地域の子育て支援機能の充実を図るとともに、子育ての不安等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援した。 ○拠 点 数 23カ所 ○利 用 状 況 子育て相談・情報提供 延べ 3,121件 親子交流活動・講習会等 延べ 58,144人 一時預かり 延べ 318人					
	14 新型コロナウイルス感染症対策費	2,032	国 県	677 677	—	678
(説 明) 新型コロナウイルスの感染者等が発生した場合に、感染症対策の徹底を図りながら、事業を継続的に実施するために必要な緊急時の職員確保に係る費用等の補助を行い、児童の安全な環境整備を図った。 ○放課後児童クラブ 感染症対策事業 11カ所 ○地域子育て支援センター 感染症対策事業 2カ所						

3款 民 生 費

2項 児 童 福 祉 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳							
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源				
児 童 措 置 費 (幼稚園・保育課)	1 公立保育所運営費	1,131,644	国 917 県 917	負担金 70,515 雑入 23,978	1,035,317					
	(説 明) 公立保育所において、保育が必要な児童に対して保育を行った。									
	○職員給与費				568,555					
	○会計年度任用職員費				411,497					
	○公立保育所保育実施費				151,592					
			施設数	入 所 児 童 数 (6年3月1日時点)	充足率	延長保育	乳児保育	一 時 預 か り	休日保育	病児保育
			11	755	95.6	11カ所	6カ所	1カ所	1カ所	－
2 市立認定こども園運営費			458,569	国 967 県 967	負担金 22,163 雑入 10,882	423,590				
(説 明) 市立認定こども園において、小学校入学後の教育の基礎をつくるための幼児教育を行うとともに、保育が必要な児童に対して保育を行った。										
○職員給与費										230,403
○会計年度任用職員費										131,290
○市立認定こども園保育実施費										96,876
			施設数	入 所 児 童 数 (6年3月1日時点)	充足率	延長保育	乳児保育	一 時 預 か り	休日保育	病児保育
			3	350	75.3	3カ所	2カ所	－	－	－
3 私立保育所保育実施費			4,140,354	国 1,917,944 県 817,346	負担金 353,224	1,051,840				
(説 明) 私立保育所において、保育が必要な児童に対して保育を行った。										
			施設数	入 所 児 童 数 (6年3月1日時点)	充足率	延長保育	乳児保育	一 時 預 か り	休日保育	病児保育
			34	3,265	111.1	34カ所	34カ所	21カ所	1カ所	6カ所

3款 民 生 費

2項 児 童 福 祉 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳																			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源																
	4 私立認定こども園費	1,501,355	国 県	701,647 361,703	—	438,005																
(説 明) 私立認定こども園において、小学校入学後の教育の基礎をつくるための幼児教育を行うとともに、保育が必要な児童に対して保育を行った。																						
<table><tr><th>施 設 数</th><th>入 所 児 童 数 (6年3月1日時点)</th><th>充足率</th><th>延長保育</th><th>乳児保育</th><th>一 時 預 か り</th><th>休日保育</th><th>病児保育</th></tr><tr><td>11</td><td>1,392</td><td>97.7</td><td>11ヵ所</td><td>11ヵ所</td><td>2ヵ所</td><td>—</td><td>4ヵ所</td></tr></table>							施 設 数	入 所 児 童 数 (6年3月1日時点)	充足率	延長保育	乳児保育	一 時 預 か り	休日保育	病児保育	11	1,392	97.7	11ヵ所	11ヵ所	2ヵ所	—	4ヵ所
施 設 数	入 所 児 童 数 (6年3月1日時点)	充足率	延長保育	乳児保育	一 時 預 か り	休日保育	病児保育															
11	1,392	97.7	11ヵ所	11ヵ所	2ヵ所	—	4ヵ所															
	5 幼児教育・保育無償化施設等利用給付費	559,479	国 県	279,740 139,870	—	139,869																
(説 明) 市から認定を受けた子どもが、無償化の対象となる私立幼稚園及び認可外保育施設等や幼稚園等の預かり保育を利用する際に要した費用を支給し、負担軽減を図った。 ○私立幼稚園等利用給付費474,999 ○私立幼稚園等預かり保育利用給付費34,194 ○認可外保育施設等利用給付費50,287 ※原則、3歳から5歳の子どもが無償化の対象。 ※認可保育施設及び公立幼稚園は、市が定める利用者負担額を無償化。 ※食材料費など保護者から実費で徴収する費用は、無償化の対象外。																						
	6 地域型保育事業実施費	922,779	国 県	498,018 180,204	—	244,557																
(説 明) 地域型保育施設において、保育が必要な児童に対して保育を行った。																						
<table><tr><th>施 設 数</th><th>入 所 児 童 数 (6年3月1日時点)</th><th>充足率</th><th>延長保育</th><th>乳児保育</th><th>一 時 預 か り</th><th>休日保育</th><th>病児保育</th></tr><tr><td>22</td><td>447</td><td>98.2</td><td>22ヵ所</td><td>22ヵ所</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table>							施 設 数	入 所 児 童 数 (6年3月1日時点)	充足率	延長保育	乳児保育	一 時 預 か り	休日保育	病児保育	22	447	98.2	22ヵ所	22ヵ所	—	—	—
施 設 数	入 所 児 童 数 (6年3月1日時点)	充足率	延長保育	乳児保育	一 時 預 か り	休日保育	病児保育															
22	447	98.2	22ヵ所	22ヵ所	—	—	—															

3款 民 生 費		2項 児 童 福 祉 費		(単位 千円)		
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	7 待機児童解消促進事業費	332,990	国 県	33,877 191,394	基金繰入金 40,921 雑入 88	66,710
(説 明) 「福島市待機児童対策推進パッケージ」に基づく各種事業を実施し、保育の受け皿拡大と保育士等の確保を図った。 ○児童福祉施設等整備事業費 216,040 ・保育所新設の支援施設数 1施設 ○私立幼稚園預かり保育支援事業費 4,996 ・支援実施施設数 7施設 ○幼稚園送迎ステーション事業費 10,529 ・延べ利用者数 898人 ○保育士宿舍借り上げ支援事業費 17,935 ・支援実施者数 19施設45人 ○保育支援員雇用支援事業費 36,778 ・支援実施者数 34施設49人 ○U I J ターン保育士等就労支援事業費 490 ・転入・就労者数 3人 ○保育士等奨学資金貸付事業費 40,921 ・入学一時金貸付者数 22人 ・奨学基本金貸付者数 70人 ○輝け！保育人材活躍促進事業費 755 ・保育士就労者数 62人 ・就職相談会開催回数 2回 ○保育士するなら福島市！プロモーション事業費 58 ・認可保育施設見学会参加者数 13人 ・高校生一日保育士体験参加者数 42人 ○保育士相談支援事業費 3,705 ・相談対応件数 367件 ○保育士の働きやすい職場づくり事業費 784 ・ハッピー！大作戦取組紹介施設数 2施設 ・トップセミナー開催回数 1回 ・マネジメント研修開催回数 3回 ・メンタルサポート研修開催回数 1回						
	8 保育アテンダント事業費	5,595	国 県	2,100 525	雑入 28	2,942
(説 明) 「福島市待機児童対策推進パッケージ」に基づき、専任相談員2人を配置し、保育施設等の利用を希望する保護者のニーズに寄り添ったきめ細やかなマッチングにつなげた。 ○相談対応件数 2,715件						

3款 民 生 費		2項 児 童 福 祉 費		(単位 千円)			
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳				
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源	
(こども政策課)	9 福島型給食推進事業費	60,140		－	－	60,140	
	(説 明) 保育施設や幼稚園の給食における本市産農産物の使用拡大及び給食費の負担軽減を図った。 ○事業実施施設数 ・認可保育施設 54カ所 ・認可外保育施設 9カ所 ・私立幼稚園 2カ所						
	10 巡回支援指導事業費	3,874	国	1,937	－	1,937	
	(説 明) 認可外保育施設に対し、事故が発生しやすい場面毎（睡眠中、水遊び、食事中等）に訪問し、事故発生予防に取り組めるよう巡回指導を行った。 ○実 施 状 況 延べ51回						
	11 出産・子育て応援交付金事業費	137,071	国 県	91,222 22,921	－	22,928	
	(説 明) 妊婦及び子育て家庭を対象に、保健師等が身近で相談に応じる伴走型相談支援を実施するとともに、経済的支援として、「出産・子育て応援給付金」を支給した。 ○支 給 対 象 ・出産応援給付金 妊娠の届出をした妊婦 ・子育て応援給付金 出生した児童の養育者 ○支 給 状 況 ・出産応援給付金 5万円×対象妊婦数 ・子育て応援給付金 5万円×対象児童数						
		区 分		対象者数（人）		支給額（千円）	
		出 産 応 援 給 付 金		1,357		67,850	
		子 育 て 応 援 給 付 金		1,347		67,350	

3款 民 生 費

2項 児 童 福 祉 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳																									
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源																						
	12 児童手当費	3,272,480	国 県	2,273,009 499,183	—	500,288																						
(説 明) 次世代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援する観点から、中学校修了前までの子どもを対象に、児童手当を支給した。 ○支給月額（1人あたり） ・児童手当（所得制限限度額未満） 3 歳未満 15,000円 3 歳以上小学校修了前（第1・2子） 10,000円 3 歳以上小学校修了前（第3子以降） 15,000円 小学校修了後中学校修了前 10,000円 ・特例給付（所得制限限度額以上） 一 律 5,000円 ○支給状況 <table> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>延べ児童数（人）</th> <th>支給額（千円）</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">児 童 手 当</td> <td>3 歳 未 満</td> <td>43,774</td> <td>656,610</td> </tr> <tr> <td>3 歳 以 上 小 学 校 修 了 前</td> <td>182,315</td> <td>1,944,995</td> </tr> <tr> <td>小 学 校 修 了 後 中 学 校 修 了 前</td> <td>63,179</td> <td>631,790</td> </tr> <tr> <td colspan="2">特 例 給 付</td> <td>7,817</td> <td>39,085</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>297,085</td> <td>3,272,480</td> </tr> </table>							区 分		延べ児童数（人）	支給額（千円）	児 童 手 当	3 歳 未 満	43,774	656,610	3 歳 以 上 小 学 校 修 了 前	182,315	1,944,995	小 学 校 修 了 後 中 学 校 修 了 前	63,179	631,790	特 例 給 付		7,817	39,085	計		297,085	3,272,480
区 分		延べ児童数（人）	支給額（千円）																									
児 童 手 当	3 歳 未 満	43,774	656,610																									
	3 歳 以 上 小 学 校 修 了 前	182,315	1,944,995																									
	小 学 校 修 了 後 中 学 校 修 了 前	63,179	631,790																									
特 例 給 付		7,817	39,085																									
計		297,085	3,272,480																									
	13 児童扶養手当費	861,148	国	285,883	—	575,265																						
(説 明) ひとり親家庭等の生活の安定と自立を助けるため、当該児童について児童扶養手当を支給した。 ○受給者数 1,641人 ○支給状況 <table> <tr> <th>区 分</th> <th>延べ児童数（人）</th> <th>支給額（千円）</th> </tr> <tr> <td>全 部 支 給（第 1 子）</td> <td>10,203</td> <td>449,204</td> </tr> <tr> <td>一 部 支 給（第 1 子）</td> <td>11,650</td> <td>327,403</td> </tr> <tr> <td>第 2 子 加 算</td> <td>8,311</td> <td>72,689</td> </tr> <tr> <td>第 3 子 以 降 加 算</td> <td>2,261</td> <td>11,852</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>32,425</td> <td>861,148</td> </tr> </table>							区 分	延べ児童数（人）	支給額（千円）	全 部 支 給（第 1 子）	10,203	449,204	一 部 支 給（第 1 子）	11,650	327,403	第 2 子 加 算	8,311	72,689	第 3 子 以 降 加 算	2,261	11,852	計	32,425	861,148				
区 分	延べ児童数（人）	支給額（千円）																										
全 部 支 給（第 1 子）	10,203	449,204																										
一 部 支 給（第 1 子）	11,650	327,403																										
第 2 子 加 算	8,311	72,689																										
第 3 子 以 降 加 算	2,261	11,852																										
計	32,425	861,148																										

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(共生社会推進課)	14 子ども医療助成費	1,212,302	県	683,133	－	529,169
	(説 明) 子ども（出生から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの者）の医療費の一部負担金及び入院時食事療養費を助成し、子どもの健康保持と福祉の増進を図った。					
	区 分	延べ助成件数（件）	助成額（千円）		1件当たり助成額（円）	
	乳幼児医療費助成	252,041	413,279		1,640	
	小学生医療費助成	197,880	402,284		2,033	
	中学生医療費助成	76,833	183,899		2,393	
	高校生等医療費助成	79,757	212,840		2,669	
	計	606,511	1,212,302		1,999	
	15 ひとり親家庭医療助成費	33,369	県	16,671	－	16,698
	(説 明) ひとり親家庭のうち所得の低い家庭に対し、医療費の一部負担金及び入院時食事療養費を助成し、ひとり親家庭の健康保持と福祉の増進を図った。					
	区 分	延べ助成件数（件）	助成額（千円）		1件当たり助成額（円）	
	母 子 家 庭	11,829	32,808		2,774	
	父 子 家 庭	145	561		3,869	
	計	11,974	33,369		2,787	
(幼稚園・保育課)	16 保育所給食まると検査事業費 (復興事業費)	4,045	国	4,045	－	－
	(説 明) 保育所給食で使用する食材の放射性物質を測定し、児童の食の安全・安心を確保するとともに、内部被ばくに対する不安の解消を図った。					
	○測定件数 17保育所 延べ2,978検体					

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳																			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源																
(こども政策課)	17 保育施設等感染症防止対策 支援事業費 (新型コロナウイルス関連)	8,612	国 県	4,337 63	—	4,212																
	(説 明) 保育施設等において、衛生用品等を購入して新型コロナウイルス感染症拡大防止を図った。 ○衛生用品等の購入支援 ・保育施設本体 42施設 (公立 14施設 私立 28施設) ・延長保育事業 (私立) 3施設																					
	18 子育て世帯生活支援特別給 付金給付事業費 (物価高騰対策関連)	298,697	国	298,697	—	—																
(こども政策課) (幼稚園・保育課)	(説 明) 食費等の物価高騰等に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対し、特別給付金を支給した。 ○支給対象者 低所得の子育て世帯 ○支 給 金 額 児童1人あたり5万円 ○支 給 状 況																					
	<table><tr><th>区 分</th><th>支給対象者 (人)</th><th>対象児童数 (人)</th><th>金額 (千円)</th></tr><tr><td>ひ と り 親 世 帯</td><td>2,081</td><td>3,162</td><td>158,100</td></tr><tr><td>ひ と り 親 世 帯 以 外</td><td>1,398</td><td>2,508</td><td>125,400</td></tr><tr><td>計</td><td>3,479</td><td>5,670</td><td>283,500</td></tr></table>						区 分	支給対象者 (人)	対象児童数 (人)	金額 (千円)	ひ と り 親 世 帯	2,081	3,162	158,100	ひ と り 親 世 帯 以 外	1,398	2,508	125,400	計	3,479	5,670	283,500
	区 分	支給対象者 (人)	対象児童数 (人)	金額 (千円)																		
ひ と り 親 世 帯	2,081	3,162	158,100																			
ひ と り 親 世 帯 以 外	1,398	2,508	125,400																			
計	3,479	5,670	283,500																			
19 光熱費高騰対策支援事業費 (物価高騰対策関連)	23,649	—	—	23,649																		
(説 明) 原油価格や電気・ガス代を含む物価高騰の影響を受けている教育・保育施設等への負担軽減を図るため、施設運営に係る光熱費に対して支援金を交付した。 ○交 付 件 数 計122件 ・私立保育所 25件 ・私立認定こども園 11件 ・地域型保育事業所 15件 ・認可外保育施設 10件 ・私立幼稚園 5件 ・放課後児童クラブ 47件 ・地域子育て支援センター 9件																						

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳															
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源												
(幼稚園・保育課)	20 (仮称) もりあい認定 こども園整備事業費	18,286		－	債 3,000	15,286												
	(説 明) 耐震性の不足する森合幼稚園を建て替え、拠点施設となる幼保連携型認定こども園として新たに整備するため、基本設計や地質調査等を実施した。 ○基本設計業務委託 ○地質調査業務委託 ○その他					9,955 7,576 755												
児童福祉施設費 (こども家庭課)	1 こども発達支援センター費	52,783		－	負担金 4,501 使用料 2,548 雑入 102	45,632												
	(説 明) 発達支援が必要な児童に対し、医療との連携を図りながら、通所による運動発達支援や日常生活動作の向上に取り組んだ。 また、発達相談を実施し、家庭における養育を支援するとともに、医療・療育・教育機関との連携を図った。 ○契約児童数内訳 (人)																	
		<table><tr><th rowspan="2">契約児童数</th><th colspan="3">内 訳 (重複あり)</th></tr><tr><th>身障手帳有</th><th>療育手帳有</th><th>医療的ケア児</th></tr><tr><td>31</td><td>22</td><td>12</td><td>8</td></tr></table>					契約児童数	内 訳 (重複あり)			身障手帳有	療育手帳有	医療的ケア児	31	22	12	8	
契約児童数	内 訳 (重複あり)																	
	身障手帳有	療育手帳有	医療的ケア児															
31	22	12	8															
		○理学療法等利用者数 延べ910人 ○発達相談件数内訳 (延べ件数)																
		<table><tr><th>来所相談</th><th>電話相談</th><th>家庭訪問</th><th>保育所・幼稚園・学校等訪問</th><th>関係機関連絡</th><th>計</th></tr><tr><td>185</td><td>1,312</td><td>62</td><td>57</td><td>635</td><td>2,251</td></tr></table>					来所相談	電話相談	家庭訪問	保育所・幼稚園・学校等訪問	関係機関連絡	計	185	1,312	62	57	635	2,251
来所相談	電話相談	家庭訪問	保育所・幼稚園・学校等訪問	関係機関連絡	計													
185	1,312	62	57	635	2,251													

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
青少年育成費 (こども政策課)	1 子ども・若者育成支援事業費	10,100	国	5,633	—	4,467
	(説明) 子どもの居場所づくりバックアップ本部を設置し、子どもの居場所づくり、子ども食堂等の支援やフードドライブ事業を実施した。 また、ユースブレイス（若者の居場所）を開設し、ボランティア活動などのプログラムを提供し、ひきこもり、ニート等の若者の社会参加を支援した。 さらに、ユースブレイス登録者等の次のステップとして、事業所での仕事体験を通じて、就労意識の向上と自立促進を図った。 ○地域における子どもの居場所づくり支援事業 - 新規設立や運営に関する相談 相談件数 857件 - 研修及び講習会 実施回数 9回 参加者数 延べ512人 - 連携会議 実施回数 4回 参加者数 延べ107人 - 子ども食堂ネットワーク組織「福島市子ども食堂NET」運営支援 団体数 45団体 - フードドライブ事業 実施回数 37回 内訳 企業内 10社 延べ13回 啓発活動 9団体 延べ24回 ○ユースブレイス自立支援事業 - 登録人数 41人 - 実施回数 177回 - 参加者数 延べ482人 - 主な内容 ボランティア活動、コミュニケーション講座、スポーツ活動、仕事体験など					
	2 青少年センター費	7,781	—	雑入	15	7,766
(説明) 市青少年センター補導委員による街頭補導活動及び環境浄化活動を実施し、青少年の健全育成と非行防止を図った。 ○街頭補導活動 - 補導委員数 123人（延べ従事委員数1,413人） - 活動日数 250日（延べ実施回数351回） ○環境浄化活動 - 白ポスト（6カ所）からの有害図書回収数 1,054冊						

3款 民 生 費		3項 生 活 保 護 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
生活保護総務費 (生活福祉課)	1 生活困窮者自立支援事業費	22,007	国 15,614	雑入 82	6,311
	(説 明) 生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者からの相談に包括的に対応するとともに、その自立に向けて、アセスメントの実施や支援プラン作成等の支援を行う自立相談支援事業を実施した。 また、就労能力及び就労意欲のある離職者のうち、住宅を喪失又は喪失するおそれのある生活困窮者に対し家賃相当額を有期で給付するとともに、再就職のための支援を行った。(最長9ヵ月) さらに、学習環境が整わない生活困窮者の中学生を対象に、学びの機会、場所を提供し、学習支援員(元教師等)による学習援助等の支援を行った。 ○自立相談支援事業 ・生活相談件数 延べ1,270件 (うち新規相談件数809件) ・生活保護申請件数 524件 ・支援プラン作成件数 延べ 47件 ○住居確保給付金 ・支給決定件数 延べ 15件 (うち当初9件、延長2件、再延長2件、再申請2件) ・給付金受給者数 15人 ・就労支援者数 14人 ・常用就職者数 4人 ○就労支援 (住居確保給付金の就労支援者数を含む) ・就労支援者数 17人 ・常用就職者数 5人 ○子どもの学習支援事業 ・参 加 者 数 39人 (うち中学1年生8人、中学2年生14人、中学3年生17人) ・開 催 回 数 24回 ・中学3年生の高校進学率 100%				

3款 民 生 費

3項 生 活 保 護 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
扶 助 費 (生活福祉課)	1 生活保護扶助費	4,913,647	国 3,661,500	雑入 39,332	1,212,815
	(説 明)				
	生活困窮に陥った者に必要な保護を実施し、自立助長の支援を行った。				
	項 目	被 保 護 世 帯 数	被 保 護 人 数	扶助費支出額 (千円)	
	生 活 扶 助	2,156	2,596	1,475,689	
	住 宅 扶 助	2,195	2,647	781,966	
	教 育 扶 助	62	99	11,514	
	介 護 扶 助	720	732	216,556	
	医 療 扶 助	2,067	2,320	2,350,619	
	出 産 扶 助	(年間) 5	(年間) 5	1,425	
生 業 扶 助	39	44	5,843		
葬 祭 扶 助	(年間)101	(年間)101	18,458		
小 計	—	—	4,862,070		
就 労 自 立 給 付 金	(年間) 38	—	2,783		
進 学 準 備 給 付 金	(年間) 3	—	100		
施 設 事 務 費	20	20	48,694		
計	—	—	4,913,647		
※世帯数及び人数は5年度平均 ○生活保護費総額前年比 102.49% ○5年度中の生活保護開始世帯 485世帯 ○5年度中の生活保護廃止世帯 483世帯 ○5年度末の生活保護世帯 2,717世帯 ○5年度末の生活保護人数 3,272人					

4款 衛 生 費		1項 保 健 衛 生 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入 一 般 財 源
保健衛生総務費 (保健総務課)	1 地域医療確保対策費	318,799	—	—	318,799
	(説 明) 医師、看護師不足などの課題に対応するため、地域医療確保対策事業を実施した。 ○地域医療対策協議会 ・委 員 7人 ・開 催 回 数 1回 ○福島県立医科大学における寄附講座の開設 ・講 座 名 地域救急医療支援講座 ・講座の内容 実地研修、救急医療に関する講習 ○救急告示病院運営費補助 ・交 付 対 象 9病院 ○臨床研修の充実 ・臨床研修医研修会の実施、I C L S研修の実施 ○福島市専門医療技術者育成支援事業補助金 ・福島県立医科大学のキャンパスを往復する借上バスの費用を補助				
	2 休日在宅当番医制運営事業費	5,736	—	—	5,736
	(説 明) 市医師会に委託して休日在宅当番医制を実施し、日曜・祝日・年末年始の昼間における初期救急医療体制を確保した。 ○医療機関数 166施設				
	3 救急医療病院群輪番制運営費補助金	120,068	—	—	120,068
	(説 明) 初期救急医療に対する後方医療機関として、市内11病院が輪番制により土曜日、休日昼間さらに毎夜間の救急医療体制を確保した。 ○診 療 科 目 内科・外科・循環器疾患・脳疾患・小児科・整形外科				
4 子どもの医療確保対策事業費	2,709	—	—	2,709	
(説 明) 小児科医療体制の強化のため、休日当番のオンライン診療、小児科開業支援補助制度の周知と活用促進を行った。 ○休日小児科オンライン診療実績 診療実施日数 7日間 受診者数 222人 1日当たり平均 31.7人					

4款 衛 生 費		1項 保 健 衛 生 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入 一 般 財 源
	5 新型コロナウイルス感染症対策事業費	2,639	—	—	2,639
	(説 明) 新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に移行したことに伴い、医療体制変更に係る支援を行った。 ○医療体制の整備 ・発熱外来(1ヵ所)用プレハブ施設撤去に係る補助金等 1,488 ○保健所の体制整備 ・新型コロナウイルス感染症対策チームに係る経費 1,151				
保 健 所 費 (感染症・疾病 対 策 課) 【保健予防課】	1 指定難病患者等支援事業費	3,446	国 58	—	3,388
	(説 明) 指定難病医療費助成の申請受理・進達、難病患者・家族を対象とした個別相談や医療講演会・交流会を実施し、療養生活の支援を行った。 また、難病対策地域協議会を設立し、難病患者への支援体制に関する課題について協議を行った。 ○指定難病医療費助成申請書の受理・進達 ・申請書受理 延べ3,820件 ○個別相談 ・面接相談 延べ3,217件 ・電話相談 延べ1,519件 ・家庭訪問 延べ 35件 ○医療講演会・交流会 ・参加者数 50人(3回開催) ○難病対策地域協議会 ・委員 11人 ・6年2月設置／開催				
	2 感染症予防事業費	2,433	国 780	—	1,653
	(説 明) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、感染症に関する相談・調査・指導のほか、感染症ウイルス等検査を実施し、感染症の予防及びまん延防止を図った。 ○相談・調査・指導(新型コロナウイルス以外) 延べ133件 ○感染症ウイルス等検査(新型コロナウイルス以外) 16件				

4款 衛 生 費		1項 保 健 衛 生 費				(単位 千円)									
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳												
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源										
	8 新型コロナウイルスワクチン 接種体制確保事業費 (新型コロナウイルス関連)	521,058	国 520,970	－	88										
	(説 明) 予防接種法第25条第1項の規定による新型コロナウイルスワクチン接種について、市民への接種が迅速かつ安全に実施できる体制を確保し、感染症の予防及びまん延防止を図った。 ○新型コロナウイルスワクチン予約・相談センター受付件数 23,159件 (うち予約数 7,933件)														
保 健 指 導 費 (こども家庭課)	1 妊産婦健診事業費	188,899	国 6,803	－	182,096										
	(説 明) 妊娠届出をした妊婦に対し、母子健康手帳、妊産婦健康診査受診票(妊婦健診15回・産後2週間健診・産後1ヵ月健診の計17回助成)を交付し、母と子の健康の保持・増進を図った。														
	<table><tr><th>内 容</th><th>件 数</th></tr><tr><td>母子健康手帳交付件数</td><td>1,358</td></tr><tr><td>妊産婦健康診査受診票交付件数</td><td>1,434</td></tr><tr><td>妊婦健康診査受診件数</td><td>延べ17,630</td></tr><tr><td>産婦健康診査受診件数</td><td>延べ 2,721</td></tr></table>					内 容	件 数	母子健康手帳交付件数	1,358	妊産婦健康診査受診票交付件数	1,434	妊婦健康診査受診件数	延べ17,630	産婦健康診査受診件数	延べ 2,721
内 容	件 数														
母子健康手帳交付件数	1,358														
妊産婦健康診査受診票交付件数	1,434														
妊婦健康診査受診件数	延べ17,630														
産婦健康診査受診件数	延べ 2,721														
《健康づくり推進課》 【健康推進課】	2 こんにちは赤ちゃん事業費	2,284	国 1,142 県 1,142	－	－										
	(説 明) 生後4ヵ月頃の乳児のいる全ての家庭を、こんにちは赤ちゃん応援隊や保健師・助産師・看護師が訪問し、子どもの健やかな成長の支援と地域の子育て支援体制の充実を図った。 ○こんにちは赤ちゃん応援隊委嘱者数 87人 (6年3月31日現在) ○訪問実施人数 1,355人 (うち こんにちは赤ちゃん応援隊訪問実施人数 1,155人) ○こんにちは赤ちゃん応援隊研修会 2回														

4款 衛 生 費		1項 保 健 衛 生 費		(単位 千円)													
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳														
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源												
(こども家庭課)	3 産後ケア事業費	7,711	国 3,855	－	3,856												
	(説 明) 心身の不調や育児に不安を持つ産婦等に対し、医療機関等におけるショートステイやデイケアによる支援を提供し、適切な健康管理や育児不安の軽減を図った。																
	<table><tr><th>内 容</th><th>施設数</th><th>実利用者数 (人)</th><th>延べ利用日数 (日)</th></tr><tr><td>ショートステイ</td><td>6</td><td>47</td><td>211</td></tr><tr><td>デイケア</td><td>5</td><td>65</td><td>145</td></tr></table>					内 容	施設数	実利用者数 (人)	延べ利用日数 (日)	ショートステイ	6	47	211	デイケア	5	65	145
内 容	施設数	実利用者数 (人)	延べ利用日数 (日)														
ショートステイ	6	47	211														
デイケア	5	65	145														
	4 小児慢性特定疾病対策等事業費	63,351	国 31,108	－	32,243												
	(説 明) 小児慢性特定疾病（悪性新生物、糖尿病、白血病など）に罹患した児童の医療費を助成し、経済的負担を軽減するとともに、相談支援や保護者交流会を行い、健全育成・自立支援に取り組んだ。 また、指定医・指定医療機関の指定や、審査会において承認・不承認に係る医学的審査を行った。																
	<table><tr><th>内 容</th><th>件 数</th></tr><tr><td>医療費支給認定件数</td><td>231</td></tr><tr><td>医療費支給認定変更等件数</td><td>38</td></tr></table>					内 容	件 数	医療費支給認定件数	231	医療費支給認定変更等件数	38						
内 容	件 数																
医療費支給認定件数	231																
医療費支給認定変更等件数	38																

4款 衛 生 費		1項 保 健 衛 生 費		(単位 千円)																																																										
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳																																																											
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源																																																									
(保 健 総 務 課)	5 乳幼児健康診査費	30,769	国 64	－	30,705																																																									
	(説 明) 乳幼児健康診査を実施することにより、疾病を早期発見し、適切な治療や療育を勧めるとともに、保護者のニーズに応える育児相談・指導を行い、子どもの健全な発育・発達を支援した。 また、発達支援を必要とする幼児の保護者を対象に、就学に向けての学習会を開催した。 ○乳幼児健康診査実施状況																																																													
	<table><tr><th>区 分</th><th>実施回数(回)</th><th>受診・相談者数(人)</th><th>受診率(%)</th></tr><tr><td>4ヵ月児健康診査</td><td>個別健診</td><td>1,378</td><td>98.3</td></tr><tr><td>10ヵ月児健康診査</td><td>個別健診</td><td>1,380</td><td>93.6</td></tr><tr><td>1歳6ヵ月児健康診査</td><td>66</td><td>1,759</td><td>96.6</td></tr><tr><td>3歳児健康診査</td><td>67</td><td>1,760</td><td>96.9</td></tr><tr><td>こども発達相談会</td><td>102</td><td>204</td><td>－</td></tr><tr><td>就学に向けての学習会</td><td>3</td><td>92</td><td>－</td></tr></table>					区 分	実施回数(回)	受診・相談者数(人)	受診率(%)	4ヵ月児健康診査	個別健診	1,378	98.3	10ヵ月児健康診査	個別健診	1,380	93.6	1歳6ヵ月児健康診査	66	1,759	96.6	3歳児健康診査	67	1,760	96.9	こども発達相談会	102	204	－	就学に向けての学習会	3	92	－																													
	区 分	実施回数(回)	受診・相談者数(人)	受診率(%)																																																										
	4ヵ月児健康診査	個別健診	1,378	98.3																																																										
	10ヵ月児健康診査	個別健診	1,380	93.6																																																										
	1歳6ヵ月児健康診査	66	1,759	96.6																																																										
	3歳児健康診査	67	1,760	96.9																																																										
	こども発達相談会	102	204	－																																																										
	就学に向けての学習会	3	92	－																																																										
6 放射線健康管理事業費 (復興事業費)	43,191	－ 雑入 90	43,101																																																											
(説 明) 移動式ホールボディカウンタによる検査や委託検査機関等と連携した内部被ばく検査により、市民の放射線に対する不安の軽減を図るとともに健康管理を行った。 (単位 人)																																																														
<table><tr><th rowspan="2">年齢区分</th><th rowspan="2">検査対象者数</th><th colspan="2">令和5年度</th><th colspan="2">累計受験者数</th></tr><tr><th>検査人数</th><th>うち再検査</th><th>検査人数</th><th>うち再検査</th></tr><tr><td>1 0 歳 未 満</td><td>19,048</td><td>3,113</td><td>0</td><td>8,889</td><td>0</td></tr><tr><td>1 0 歳 代</td><td>23,080</td><td>3,490</td><td>0</td><td>87,919</td><td>93</td></tr><tr><td>2 0 歳 代</td><td>25,083</td><td>22</td><td>0</td><td>46,135</td><td>256</td></tr><tr><td>3 0 歳 代</td><td>27,939</td><td>58</td><td>0</td><td>8,148</td><td>28</td></tr><tr><td>4 0 歳 代</td><td>174,213</td><td>437</td><td>0</td><td>59,444</td><td>511</td></tr><tr><td>小 計</td><td>269,363</td><td>7,120</td><td>0</td><td>210,535</td><td>888</td></tr><tr><td>上 記 以 外</td><td></td><td>148</td><td>0</td><td>4,243</td><td>5</td></tr><tr><td>合 計</td><td>269,363</td><td>7,268</td><td>0</td><td>214,778</td><td>893</td></tr></table>					年齢区分	検査対象者数	令和5年度		累計受験者数		検査人数	うち再検査	検査人数	うち再検査	1 0 歳 未 満	19,048	3,113	0	8,889	0	1 0 歳 代	23,080	3,490	0	87,919	93	2 0 歳 代	25,083	22	0	46,135	256	3 0 歳 代	27,939	58	0	8,148	28	4 0 歳 代	174,213	437	0	59,444	511	小 計	269,363	7,120	0	210,535	888	上 記 以 外		148	0	4,243	5	合 計	269,363	7,268	0	214,778	893
年齢区分	検査対象者数	令和5年度		累計受験者数																																																										
		検査人数	うち再検査	検査人数	うち再検査																																																									
1 0 歳 未 満	19,048	3,113	0	8,889	0																																																									
1 0 歳 代	23,080	3,490	0	87,919	93																																																									
2 0 歳 代	25,083	22	0	46,135	256																																																									
3 0 歳 代	27,939	58	0	8,148	28																																																									
4 0 歳 代	174,213	437	0	59,444	511																																																									
小 計	269,363	7,120	0	210,535	888																																																									
上 記 以 外		148	0	4,243	5																																																									
合 計	269,363	7,268	0	214,778	893																																																									
※検査対象者数は、5年3月31日の住民基本台帳人口																																																														

4款 衛 生 費		1項 保 健 衛 生 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
(こども家庭課)	7 妊婦・子ども等の放射線対策事業費 (復興事業費)	2,172	県 2,172	－	－
	(説 明) 希望する全ての市民にガラスバッジ（積算線量計）を配付し、個人の実際の外部被ばく量を測定・分析し、市民の放射線に対する不安の軽減を図るとともに健康管理を行った。 ○ガラスバッジ測定者数 452人				
	8 放射線と市民の健康講座開催費 (復興事業費)	2,583	県 2,583	－	－
	(説 明) 健康づくりなどをテーマにした講座等を開催し、放射線に対する正確な情報の提供や健康不安の軽減を図った。 ○開 催 回 数 7回 ○受 講 者 数 516人				
	9 新型コロナウイルス感染症対策費	18,627	国 県 9,511 1,428	雑入 8	7,680
(説 明) 妊婦のPCR検査や産前・産後サポートの強化を図ったほか、生後2ヵ月を目安に保健師・助産師による産後ケアアウトリーチ（えがお赤ちゃん訪問）を実施した。 また、産後ケア施設に衛生用品の購入等の補助を実施した。 ○妊婦のPCR検査支援事業 ・検 査 件 数 302件 ○産前・産後サポート事業 ・ホームスタート事業 利用家庭数 26家庭 延べ訪問回数 145回 ○葉酸サプリ配布事業 1,319人 ○産後ケアアウトリーチ（えがお赤ちゃん訪問） ・訪 問 件 数 1,295件 ○産後ケア施設感染防止対策支援事業 ・対象施設 7施設					

4款 衛 生 費		1項 保 健 衛 生 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
健 康 増 進 費 (健康づくり推進課) 【保健予防課】 【健康推進課】	1 健都ふくしま創造事業費	15,416	国 県 688 1,074	雑入 24	13,630
	(説 明) 「一人ひとりの健康を応援する環境づくり」「地域の健康づくり」「職場の健康づくり」を三本柱に、地域で生涯にわたって健康で安心して暮らせる「健都ふくしま」の実現をめざし市民総ぐるみの健康づくりを推進した。 ○健都ふくしま創造市民会議の開催 ○一人ひとりの健康を応援する環境づくり ・健康づくり推進協議会 委員 20人 3回開催 ・受動喫煙防止対策推進委員会 委員 15人 2回開催 ・食育推進委員会 委員 14人 3回開催 ・歯と口腔の健康づくり推進委員会 委員 13人 2回開催 ・食生活改善推進事業（地域伝達講習のための研修会） 開 催 回 数 4回 参 加 者 数 延べ103人 ・子どものむし歯予防対策（フッ化物による洗口事業） 就学前施設 34カ所 小 学 校 26校 ○地域の健康づくり ・住民主体の健康づくり推進組織の設置 5カ所 ○職場の健康づくり ・職場の健康づくり推進委員会 委員 15人 2回開催				
(健康づくり推進課) 【保健予防課】	2 一般健康診査事業費	181,845	県 7,845	受託事業収入 132,296 雑入 18	41,686
(説 明) 生活習慣病等の予防のため、健康増進法に基づく健康診査及び後期高齢者健康診査を実施した。 ○受 診 者 数 ・一般健康診査（40歳以上の生活保護受給者） 361人 ・後期高齢者健康診査（後期高齢者医療保険加入者） 14,392人 ・肝炎ウイルス検診 （40歳以上かつ過去に肝炎ウイルス検診の受診歴がない者） 2,337人 ○健康診査実施内容 身体計測、理学的検査、血圧測定、尿検査、血液検査（脂質、糖、肝機能等）					

4款 衛 生 費		1項 保 健 衛 生 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源	
	3 がん検診事業費	672,447	県	26	－	672,421
	(説 明) がんの早期発見のため、検診を実施した。 また、子宮頸がん検診、乳がん検診の対象年齢に達した市民に対し、無料クーポン券の発行やSNS等の広報媒体における検診情報の発信等により、受診率の向上を図った。 ○受 診 者 数 ・胃がん検診（50歳以上） 21,958人 ・大腸がん検診（40歳以上） 29,649人 ・肺がん検診（40歳以上） 32,976人 ・乳がん検診（40歳以上隔年） 7,783人（うち無料クーポン券利用者198人） ・子宮頸がん検診（20歳以上隔年） 8,321人（うち無料クーポン券利用者100人） ・前立腺がん検診（55～74歳隔年） 3,357人					
予 防 費 〔感染症・疾病 対 策 課〕 【保健予防課】	1 予防接種費	745,961	国 県	1,337 5,071	－	739,553
(説 明) 予防接種法に基づく定期予防接種及び任意予防接種を実施し、各疾病の予防を図った。 ○定期予防接種 ・B 型 肝 炎 延べ 4,178人 ・インフルエンザ菌b型（ヒブ） 延べ 5,775人 ・小児用肺炎球菌 延べ 5,783人 ・B C G 1,436人 ・4 種 混 合 延べ 6,162人 ・2 種 混 合 1,714人 ・麻しん風しん混合 延べ 3,445人 ・日 本 脳 炎 延べ 7,498人 ・子宮頸がん 延べ 3,193人 ・水 痘 延べ 2,921人 ・高齢者インフルエンザ 48,715人 ・高齢者肺炎球菌 3,070人 ・風しん(追加的対策) 79人(抗体検査 218人) ・ロタウイルス 延べ 3,129人 ○任意予防接種 ・おたふくかぜ 1,458人 ・麻しん風しん混合/風しん(大人対象) 413人 ・抗 体 検 査 396人						

4款 衛 生 費		1項 保 健 衛 生 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入 一 般 財 源
環 境 衛 生 費 (下水道総務課)	1 浄化槽設置整備事業費	54,076	国 県	37,670 10,531	－ 5,875
	(説 明) 公共用水域の水質保全を図るため、合併処理浄化槽設置に対する補助金を交付した。 ○整 備 基 数 171基 (うち 重点地区5基、宅内配管43基)				
	2 合併処理浄化槽転換促進支援事業費	2,490	国 県	830 1,300	－ 360
	(説 明) 公共用水域の水質保全を図るため、単独処理浄化槽またはくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換に伴う撤去費用に対する補助金を交付した。 ○撤 去 基 数 36基				
	3 ふくしま環境基本計画推進事業費	298		－	－ 298
	(説 明) 福島市環境基本計画及び福島市脱炭素社会実現実行計画を推進するため、産学官が連携したふくしま環境基本計画推進協議会を通して、温室効果ガスの削減やごみの減量化に向けた普及啓発を行った。 また、環境に関する内容を広く発信するポータルサイト「ふくエコ」を通じて、広く市民や事業者の行動変容を促すための情報発信を行った。				
(環 境 課)	4 水素社会実現推進事業費	1,999		－	基金繰入金 1,600 399
	(説 明) 水素社会の実現に向けて事業者及び行政等による福島市水素社会実現推進協議会を開催し、意見交換等を行った。 また、協議会等との連携を図り、普及啓発事業を行ったほか、燃料電池自動車（ＦＣＶ）の導入に要する経費の補助を行った。 ○水素普及啓発イベント ・開 催 月 日 8月5日 ・会 場 四季の里 ・来 場 者 数 1,973人 ○補 助 件 数 8件				

4款 衛 生 費		1項 保 健 衛 生 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入 一 般 財 源
	5 脱炭素住宅整備事業費	35,885	—	基金繰入金 35,885	—
	(説 明) 脱炭素住宅の整備に要する経費の一部を助成し、再生可能エネルギー導入を推進した。 ○助 成 件 数 429件				
	6 脱炭素生活スタイル普及啓 発事業費	1,992	—	—	1,992
	(説 明) 家庭部門の脱炭素化を推進するため、国や県の制度を含め活用可能な補助制度の紹介などを含めた体験型イベントや買い替えキャンペーンを実施し、相乗効果として経済的メリットが得られる省エネルギー化・省資源化に繋がる普及啓発を行った。 ○おトくに省エネ！体感フェア ・内 容 国・県の補助制度の紹介、窓ガラス性能ごとの遮熱・断熱の体感や住宅断熱改修関係の展示イベントの開催 ・開 催 月 日 6月10日、11日 ・会 場 ダイユーエイト福島西店 ・来 場 者 数 276人 ○省エネ家電買い換えキャンペーン ・内 容 省エネ家電を購入した方に、アプリを通じて福島県・市産品を抽選でプレゼント ・実 施 期 間 12月11日から6年2月29日 ・対 象 商 品 エアコン、テレビ、冷蔵庫、LED照明器具、LED電球 ・対 象 店 舗 市内の家電販売店 計44店舗				

4款 衛 生 費		1項 保 健 衛 生 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入 一 般 財 源
	7 環境対策費	36,442	県	468	基金繰入金 3,548 32,426
(説 明) 「環境共生都市 ふくしま市」を目指し、地球温暖化対策など環境保全や環境への負荷を低減する事業を行った。 ○環境監視調査事業 34,966 ・公共用水域水質調査 ・水質汚濁防止対策 ・ダイオキシン類調査 ・騒音・振動調査 ・大気汚染測定局による常時監視 ・大気中アスベストモニタリング調査 ・有害大気汚染物質モニタリング調査 ○環境保全推進事業 215 ・ふるさとふくしま清流づくり推進事業 ○環境対策普及啓発事業 616 ・ふくしまエコ探検隊、ゼロカーボンアクション実践講座の開催 ・わたしたちの福島（小学生向け副読本）の配布 ・「地域環境保全功績者表彰」及び「きれいにし隊表彰」 ○そ の 他 645					
	8 環境放射線量測定事業費 (復興事業費)	8,856	国	8,531	－ 325
(説 明) 支所や学校、公園等の空間線量率を定点測定し、市ホームページ等に掲載した。 また、個別詳細測定として、申込みのあった各戸の測定を行った。 ○定点測定（支所・学校等） 159ヵ所 ○個別詳細測定 1戸					
	9 放射線量マップ作成費 (復興事業費)	10,436	国	10,436	－ －
(説 明) 市内の空間線量率を測定後、「全市放射線量測定マップ」を作成し、支所・出張所等の窓口で配布したほか、市ホームページに掲載し、放射線に対する市民の不安の解消を図った。					

4款 衛 生 費		1項 保 健 衛 生 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	10 農産物・食品等放射能測定事業費 (復興事業費)	54,099	国 県	53,883 172	—	44
	(説 明) 市民の食の安全を守るため、市民が持ち込む井戸水などの飲料水、自家菜園などの農産物等、その他の食品に含まれる放射性物質の測定を行った。 ○測 定 箇 所 11ヵ所 放射線モニタリングセンター、各支所・学習センターの一部 ○測 定 件 数 ・飲 料 水 24件 ・食 品 101件 ・農 産 物 等 1,570件 ・そ の 他 6件 計 1,701件					
	11 東北大学連携放射能測定事業費 (復興事業費)	1,368	国	672	—	696
	(説 明) 放射性物質に関する専門知識や測定装置を有する東北大学と連携し、専門的助言を得ながら測定データの分析等を行い、円滑な放射能測定を進めることで、食の安全の確保と風評の払拭、各種放射能対策の推進を図った。					
	12 省エネルギー設備導入支援事業費 (物価高騰対策関連)	67,675		—	—	67,675
	(説 明) 原油価格・物価高騰等の影響により、厳しい経営状況にある中小企業者等に対して、省エネ機器の更新に係る補助金を交付し、事業継続と経営改善を支援するとともに温室効果ガスの削減を図った。 ○補 助 件 数 181件					
夜間急病診療所費 (保健総務課)	1 夜間急病診療所運営費	218,758	県	1,921	使用料 84,659 手数料 10	132,168
	(説 明) 夜間における急病患者に対し、応急的な診療体制を確保した。 ○受 診 者 数 9,024人 (1日当たり 24.7人) (内科系 2,690人、外科系 2,160人、小児科 2,577人、深夜帯 (全科) 1,597人)					

4款 衛 生 費		1項 保 健 衛 生 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			一 般 財 源
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入		
休日救急歯科診療所費 (保健総務課)	1 休日救急歯科診療所運営費	21,433	－	使用料 6,656	14,777	
	(説 明) 休日における急病患者に対し、応急的な歯科診療体制を確保した。 ○受 診 者 数 793人 (1日当たり 10.7人) ○開 設 日 数 74日					
	2 障害者歯科診療事業費	6,685	－	使用料 2,100 雑入 12	4,573	
(説 明) 休日救急歯科診療所を利用し、心身に障がいをもつ患者に対する歯科診療体制を確保した。 ○受 診 者 数 405人 (1日当たり 3.9人) ○開 設 日 数 105日						

4款 衛 生 費		2項 清 掃 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
じん芥処理費 (環境施設整備室)	1 あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備事業費	129,147	国 28,740	債 37,400	63,007
	(説 明) あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備向け、環境影響評価委託事業、発注者支援委託事業、旧破碎工場等解体事業、焼却工場建設事業等を行った。				
	○あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備環境影響評価委託事業 (元～5年度継続事業) 61,750				
	年 度	事 業 費	左 の 財 源 内 訳		
			特 定 財 源		一 般 財 源
			国 県 支 出 金	地 方 債 そ の 他	
	元	3,650	3,650	－	－
	2	26,800	707	－	26,093
	3	7,710	7,710	－	－
	4	1,620	－	－	1,620
5	61,750	20,583	－	41,167	
計	101,530	32,650	－	68,880	
○あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備発注者支援委託事業 (3～5年度継続事業) 25,228					
年 度	事 業 費	左 の 財 源 内 訳			
		特 定 財 源		一 般 財 源	
		国 県 支 出 金	地 方 債 そ の 他		
3	2,490	2,137	－	353	
4	6,110	－	－	6,110	
5	25,228	7,058	－	18,170	
計	33,828	9,195	－	24,633	
○あぶくまクリーンセンター旧破碎工場等解体事業 (4～6年度継続事業) 37,750					
年 度	事 業 費	左 の 財 源 内 訳			
		特 定 財 源		一 般 財 源	
		国 県 支 出 金	地 方 債 そ の 他		
4	－	－	－	－	
5	37,750	－	35,800	1,950	
6	161,250	－	153,100	8,150	
計	199,000	－	188,900	10,100	

4款 衛 生 費		2項 清 掃 費		(単位 千円)		
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収	一 般 財 源	
(ごみ減量推進課)	○あぶくまクリーンセンター焼却工場建設事業（5～9年度継続事業）2,910					
	年 度	事 業 費	左 の 財 源 内 訳			
			特 定 財 源		一 般 財 源	
	国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他			
	5	2,910	1,099	1,600	－	211
	6	205,012	4,217	151,500	－	49,295
	7	2,163,447	213,285	1,526,400	400,000	23,762
	8	6,211,832	1,523,501	3,863,600	800,000	24,731
	9	9,665,799	2,759,098	5,780,600	1,100,000	26,101
	計	18,249,000	4,501,200	11,323,700	2,300,000	124,100
	○事務費等1,508					
	2 ごみ減量化促進対策事業費	12,227	－	基金繰入金 12,227	－	
	(説 明)					
	可燃ごみのうち約4割を占める「生ごみ」削減のため、食品ロス削減マイスターの認定や、県内初のふくしまタバスケ運用開始を通し、食品ロス削減の重要性を訴えとともに、生ごみ処理容器購入費助成に引き続き取り組んだ。また、次いで多い「紙類」や「草枝類」削減のため、家庭用剪定枝破砕機貸与事業、使用済みはがき回収事業を継続して実施し、ごみの減量化・資源化に向け、市民・事業所への意識啓発に取り組んだ。					
	さらには、集団資源回収を実施する市民団体及び協力する回収業者に対し、報奨金・助成金を交付して資源回収活動を奨励し、資源の再利用を図った。					
	○食品ロス削減関連事業1,165					
	・食品ロス削減マイスター認定 19人					
	・パネル展実施回数 3回					
	・ふくしまタバスケ協力店舗数 21店舗（削減量673kg ※6年3月31日現在）					
	○生ごみ処理容器購入費助成1,612					
	・助 成 件 数 146件					
	○段ボール製コンポスト購入費助成299					
	・助 成 件 数 299件					
	○家庭用剪定枝破砕機貸与事業473					
	・貸 出 件 数 76件					
○使用済みはがき回収事業（ももりんエコポスト）8						
・回収枚数 26,213枚						
・回収重量 81.3kg						
○ごみ分別アプリ198						
・ダウンロード数 6,315件（累計30,248件 ※6年3月31日現在）						
○集団資源回収報奨6,035						
・回 収 量 1,206 t						
○集団資源回収業者助成1,385						
・申請引取回数 1,219回						
・申請引取重量 605 t						
○ごみ組成分析調査803						
○そ の 他 249						

4款 衛 生 費 2項 清 掃 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収	一 般 財 源
あぶくま クリーン センター	3 ふれあい訪問収集事業費	5,698	－	財産売払収入 22 雑入 52	5,624
	(説 明) ごみや資源物を集積所まで持ち出すことが困難な高齢者や障がい者世帯を対象に、安否確認を兼ねた戸別訪問収集を実施した。 ○利用登録世帯 1,212世帯 (6年3月31日現在) ○収 集 車 両 10台 (うち予備車1台) ○収 集 量 310 t ○訪 問 件 数 72,181件 ○安否確認件数 60,631件 ○所在確認件数 576件 ○緊急対応件数 18件				
	4 あぶくまクリーンセンター費	957,291	－	手数料 59,045 基金繰入金 72,444 雑入 578	825,224
あぶくま クリーン センター	(説 明) あぶくまクリーンセンターの維持管理を行い、住民生活環境の美化を図った。				
	○搬 入 量				
	・可 燃 ご み 29,936 t				
	・プラスチック製容器包装 1,919 t				
	○焼 却 量 29,163 t				
	○埋立処理量				
	・大館山一般廃棄物最終処分場 11,551 t				
	○資 源 化 量				
	・プラスチック製容器包装 1,188 t				
	○犬猫等死体処分状況				
	・収 集 運 搬 840頭				
	・自 己 搬 入 3,108頭				
	計 3,948頭				

4款 衛 生 費		2項 清 掃 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入 一 般 財 源
〔 あ ら か わ ク リ ー ン セ ン タ ー 〕	5 あらかわクリーンセンター費	1,032,517	—	手数料 226,958 財産売払収入 201,853 基金繰入金 116,585 雑入 186,181	300,940
	(説 明) あらかわクリーンセンターの維持管理を行い、住民生活環境の美化を図った。 ○搬 入 量 ・可 燃 ご み 57,350t ・不 燃 ご み 5,287t ・資 源 物 6,832t ○焼 却 量 57,495t ○破碎処理量 ・不燃、粗大ごみ 5,286t ○資 源 化 量 ・金 属 類 1,544t ・缶 類 571t ・び ん 類 577t ・ペットボトル 544t ・紙 類 3,689t 計 6,925t (リサイクルプラザ) ○粗大ごみ収集状況 ・収 集 戸 数 16,102件 ・収 集 個 数 53,468個 ・収 集 量 956t ○再生品提供状況 ・自 転 車 129台 ・家 具 類 630台 ○利 用 状 況 ・見 学 者 数 1,995人 ・その他来館者数 32,024人 計 34,019人				
(ごみ減量推進課)	6 災害等廃棄物処理費 (令和4年福島県沖地震関連)	1,964,567	国	617,579	— 1,346,988
	(説 明) 令和4年福島県沖地震により被災した家屋等について、所有者からの申請に基づき解体処分及び収集運搬を実施した。 ○被災家屋等の解体【4年4月20日～4年8月26日】 ・対 象 半壊判定以上の家屋等 ・申 請 件 数 687件 ・完 了 件 数 654件 ・取 下 件 数 29件 ○災害廃棄物処分 ○被災家屋等解体監理				

4款 衛 生 費		2項 清 掃 費		(単位 千円)		
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
〔 あ ぶ く ま ク リ ー ン セ ン タ ー 〕 〔 あ ら か わ ク リ ー ン セ ン タ ー 〕 (ごみ減量推進課)	7 災害等廃棄物処理費 (復興事業費)	6,290	国	6,290	—	—
	(説 明) 放射性物質を含む可能性がある廃棄物の処理の安全性を確認するため、各施設から排出される排ガスや排水等のモニタリングを行った。					
	8 新型コロナウイルス感染症対策費	252		—	—	252
(説 明) 可燃ごみ、不燃ごみ及び資源物の収集運搬業務委託継続にあたり、エッセンシャルワーカーである収集員の業務維持に必要なとなるマスクや消毒液等に要する費用を負担して、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図った。 ○じん芥収集業務委託事業費 144 ○資源物収集業務委託事業費 108						

4款 衛 生 費		2項 清 掃 費		(単位 千円)		
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
し 尿 処 理 費 (ごみ減量推進課)	1 衛生処理場整備事業費	1,046,872		－	基金繰入金 244,047 債 785,100	17,725
	(説 明) 衛生処理場の単独稼働に向け、場内施設の改造を行った。					
	○衛生処理場整備事業（3～5年度までの継続事業） 976,047					
	年 度	事 業 費	左 の 財 源 内 訳			
			特 定 財 源			一 般 財 源
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	
	3	77,367	－	58,000	19,367	－
	4	280,756	－	210,500	70,256	－
	5	976,047	－	732,000	244,047	－
	計	1,334,170	－	1,000,500	333,670	－
○衛生処理場整備事業 70,825						

5款 労 働 費		1項 労 働 諸 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
労 働 諸 費 (産業雇用政策課)	1 働く女性応援事業費	1,203	国	601	－	602
	(説 明) 女性の雇用継続や管理職登用、男女ともに働きやすく、仕事と子育てを両立できる職場環境づくりに取り組む中小企業を認証し、企業のイメージアップと、誰もが働きやすく活躍できる職場環境づくりの推進を図った。 また、認証企業の中でも、より多くの取り組みを継続して行う企業をゴールド企業として認証し、市内企業の女性活躍への取り組みの更なる推進を図った。 ○働く女性応援企業認証事業 ・新規認証企業数 18社 ・ゴールド認証企業数 5社					
	2 女性活躍推進セミナー開催費	1,980	国	990	－	990
	(説 明) 職場復帰を目指している女性や得意なことを活かして働きたい女性など、対象者ごとに4つのテーマでセミナーを開催し、その個性と能力を社会で十分に発揮できるよう支援を行った。 ○女性活躍応援セミナー ・キャリアデザインセミナー（キャリア形成） 参加者数 14人 ・キャリアデザインセミナー（キャリア継続） 参加者数 9人 ・職場復帰セミナー 参加者数 6人 ・女性活躍セミナー 参加者数 12人					
	3 若年者就職支援事業費	4,654		－	－	4,654
(説 明) 市内企業の労働力確保を図るため、高校生を対象とした就職支援事業を行った。 また、新規学卒者等へ地元企業の魅力を発信するため、働く女性応援ゴールド認証企業と障がい者雇用推進ゴールド認証企業を紹介する動画や記事を作成し、市内だけでなく、市外・県外の求職者へも市内企業の情報発信を行った。 ○高校生就職塾 ・企業説明会 参加者数 526人 ・模擬面接講座 参加者数 232人 ○ゴールド認証企業紹介動画 総再生回数 16,184回						

5款 労働費 1項 労働諸費 (単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入
	4 雇用安定対策費	998	—	—	998
(説 明) 障がい者雇用を積極的に進める中小企業を認証し、企業のイメージアップと障がい者雇用に対する意識向上を図った。 また、認証企業の中でも、より多くの取り組みを継続して行う企業をゴールド企業として認証し、市内企業の障がい者雇用への取り組みの更なる推進を図った。 さらに、市内事業所の労働環境の実態把握など、就職支援及び雇用対策を推進するための情報収集を行った。 ○障がい者雇用推進企業認証事業 447 ・新規認証企業数 2社 ・ゴールド認証企業数 1社 ○労働条件等実態調査事業 ほか 551					

6款 農林水産業費 1項 農業費 (単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
農業委員会費 (農業委員会)	1 人・農地プラン目標地図作成事業費	2,105	県	1,199	—	906
	(説 明) 将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」の策定に向けた目標地図の素案作成のため、農業者等の意向調査を実施した。 ○意向調査 発送件数 10,293件 回答件数 4,857件 回 収 率 47% (6年3月31日現在)					
農業総務費 (農業企画課)	1 福島大学食農学類連携事業費	2,255	—	—	—	2,255
	(説 明) 学生に対する福島市の農業・食産業の理解促進と地元産業への人材定着を促し、地域農業の課題解決や地域貢献など、本市農業に資することを目的とし、フィールド実習を重視した実践型の農学教育プログラムの実施を福島大学食農学類に委託した。 ○実施内容 ・摘果果実の有効利用方法の検証、摘果モモに含まれる機能的成分の分析 ・摘果果実活用に向けた利用実態の把握 ・摘果モモの粉末を用いた加工品の試作・アンケート調査					
農業振興費 (農業企画課)	1 農地中間管理事業費	1,690	—	—	受託事業収入 1,690	—
	(説 明) 農地の中間的な受け皿となる農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化を支援し、担い手の農業経営の安定化と生産コスト削減を図った。 ○受 託 業 務 ・筆数、面積 400筆、55ha ・貸付件数 (機構→借受者) 136件 ・借入件数 (貸付者→機構) 176件					

6款 農林水産業費 1項 農 業 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
(農 業 振 興 課)	2 農地流動化支援事業費	3,674	—	—	3,674
	(説 明) 農地の流動化を積極的かつ計画的に進め、農地を賃借又は所有し経営規模の拡大を図った農業者に対し、支援金を交付した。 ○交付流動化面積 29.4ha				
	3 米粉等利用拡大支援事業費	656	—	—	656
	(説 明) 食料安全保障の観点から、海外の情勢に影響を受けている小麦粉の代替原料として米粉等を活用した商品の開発及び生産を支援した。 ○交 付 件 数 ・開 発 支 援 8件 ・生 産 支 援 5件				
	4 収入保険加入促進特別対策事業費	1,621	—	—	1,621
	(説 明) 令和5年産の農産物を補償の対象とする収入保険に初めて加入した市内農業者に対し、初年度保険料の2分の1を助成し、農業経営の安定化に資する収入保険への加入を促した。 ○交付件数 41件				
	5 鳥獣被害対策強化事業費	40,874	県	6,669	雑入 42 34,163
	(説 明) 関係機関との連携のもと、サル、イノシシ、カラスなどによる農作物の被害軽減を目的とする有害鳥獣被害対策事業を推進し、農家経営の安定を図った。 ○有害鳥獣被害対策協議会事業 14,724 ○イノシシ捕獲対策事業 12,788 ・有害捕獲・狩猟捕獲 556頭 ・専門員捕獲 43頭 ・県指定管理捕獲(県事業) 409頭 ○侵入防止柵整備事業 2,377 ・設 置 件 数 118件(新規27件、補修91件) ・施 工 内 容 3,320m ○そ の 他 10,985				

6款 農林水産業費 1項 農 業 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
(農 業 振 興 課)	6 ツキノワグマ被害等特別対策事業費	1,193	県	1,065	— 128
	(説 明) ツキノワグマによる被害を防止するために、地域住民が主体となって行う「生息環境管理」や「被害防除」等の総合的な取り組みを支援した。 また、ツキノワグマに対する理解を深め、効果的な対策や緊急時の行動が行えるよう一般向け、小学校向けに「ツキノワグマ防災教室」等を実施した。 ○野生鳥獣被害防止地域づくり事業 1件 1,065 ○ツキノワグマ防災教室 116 ・一般向け 4回 ・小学校向け 6回 ○ツキノワグマ対策用動画制作 12				
	7 中山間地域等直接支払交付金事業費	68,413	県	47,552	— 20,861
	(説 明) 中山間地域等で農業生産活動等を行う農業者に対し交付金を交付し、耕作放棄地の発生防止及び農用地の保全と多面的機能の確保を図った。 ○交 付 件 数 64件				
	8 環境保全型農業直接支払交付金事業費	3,297	県	2,489	— 808
	(説 明) 地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に対して交付金を交付し、環境保全型農業の促進を図った。 ○交 付 件 数 6件 ○対 象 面 積 52.3ha				
	9 新規就農者育成総合対策事業費	69,381	県	69,381	— —
	(説 明) 次世代を担う農業者となることに強い意欲を有する、原則50歳未満の独立・自営就農者等に対して補助金を交付し、青年の就農意欲の喚起と就農定着、地域農業の活性化を図った。 ○農業次世代人材投資事業 8件 10,516 ○経営開始資金(経営開始支援資金) 16件 21,750 ○経営発展支援事業(初期投資促進事業) 7件 36,615 ○推進事業 500				

6款 農林水産業費		1項 農 業 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(農 業 振 興 課)	10 あぐりっしゅサポート事業費	8,055	国 412	—	7,643
	(説 明) 兼業農家や親元就農者など、多様な形態の新規就農者へ支援を行い、円滑な経営継承と就農定着を促進した。 ○農業経営開始支援事業 16件 ○農業用機械等導入支援事業 1件 ○農業メンター事業 11件 ○農業体験事業 1件 ○農地流動化支援金 18件				
	11 気候変動対応型農業支援事業費	4,429	—	—	4,429
	(説 明) 気候変動により極端化する気象やそれに伴う病害虫のまん延に対して、農作物への被害低減や品質保持につながる取り組みを支援し、営農者の経営安定と果樹産地としてのブランド力向上を図った。 また、果樹剪定枝の提供者と利用者を本市が仲介し、マッチングすることで野焼きの未然防止による温室効果ガスの排出抑制と周辺環境の悪化防止を図った。 ○モモせん孔細菌病防除事業（防除薬剤購入費用への補助） ・ 交 付 件 数 1件 ・ 対象農家数 826戸 ・ 対 象 面 積 458ha ○果樹剪定枝まきストープ等マッチング事業 ・ 申 込 者 数 118人（提供者33人・利用者85人）				
	12 「ゆうやけベリー」ブランド化推進事業費	6,430	—	—	6,430
	(説 明) 福島県オリジナル品種のいちご「ゆうやけベリー」のブランド化を推進するため、生産者に対し栽培環境整備に係る費用の一部を支援したほか、市オリジナルパッケージの作成や認知度向上に向けた販売イベントを開催するなど生産振興と販売促進両面での支援を実施した。 ○補助金交付件数 5件 5,051 ○販売促進用パッケージ作成 800 ・ 作 成 数 2,000枚 ○販売イベント等企画・運営業務 495 ○その他 84				

6款 農林水産業費		1項 農 業 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(農 業 企 画 課)	13 凍霜害特別対策事業費	873	県 436	－	437
	(説明) 4月に発生した凍霜害により被害を受けたほ場に対して、必要な資材の購入と病虫害防除の支援を行った。				
	○病虫害防除事業 433 ・対象農家数 102戸 ・対 象 面 積 16ha ○凍霜害発生防止対策事業 440 ・対象農家数 69戸 ・対 象 面 積 7.69ha				
(農 業 振 興 課)	14 四季の里整備費	17,191	－	債 4,900	12,291
	(説 明) 来園者の安全かつ快適な施設利用に供するため、園内の高圧ケーブルの更新工事を実施したほか、駐車場の拡張に向けた測量設計業務及び不動産鑑定業務などを実施した。				
	○高圧ケーブル更新工事 5,478 ○浄化槽用ブロワーポンプ交換工事 2,244 ○駐車場区画線工事 1,199 ○駐車場拡張工事土質調査業務委託 499 ○駐車場拡張工事測量設計業務委託 6,270 ○駐車場拡張工事不動産鑑定評価等業務 330 ○その他 1,171				
	15 ふくしまの農産物魅力アップ事業費	2,926	－	－	2,926
	(説 明) 重点消費地や交流都市等へのトップセールスを実施し、本市産農産物のPRと消費拡大に努めた。				
○トップセールス推進事業 ・九州地区トップセールス 実 施 月 日 7月23日～25日 実 施 場 所 福岡市中央卸売市場、北九州市中央卸売市場、福岡大同青果、北九州青果 太宰府天満宮 P R 品 目 モモ ・首都圏トップセールス 実 施 月 日 7月26日～27日 実 施 場 所 東京都中央卸売市場淀橋市場、都内果物専門店 P R 品 目 モモ ・阪神地区トップセールス 実 施 月 日 8月24日～26日 実 施 場 所 大阪市中央卸売市場、神戸中央青果、大果大阪青果 P R 品 目 ナシ					

6款 農林水産業費 1項 農 業 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	16 福島駅前軽トラ市開催事業費	6,981	—	—	6,981
	(説 明) 福島駅前通り及びWe bにおいて軽トラ市を開催し、消費者へ市産農産物や6次化商品等の安全性、美味しさを伝えるとともに、販売促進及び販路拡大を図った。 ○福島駅前軽トラ市 ・開 催 月 日 7月30日、8月27日、9月24日、10月29日 ・会 場 福島駅前通り（歩行者天国） ・来 場 者 数 20,039人（7月：3,645人、8月：4,698人、9月：6,313人、10月：5,383人） ○We b福島駅前軽トラ市 ・開 催 期 間 4月1日～6年3月31日 ・出 店 者 数 26店舗 ・アクセス数 32,519件				
	17 ふるさとアグリBOX実証 実験事業費	7,194	—	—	7,194
	(説 明) 少量多品目の詰め合わせ商品など、一度に多くの品目を楽しめるアソートBOXを作成し、くだものの消費拡大を推進するとともに、贈答用パッケージとしての活用を促すことで、「くだものの宝石箱 ふくしま市」のブランド化を図った。 ○ふるさとアグリBOX（F－BOX）の作成 ・贈答用3種 計8,000枚 ・家庭用1種 計1,500枚 ○市主催イベント等での活用 ・首都圏、阪神地区、九州地区トップセールス ・福島市企業立地セミナー ・道の駅ふくしま ももてなしフェア 等				
	18 風評対策費 (復興事業費)	1,507	県 1,507	—	—
	(説 明) 消費者に本市産農産物の品質の高さや安全性など正確な情報発信を行うため、イベントの開催や広報物等の作成・配布などを行い、風評の払拭を図った。 ○安全安心くだものPRパンフレットの作成 720 ・作 成 数 143,000部 ○市産農産物安全安心発信事業 787 ・実 施 月 日 9月30日～10月1日 ・参 加 者 数 17人 ・会 場 環境再生プラザ、市内果樹園ほか				

6款 農林水産業費 1項 農 業 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	19 果実消費拡大事業費 (復興事業費)	7,930	—	—	7,930
	(説 明) 福島県くだもの消費拡大委員会の構成団体と連携し、首都圏や阪神地区等の重点消費地において、ミスピーチキャンペーンクルーによる福島産くだもののセールスを展開した。 また、県内外で広くPR活動を実施し、福島産くだもの消費拡大と風評の払拭を図った。 ○PR活動実施状況 ・日 数 143日（サクランボ4日、モモ93日、リンゴ12日 ほか） ○鉢植え果樹を活用したPR ・モモ（あかつき）狩り取り 実 施 月 日 7月28日 場 所・人 数 御山保育所 70人 ・リンゴ（ふじ）狩り取り 実 施 月 日 11月22日 場 所・人 数 森合幼稚園 33人 ○鉢植え展示 ・モモ（あかつき） 展 示 期 間 7月28日～8月17日 展 示 場 所 J R福島駅 東西連絡通路、新幹線改札内コンコース ・リンゴ（ふじ） 展 示 期 間 11月22日～29日 展 示 場 所 J R福島駅 東西連絡通路、新幹線改札内コンコース ・モモ（花） 展 示 期 間 6年3月18日～4月10日 展 示 場 所 J R福島駅 東西連絡通路、新幹線改札内コンコース、福島市観光案内所 ○ホームページ・SNSを活用したPR ホームページやInstagram、Facebookを活用し、ミスピーチキャンペーンクルーによるPR活動の情報やイベント情報などを発信した。				
	20 放射性物質吸収抑制対策事業 費 (復興事業費)	19,227	県 19,227	—	—
	(説 明) 震災後初めて水稲及び大豆を作付けするほ場を持つ営農者に対して吸収抑制資材を配布し、放射性物質の移行抑制を図った。 また、果樹の改植により、果実への放射性物質の移行抑制を図った。 ○実施面積 19,029 ・水 稲 1.36ha ・大 豆 0.54ha ・果樹の改植 8.35ha ○管理台帳の整備 198				

6款 農林水産業費		1項 農 業 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入 一 般 財 源
	21 地域の恵み安全対策協議会運営補助事業費 (復興事業費)	4,322		－	－ 4,322
	(説 明) 園芸品目の放射性物質検査及び米のモニタリング検査（県実施）を推進する「福島市地域の恵み安全対策協議会」に対し補助金を交付し、本市産農産物の安全性の確保と消費者の信頼回復を図った。 ○園芸品目検査 ・ 検 査 品 目 174品目 ・ 検 査 件 数 7,127件				
	22 施設園芸エネルギー転換支援事業費 (新型コロナウイルス関連)	9,972		－	－ 9,972
	(説 明) 燃油価格に影響されることなく収量・品質を確保できる生産体制を整備するため、施設園芸生産者に対して、燃油を使用しない暖房設備等への更新・設置に係る経費を支援した。 ○交 付 件 数 2件				
	23 肥料価格高騰対策支援事業費 (物価高騰対策関連)	5,233		－	－ 5,233
	(説 明) 炭化器を活用して果樹剪定枝等を炭に変え、保肥力を高める土壌改良材として活用することで、価格高騰が著しい化学肥料の低減につなげ、営農者の負担軽減を図った。 また、野焼き等の未然防止による温室効果ガスの排出抑制と周辺環境の悪化防止を図った。 ○交 付 件 数 83件				
	24 農業用燃油高騰対策支援事業費 (物価高騰対策関連)	3,095		－	－ 3,095
	(説 明) 原油価格・物価高騰による影響を軽減し、農業経営の安定化を図るため、燃油購入費に対する支援を実施した。 ○交 付 件 数 37件				

6款 農林水産業費		1項 農 業 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
畜 産 業 費 (農 業 振 興 課)	1 酪農振興対策事業費 (復興事業費)	1,241		－	－	1,241
	(説 明) 原子力災害の影響により様々な負担を強いられている畜産農家を支援するため、資質の高い子牛の生産により優良な後継牛の確保などを推進し、畜産振興を図った。 ○預託牛輸送費補助事業 90 ○受精卵移植推進事業 206 ○性別別優良精液推進事業 945					
	2 放射性物質吸収抑制対策事業費 (復興事業費)	3,626	県	3,626	－	－
	(説 明) 吸収抑制資材を農家へ支給し、牧草への放射性物質移行の抑制を図った。 ○実 施 面 積 ・カリ肥料の散布 20.41ha					
	3 飼料価格高騰緊急対策事業費 (物価高騰対策関連)	15,441		－	－	15,441
(説 明) 物価高騰・飼料価格高騰の影響を受けた畜産農家を支援するため補助金を交付し、畜産業の安定した継続及び畜産農家の経営負担の軽減を図った。 ○交付件数 29件						

6款 農林水産業費 1項 農 業 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
農 地 費 (農 林 整 備 課)	1 農業水路等長寿命化・防災減災事業費	10,046	県 6,400	債 3,200	446
	(説 明) 県営事業「農村地域復興再生基盤整備事業 松川岩堰地区」に関連し、堰の統合による取水量の増加に対応するため、幹線水路の整備を行った。 ○松川町熊ノ田地区 ・委託料 3,300 ・工事請負費 6,721 ・負担金 25				
	2 施設改修費	20,860	－	－	20,860
	(説 明) 農業用施設を整備し、農業経営の安定を図った。 ○水路工 松川町関谷柴平地区 ほか 7地区 ○道路工 松川町下川崎鍛冶屋山地区 ほか 2地区 ○ため池 飯野町針木戸地区				
	3 農村地域防災減災事業費	43,013	県 43,000	－	13
	(説 明) 堤体からの漏水が確認されている防災重点農業用ため池について、堤体改修に向けた調査を実施し、計画の策定を行った。 ○大笹生地区ため池設計等委託料（安養寺沼の調査計画） 11,000 ○松川地区堰設計等委託料（柳田堰・館町沼の調査計画） 32,013				
	4 農道橋梁維持改修費	9,394	－	債 8,400	994
	(説 明) 「福島市農道施設長寿命化計画」（個別施設計画）に基づき、農道橋梁（星ノ宮橋）の補修工事を行った。 ○星ノ宮橋修繕工事（農道 星ノ宮線） 9,394				

6款 農林水産業費 1項 農 業 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
	5 多面的機能支払対策事業費	148,887	県 112,052	雑入 1	36,834
	(説 明) 農業・農村が有する多面的機能が適切に発揮されるよう、地域ぐるみで農地・農業用水等の地域資源を保全管理する48組織を支援した。				
	6 地籍調査事業費	8,781	県 2,691	手数料 756 雑入 12	5,322
	(説 明) 国土調査法に基づく地籍調査事業を実施し、地籍の明確化を図った。 ○大波第18地区 A＝0.22㎢ 地積測定・地籍図作成 ○大波第19地区 A＝0.03㎢ 調査・測量				
	7 農業施設災害防止緊急対策事業費	97,440	－	債 97,300	140
	(説 明) 老朽化等により施設の劣化が著しい普通河川について、予防保全の考え方に基づき施設の保全を図るため、護岸の整備を行った。				
	8 田んぼダム事業費	2,195	－	－	2,195
	(説 明) 田んぼが有する雨水貯留機能を活用し、大雨時に洪水被害を軽減させるべく田んぼダムの取り組みを実施した。松川町水原地区において、前年度4.9haに加え、11.4ha（合計16.3ha）実施した。 ○取組面積 ・松川町水原地区 11.4ha				

6款 農林水産業費 2項 林 業 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
林 業 振 興 費 (農 林 整 備 課)	1 森林病虫害等防除事業費	3,206	県 527	－	2,679
	(説 明) 森林病虫害被害予防として、危険木除去等を実施し、森林資源の保護を図った。 ○危険木除去 42.95㎡				
	2 里山林保全対策事業費	5,351	県 4,013	－	1,338
	(説 明) 森林病虫害等の拡大防止を図るため、被害木の調査、伐倒駆除を実施した。 ○被害調査 (危険木・カシノナガキクイムシ等) 1,944 ○被害木伐倒駆除 3,407				
	3 森林環境交付金事業費	14,131	県 14,131	－	－
	(説 明) 県の森林環境税を財源とする森林環境交付金を活用した事業を行い、森林環境の保全や森林づくりの意識醸成を図った。 ○森林環境学習の推進事業(福島第一小学校 ほか36校) 7,677 ○森林G I Sシステム使用料 396 ○その他独自事業(古館町内会 「古館の大ケヤキ」保存活動) 6,058				

6款 農林水産業費 2項 林 業 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	4 森林環境整備事業費	40,963	－	基金繰入金 40,963	－
	(説 明) 森林環境譲与税を活用し、市内の小学生を対象とした普及啓発事業を実施するとともに、東京都荒川区と市内森林の森林整備を目的とした交流事業を実施した。 また、森林の所有者調査や境界明確化の基礎資料とするため森林境界保全図を作成し、吾妻地区の森林境界明確化及び森林整備を行った。 ○森林・林業学習事業 (森合小学校 ほか5校) 1,884 ○「あらかわの森」植樹・交流イベント (東京都荒川区連携事業) 526 ○森林境界保全図作成業務等 7,180 ○森林境界明確化 9,680 ○森林整備 21,693				
	5 ふくしま森林再生事業費 (復興事業費)	150,299	県 120,202	雑入 12	30,085
	(説 明) 放射性物質の影響により森林所有者による森林整備が停滞している民有林を対象に、森林整備を行った。 ○森林整備等 147,497 ・山口五本松地区 ほか5地区 ○事 務 費 2,802				
	6 林業専用道整備事業費 (復興事業費)	37,216	－	－	37,216
	(説 明) 東日本大震災、原子力災害からの復興再生と持続可能な林業経営に向け、林業のための道路整備を実施した。県営事業 (県発注・施工) により実施し、事業費の一部を負担した。 ○負 担 金 ・上古屋線				

7款 商 工 費		1項 商 工 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
商 工 業 振 興 費 (産業雇用政策課)	1 中小企業振興預託金	735,000	—	—	貸付金元利収入 735,000	—
	(説 明) 中小企業者の金融の円滑化を図るため、市融資制度及び国・県制度の利用促進に努めた。 また、震災特別枠を設け、中小企業の復興を支援した。 ○利 用 実 績 ・中小企業一般融資 100件 (一般枠90件、震災特別枠10件)					
	2 中小企業信用保証料補助金	8,247	—	—	—	8,247
	(説 明) 中小企業者の金融の円滑化及び負担の軽減を図るため、市中小企業一般融資及び県起業家支援保証制度の利用者に対し、信用保証料の100分の50 (県起業家支援保証制度は100分の80) を補助 (上限50万円) した。 ○補 助 件 数 122件 (市中小企業一般融資100件、県起業家支援保証制度22件)					
	3 中小企業ゼロカーボン資金 融資預託金	500,000	—	—	貸付金元利収入 500,000	—
	(説 明) 中小企業者の金融の円滑化を図るとともに、中小企業のゼロカーボンに向けた設備開発や導入を支援した。 ○利 用 実 績 ・中小企業ゼロカーボン資金融資 5件 (開発資金枠1件、導入資金枠4件)					
	4 中小企業ゼロカーボン資金 融資信用保証料補助金	591	—	—	—	591
	(説 明) 中小企業者の金融の円滑化及び負担の軽減を図るため、市中小企業ゼロカーボン資金融資の利用者に対し、信用保証料の3分の2を補助 (上限50万円) した。 ○補 助 件 数 5件					

7款 商 工 費		1項 商 工 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(産業雇用政策課) (企業振興課) 【産業雇用政策課】 【商工業振興課】	5 工業振興対策費	4,041	—	—	基金繰入金 2,186	1,855
	(説 明) 企業の競争力強化支援のため、補助金を交付した。 また、地域の産業振興を図るため、技能者の地位や技能水準の向上、優れた技能・技術の伝承等を目的として技能功労者の表彰や名工展を開催するとともに、中小企業の後継者を対象とした育成塾を実施した。 ○新事業創出支援事業 2,186 ・新製品・新技術開発支援事業 補助件数 4件 ・展示会出展・販路拡大支援事業 補助件数 5件 ○技能功労者表彰・名工展事業 811 ○後継者育成事業 990 ○そ の 他 54					
	6 企業立地促進費	182,698	—	—	—	182,698
(企業振興課) 【企業立地課】	(説 明) 産業の振興と雇用の拡大を図るため、企業訪問や展示会への出展等により、立地優遇制度等の情報を提供し、積極的な企業誘致活動を行った。 また、企業立地促進条例に基づく奨励措置として、助成金を交付した。 ○展示会出展実績 654 ・福島県企業立地セミナー (東京都) ほか5件 ○助成金交付実績 175,316 ・用地取得助成金 1社 ・操業奨励助成金 6社 ・雇用奨励助成金 8社 ○その他 6,728					
	7 食品加工産業創出事業費	3,033	—	—	—	3,033
	(説 明) 本市産農産物を活用した新たな食品加工による商品の開発を支援するため、補助金を交付した。 ○補 助 件 数 3件					
(産業雇用政策課)						

7款 商 工 費 1項 商 工 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入 一 般 財 源
(にぎわい商業課) 【商工業振興課】	8 特定集積産業事業拡大・強化支援事業費	10,000	—	—	10,000
	(説 明) 特定集積産業の生産体制の拡大・強化のため、製造設備の整備に要する費用の一部を補助した。 ○補 助 件 数 1件				
	9 街なかにぎわい創出事業費	32,617	—	—	32,617
(産業雇用政策課) 【商工業振興課】	(説 明) エスタビル地下1階に「街なか交流館」を設置し、再開発事業期間における福島駅周辺を中心とした街なかの賑わいと交流人口の拡大を図るとともに、市民が交流・活動する空間を創出した。 また、まちづくりに関わり活動する団体間の連携を図るため、街なか賑わい創出プロジェクトの活動基盤として情報システムの運用等を行った。 ○街なか交流館等委託事業関連 31,917 ・来場者数 35,832人 ○街なか賑わい創出プロジェクト関連 700				
	10 ふくしま田園中枢都市圏ビジョン事業費	515	—	—	515
	(説 明) 圏域内の中小企業のサプライチェーンを強化するため、圏域企業によるビジネスマッチングを開催した。 また、チャレンジ意欲の高い新規創業者を育成するため、起業家育成スクールを開催した。 ○圏域9ビジネスマッチング2023 310 ・参加企業数 50社 ・来場者数 150人 ○圏域9起業家育成スクール2023 205 ・参加者数 9人				

7款 商 工 費 1項 商 工 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入 一 般 財 源
(にぎわい商業課) 【商工業振興課】	11 商店街等活性化イベント支援事業費	30,837	—	—	30,837
	(説 明) 商店街等が実施するイベント等に対し補助を行い、地域経済の活性化及び賑わい創出を図った。 ○補 助 件 数 80件				
	12 消費額日本一の名物料理コンテスト事業費	2,062	—	—	2,062
(産業雇用政策課) 【商工業振興課】	(説 明) 一世帯当たりの年間消費額が4年連続（令和元～4年）日本一となった納豆を用いた料理コンテストを実施し、市内の飲食業界や観光の活性化、納豆の消費拡大、さらには「納豆のまち福島」のブランド化を図った。 ○一般投票 ・投票期間 10月10日～6年1月31日 ・参加店舗数 33店舗（56品） ・投票数 792票 ○審査会 ・開催月日 6年2月23日 ・会場 Fukushima-BASE（本町2-10） ・審査員 6名（市長ほか5名） ・表彰 グランプリ1件、準グランプリ2件、入賞2件、審査員特別賞8件				
	13 産業交流プラザ（シェアオフィス等）管理運営費	19,071	—	—	19,071
	(説 明) シェアオフィス・コワーキングスペース・ミーティングルームを備えたクリエイティブビジネスサロン（コラッセふくしま2階）において、多様な働き方に対応したビジネス環境を提供し、創業者や女性起業家を支援した。 併せて、同1階ふくしま情報ステーション、12階展望ラウンジ及び駐車場の管理運営を行った。 ○クリエイティブビジネスサロン来場者数 10,601人 ○コワーキングスペース利用者数 6,577人				

7款 商 工 費		1項 商 工 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(産業雇用政策課)	14 産学連携推進費	10,585	—	基金繰入金 8,738	1,847
	(説 明) 産学連携を推進するため各種事業に取り組んだほか、ふくしま産学官連携ビジネス交流会を開催し、 ブース展示やプレゼンテーションの場を提供し、新たなビジネス機会の創出を図った。 ○産業支援コーディネーターによる産業振興事業 7,912 ○ふくしま新産業創造推進協議会補助事業 1,200 ○ふくしま産学官連携ビジネス交流会 827 ・参加企業数 88企業・団体 ○そ の 他 647				
	15 医産連携推進費 (復興事業費)	11,815	—	基金繰入金 11,815	—
	(説 明) 今後成長が期待される医療福祉機器等の分野において、研究開発を行う企業へ補助金を交付した。 ○医療福祉機器等産業創出支援事業 ・補 助 件 数 4件				
(にぎわい商業課) 【商工業振興課】	16 街なか空き店舗入居者家賃 補助事業費 (新型コロナウイルス関連)	72,264	県 11,069	—	61,195
	(説 明) 商店会等が実施する街なかの空き店舗を活用した魅力向上を図る事業に対する支援を行い、空き店舗 解消と商店街の賑わい創出を図った。 ○活力ある商店街支援事業（新型コロナウイルス対応市町村連携型） ・補助件数（継続分を含む） 88件（うち県補助該当26件、市独自62件） うち新規分 48件（うち県補助該当 5件、市独自43件）				
	17 街なか再生リノベーション 事業費 (新型コロナウイルス関連)	44,099	—	—	44,099
(説 明) 街なかの再生と賑わい創出を図るため、空き店舗重点対策地域（創業ゾーン）において、空き店舗を 改修するためのリノベーション費用を補助した。 また、クリエイティブ産業に対する補助率を他産業よりも優遇し、街なかへの新規創業を促した。 ○補 助 件 数 27件					

7款 商 工 費		1項 商 工 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(企業振興課) 【企業立地課】	18 「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援事業費 (新型コロナウイルス関連)	1,711	—	—	1,711
	(説 明) 本市でオフィスを開設した企業1社、本社機能を移転した企業1社に対して支援した。 ○賃料支援金 249 ○設備購入費 1,250 ○転入支援助成金 200 ○温泉満喫支援 12				
(にぎわい商業課) 【商工業振興課】	19 街なかテーマパーク事業費 (新型コロナウイルス関連)	9,966	県 7,474	—	2,492
	(説 明) 街なか全体で子どもたちをおもてなしするため、福島駅前通りやまちなか広場等において、ミニ遊園地や体験型アミューズメントを中心とした「街なかテーマパーク」を実施した。 ○街なかテーマパーク2023 ・開催月日 10月28日 ・実施内容 ロードトレイン、エア遊具、ステージイベント、フード&ドリンクコーナー、VR体験コーナー ほか ・会場 福島駅前通り、まちなか広場 ほか ・来場者数 約38,000人				
	20 ポストコロナ対応新規創業者等支援事業費 (新型コロナウイルス関連)	7,058	—	—	7,058
	(説 明) 創業1年未満の事業者等に対してポストコロナに向けたデジタル化等の取り組みを支援した。 ○補助件数 29件				
	21 ポストコロナ対応デジタル化支援事業費 (新型コロナウイルス関連)	19,042	—	—	19,042
	(説 明) 事業者等に対してポストコロナに向けたデジタル化等の取り組みを支援した。 ○補助件数 76件				

7款 商 工 費		1項 商 工 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
	22 福島市デジタルくーぼん事業費 (物価高騰対策関連)	514,292		－	－
	(説 明) 長引く物価高騰に苦しむ市民生活の支援に加え、市内における消費拡大を図り、地域経済の回復につなげるため、福島市デジタルくーぼん及び福島市選択型エールクーポンを発行した。 ○福島市デジタルくーぼん事業 ・利 用 期 間 11月1日～6年2月15日 ・加 盟 店 約1,500店 ・事 務 費 176,222 ・負 担 金 (プレミアム分) 268,449 ○福島市選択型エールクーポン事業 ・利 用 期 間 6年3月8日～ (令和6年度継続) ・加 盟 店 約1,500店 ・事 務 費 69,621				

7款 商 工 費		1項 商 工 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
観 光 費 (観光交流推進室)	1 温泉地活性化推進事業費	15,000	—	基金繰入金 15,000	—
	(説 明) 温泉地施設整備基金(昭和51年3月設置)を活用して、各温泉地の観光協会等に対し補助金を交付し、温泉地の活性化を図った。 ○飯坂 誘客イベント事業(花ももの里、桃祭等)、パンフレット作成ほか 5,000 ○土湯 こけしまつり等イベント宣伝事業、景観整備事業ほか 5,000 ○高湯 夜の魅力アップ事業(高湯温泉ランタン作成)、パンフレット作成ほか 5,000				
	2 エールレガシー事業費	21,991	国	10,817	— 11,174
	(説 明) 朝ドラの舞台となった被災3市(福島市・気仙沼市・久慈市)連携による首都圏での観光物産・移住定住PRや観光周遊促進を図るおかえりプロジェクト事業を実施したほか、連続テレビ小説「エール」で生まれた観光資源を活かして交流人口の拡大を図った。 ○朝ドラ連携おかえりプロジェクト 19,377 ・気仙沼、久慈、福島情報ステーションおかえり館(6年2月25日閉館) 年間来場者: 44,108人 年間売上額: 6,177千円(3市合計24,479千円) ○ロケツーリズム推進会議事業補助金 2,614				
	3 ふくしま花回廊推進事業費	27,853	—	—	27,853
(説 明) 花見山をはじめとした花回廊スポットや飲食店を巡るデジタルラリーの実施により、花回廊スポットの誘客や周遊促進を図った。 また、ふくしま花回廊推進事業補助金により、各花回廊スポットの受け入れ環境整備を図り、魅力向上に取り組んだ。 ○ふくしま花回廊デジタルラリー事業 27,320 ・応募件数 21,800件 ・スタンプ獲得箇所 364カ所 ○ふくしま花回廊推進事業補助金 453 ・補助件数 6件 ○その他 80					

7款 商 工 費		1項 商 工 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
	4 スイーツ・プレミアム事業費	10,345	－	雑入 6,896	3,449
(説 明) 本市農産物を活用した優れたスイーツを「ふくしまスイーツ・プレミアム」としてブランド認証し、プロモーションを展開することで本市農産物の付加価値向上を図った。 ○認証審査会 ・第7弾 認証7商品 (計36商品) ○販売会 ・市内売上 406,543円 ・首都圏売上ほか 1,469,179円 ○We b プロモーション ・動画制作・配信 318,720回再生 ・インスタグラム フォロワー1,378人					
	5 「ふくしまステイ。」プロモーション事業費	12,100	－	雑入 8,066	4,034
(説 明) 本市の自然、アウトドア、アクティビティ、グルメ、歴史、文化などの魅力を楽しむ滞在スタイルを「ちょうどいい旅、ふくしまステイ。」としてブランド化し、首都圏女性をターゲットに誘客及び周遊促進を図った。 ○宿泊プラン造成・販売 ・プラン数 120プラン (33事業者) ・人泊数 13,558人 ・取扱額 130,400千円 ○体験コンテンツ造成・販売 ・プラン数 10プラン (4事業者) ・予約数 77人 ・取扱額 147,440円					
	6 吾妻エリア観光推進事業費	4,578	－	－	4,578
(説 明) 磐梯朝日国立公園に位置する「吾妻連峰」の大自然やあづま山麓エリアに存在する観光資源に焦点をあて、魅力向上と誘客促進を図るため、情報発信ツールの制作及び登山道の整備を実施した。 また、あづま山麓エリアに立地する酒の醸造所を一体的にブランディングし周遊観光を促進するため、情報発信を行った。 ○吾妻連峰登山道刈り払い 500 ○あづま山麓ツーリズム推進事業 1,000 ・あづま山麓エリア パンフレット及びステッカー制作 ○あづま山麓蔵元ツーリズム推進事業 3,078 ・エリアネーミング募集事業 全304件の投票の中から「あづま山麓ふく酒街道」に決定 ・あづま山麓ふく酒街道PR動画制作 ・キックオフイベントの開催 開 催 日：6年3月23日 参加者数：40人					

7款 商 工 費		1項 商 工 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
	7 インバウンド誘客プロモーション事業費	11,379	国 5,488	－	5,891
(説 明) インバウンド需要が高まっていることを受け、台湾に向けて福島の魅力を積極的に発信するため、個人旅行向けのデジタルプロモーションと団体旅行向けのリアルプロモーションを両面から展開し、本市の認知度向上と誘客促進を図った。 ○デジタルプロモーション ・動画制作9本、配信 ・視聴回数 約40万回 ○リアルプロモーション ・日本の観光・物産博（台湾開催） 開 催 日：10月20日～22日 来場者数：計 112,000人 ・セールスコール 訪 問 先：台湾観光庁、日本台湾交流協会台北事務所、現地旅行会社11社 等 訪 問 日：10月19日～20日					
	8 吾妻五葉松PR事業費	2,000	－	－	2,000
(説 明) 吾妻連峰に自生する根上がりが最大の特徴である「吾妻五葉松」は、本市固有の資源であり、吾妻山のありのままの自然の造形を表現する“盆栽”と掛け合わせてPRすることで、あづま山麓エリアの認知度向上とインバウンドを含めた誘客促進を図った。 「吾妻山が教えてくれる盆栽の魅力と、盆栽が伝えてくれる吾妻山の魅力」というテーマで、各種事業を展開した。 ○B O N S A I ジャック ・展示施設 10ヵ所（福島市役所、御倉邸、旧堀切邸、高湯温泉あったか湯、福島駅ほか） ・参加者数 80,376人 ○吾妻五葉松をめぐる山旅 オンラインツアー ・リアルタイム参加者数 48人 ・視聴回数 561回 ○吾妻五葉松をめぐる山旅 リアルツアー ・参加者数 9人 ○クロストーク&特別展示 ・参加者数 21人					

7款 商 工 費		1項 商 工 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入 一 般 財 源
(コンパ ンション推進課) 〔コンベンション 施 設 整 備 課〕	9 コンベンション推進事業費	37,985	国	249	基金繰入金 25,142 12,594
(説 明) (一社) 福島市観光コンベンション協会と連携し、M I C E商談会への出展や大学、研究機関などを訪問し、誘致活動を展開するとともに、市内で開催された学会等に対し、補助金の交付をはじめとする支援を行った。 また、福島駅前交流・集客拠点施設の工事費縮減について、再開発事業者と調整・検討を行うとともに、施設運営事業者の選定準備を進めた。 ○コンベンション誘致事業費 1,085 ○コンベンション支援事業費 3,250 ・コンベンション補助金 12件 ・エキスカ ーション補助金 5件 ○観光コンベンション協会M I C E 補助金 8,382 ○福島駅前交流・集客拠点施設整備事業費(緑越明許費) 25,142 ○福島駅前交流・集客拠点施設整備事業費(事故緑越) 126					
(観光交流推進室)	10 春の花見山おもてなし事業費 (復興事業費)	56,991		－	－ 56,991
(説 明) 春の花見山観光において、臨時駐車場の整備や交通誘導員の配置、仮設トイレ・物産ひろばの設置等により観光客の受け入れ体制を整備し、観光誘客の推進を図った。 ○来 訪 者 数 約77,000人					
(観光交流推進室) (コンパ ンション推進課) 〔観光交流推進室〕 〔コンベンション 施 設 整 備 課〕	11 新型コロナウイルス感染症対策費	46,095		－	－ 46,095
(説 明) 落ち込んだ観光需要の回復や地域経済の活性化を図るため、観光コンテンツの創造等に取り組む事業者に対する補助や、市内施設において対面での会議等の開催費用の一部補助、観光地の魅力アップと周遊促進に取り組む事業者に対する補助等を行った。 ○地域資源を活用した観光コンテンツ創造支援事業費 8,776 ・補助件数 7件 ○ふくしま特産品販売促進事業費 1,041 ○ポストコロナ会議支援事業費 2,954 ・補助件数 83件 ○周遊スポット魅力アップ支援事業費(緑越明許費) 33,324 ・補助件数 12件					

7款 商 工 費		1項 商 工 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入 一 般 財 源
観 光 施 設 費 (観光交流推進室)	1 地域振興施設道の駅費	36,813	—	負担金 7,461	29,352
	(説 明) 福島市地域振興施設道の駅(道の駅ふくしま)における、地域産品や飲食物等の販売、地域情報の発信、 屋内こども遊び場の提供等により、地域産業の振興及び市内回遊の促進を図った。 ○来 場 者 数 約162万人 ○売 上 額 約13億2千万円				
	2 観光施設諸費	9,637	県 1,047	雑入 41	8,549
	(説 明) 遊歩道の草刈りや修繕等を行い、市民や観光客が安全に利用できる環境整備に努めた。 ○遊歩道等点検及び除草整備業務委託等 2,645 ○自然環境整備交付金事業 2,586 ○観光施設整備費等 4,406				
消 費 者 保 護 対 策 費 (生活課)	1 消費者啓発事業費	1,730	—	—	1,730
	(説 明) 複雑多様化する消費生活について、啓発事業を行うとともに、正しい知識や情報を提供し、意識の高 揚を図った。 ○消費者講座(くらしの講座) 5回 162人 ○消費生活学習会 28回 872人 ○ラジオスポット放送 104回 ○福島市民のくらし展2023 開 催 日: 9月2日(隔年開催) 場 所: アクティブシニアセンター・アオウゼ 来場者数: 667人				
	2 消費者被害未然防止対策事 業費	1,805	県 902	—	903
	(説 明) なりすまし詐欺をはじめとする高齢者等の消費者被害の未然防止・拡大防止を図った。 ○悪質電話撃退装置等購入費補助 124台 ○成年年齢引き下げに伴う若年者の消費者被害未然防止の啓発 ○消費者の安全を守る地域協議会との高齢者等への啓発強化等				

8款 土 木 費 1項 土 木 管 理 費 (単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳									
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源						
建 築 指 導 費 (住 宅 政 策 課)	1 木造住宅耐震診断促進事業費	2,858	国 県	1,259 585	－	1,014						
	(説 明) 「福島市耐震改修促進計画」に基づき、昭和56年5月31日以前に建てられた旧耐震基準の木造住宅の耐震化を促進するため、耐震診断を実施した。 ○実 施 件 数 15件											
	2 木造住宅耐震改修・建替助成事業費	5,255	国 県	2,627 1,313	－	1,315						
	(説 明) 「福島市耐震改修促進計画」に基づき、昭和56年5月31日以前に建てられた旧耐震基準の木造住宅の耐震化を促進するため、耐震改修工事を行った者に対し補助金を交付した。 ○補 助 件 数 6件											
(開発建築指導課)			<table><tr><th>区分</th><th>補助額</th></tr><tr><td>一般耐震改修</td><td>工事費の4/5以内（最大100万円）</td></tr><tr><td>簡易・部分耐震改修</td><td>工事費の4/5以内（最大60万円）</td></tr></table>				区分	補助額	一般耐震改修	工事費の4/5以内（最大100万円）	簡易・部分耐震改修	工事費の4/5以内（最大60万円）
	区分	補助額										
	一般耐震改修	工事費の4/5以内（最大100万円）										
	簡易・部分耐震改修	工事費の4/5以内（最大60万円）										
3 ブロック塀等撤去助成事業費	728	国 県	363 178	－	187							
(説 明) 「福島市耐震改修促進計画」に基づき、地震により倒壊のおそれのあるブロック塀等の撤去を行った者に対し補助金を交付した。 ○補 助 件 数 12件												

8款 土 木 費 1項 土 木 管 理 費 (単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	4 建築物アスベスト調査助成事業費	463	国	463	—	—
	(説 明) 吹付けアスベスト等が施工されているおそれのある建築物について、アスベスト含有分析調査を行った者に対し補助金を交付した。 ○補 助 件 数 2件					

8款 土 木 費		2項 道路橋りょう費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 収 入	一 般 財 源
交 通 安 全 施 設 整 備 費 (道路保全課)	1 防災・安全交付金事業費	8,000	国 4,400	債 3,200	400
	(説 明) 生活道路の要対策箇所等において、路側帯のカラー舗装や道路側溝の蓋掛などにより、交通の安全を確保した。 ○生活道路安全対策費 ・飯坂地区（古館・中赤館線） ほか5路線 安全対策工 路側帯カラー舗装 A=252.5㎡ ほか				
(道路保全課) (道路建設課)	2 交通安全施設整備国庫補助事業費	63,457	国 34,901	債 26,000	2,556
(説 明) 通学路の要対策箇所等において、路側帯のカラー舗装や道路側溝の蓋掛、歩道の拡幅などにより、交通の安全を確保した。 ○通学路等安全対策事業費 18,000 ・福島第三小学校通学路（春日町・入江町線） ほか7校11路線 安全対策工 路側帯カラー舗装 A=656.6㎡ 防護柵設置 L=18.0m ほか ○浜田町春日町線（五老内町工区）改良工事費 34,962 ・補完設計、改良工 L=73.4m ○八島町地区周辺道路整備事業費 495 ・補完設計 ○通学路等安全対策事業費（経済対策）（緑越明許費） 10,000 ・清明小学校通学路（中谷地・上町線） ほか2校5路線 安全対策工 路側帯カラー舗装 A=437.6㎡ 道路側溝蓋掛 L=8.4m ほか					

8款 土 木 費		2項 道路橋りょう費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 収 入	一 般 財 源
(道路保全課)	3 交通安全施設整備市単事業費	77,425	—	債 33,500	43,925
	(説 明) 歩道の段差解消や路肩整備、交通安全施設等の設置・修繕を行い、道路交通の安全を確保した。 ○交差点改良事業費 4,345 ・南町・浅川線 右折レーン設置測量設計 ○市単事業費 73,080 ・人にやさしい道づくり 20,735 大蔵・南慶二線 ほか1路線 歩道整備工事、測量設計 L=154.8m ・道路区画線設置 17路線 2,128 南町・浅川線 ほか ・防護柵設置 5カ所 2,600 野地・東吾妻線 ほか ・道路反射鏡設置 4基 860 沢田・照内線 ほか ・交通安全施設整備 4件 1,027 中荒田・荒町線 ほか ・交通安全施設修繕 11件 5,299 中町・御山町線 ほか ・道路区画線修繕 L=9,826.6m 9,098 鳥川・大笹生線 ほか ・冠水警告回転灯設置 1件 5,697 前田・台線 ・道路照明灯、反射鏡、防護柵等修繕 67件 24,821 ・事 務 費 814				
道路維持費 (道路保全課)	1 防災・安全交付金事業費	62,810	国 31,405	債 24,700	6,705
	(説 明) 経年劣化による損傷箇所が断続的に続く市道路線の舗装修繕を、年次計画により効率的に実施し、市道の安全な交通を確保した。 また、予防保全的修繕による修繕コストの縮減のため、道路施設の点検を実施した。 ○舗装修繕事業費 33,129 ・南向台・黒岩線 ほか2路線 道路舗装修繕工 A=3,012.0㎡ ○道路ストック総点検事業費 9,902 ・道路附属施設点検、路面下空洞調査 ○舗装修繕事業費（経済対策） 6,670 ・下染屋・大沢線 道路舗装修繕工 A=751.1㎡ ○舗装修繕事業費（経済対策） 13,110 ・湯野・平野線 ほか1路線 道路舗装修繕工 A=868.0㎡				

8款 土 木 費

2項 道路橋りょう費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入
	2 道路維持費	1,126,112	国	41,233	雑入 債 9 275,500
	(説 明) 市道の安全な通行を確保するため、市が管理する道路施設の維持修繕を行った。				
	○バリアフリー推進事業費				63,429
	・点字シート設置 ほか				
	○道路維持管理費				78,872
	・道路照明灯等電気料 ほか				
	○舗装道維持修繕費				315,842
	・修繕工 A=25,289.6㎡、測量設計、合材等購入				
	○土留側溝維持修繕費				354,615
	・修繕工 L=2,028.1m、側溝清掃 L=10,302.9m、測量設計、側溝蓋等購入				
	○土留側溝冠水対策費				9,900
	・道路側溝修繕(冠水対策)				
	○砂利道維持修繕費				8,569
	・砂利道不陸整正、碎石等購入				
	○道路緑化費				77,251
	・街路樹維持管理業務委託 ほか				
	○除 雪 費				65,613
	・除雪業務委託 ほか				
	○除雪力強化対策費				4,636
	・凍結防止剤散布車賃貸借、貸出し用除雪用具購入				
	○凍結防止剤散布装置設置事業費				5,108
	・設置6台 賃借料				
	○地域除雪活動支援事業費				1,925
	・小型除雪機械購入補助 5団体 6台				
	○除雪基本待機保証費				73
	・除雪委託業者人件費				
	○街灯維持費				98,453
	・修繕料、電気料 ほか				
	○事 務 費 等				3,022
	・会計年度任用職員費 ほか				
	○舗装道維持修繕費(繰越明許費)				17,195
	・修繕工 L=350.0m				
	○土留側溝維持修繕費(繰越明許費)				10,839
	・修繕工 L=35.0m				
	○除雪車運行管理システム導入事業費(経済対策)(繰越明許費)				10,769
	・除雪車運行管理システム業務委託				

8款 土 木 費

2項 道路橋りょう費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入
	3 街路灯・道路照明灯LED 化推進事業費 (復興事業費)	117,791		—	債 105,900
	(説 明) 地球環境の保全と省エネルギー、省資源化推進のため、市道における街路灯及び道路照明灯をLED 灯に移行した。				
	○街路灯LED化推進事業費				53,291
	・街路灯修繕 1,287灯				
	○照明灯LED化推進事業費				64,500
	・道路照明灯修繕 356灯				
道路新設改良費 (道路建設課)	1 社会資本整備総合交付金 事業費	186,405	国	99,451	債 79,600
	(説 明) 安全な道路環境の創出に向け、幹線道路の整備を行った。				
	○北沢又丸子線(3工区)改良工事費				12,983
	・物件調査、物件補償				
	○鳥川大笹生線改良工事費				35,112
	・補完設計、改良工 N=2基(橋台)				
	○鳥川大笹生線(佐倉下工区)改良工事費				5,434
	・測量設計、改良工 L=6m				
	○樺沢線改良工事費				396
	・補完設計				
	○大蔵南慶二線(岡部工区)改良工事費				6,661
	・物件調査、用地買収、物件補償				
	○北谷地長畑線(北谷地工区)改良工事費				4,316
	・物件調査、用地買収、物件補償				
	○南町佐倉下線改良工事費				5,799
	・測量設計				
	○杉妻町御山線(霞町工区)改良工事費				60,000
	・補完設計、改良工 L=190m				
	○鳥川大笹生線改良工事費(経済対策)				494
	・物件調査、物件補償				
	○北谷地長畑線(北谷地工区)改良工事費(繰越明許費)				12,470
	・改良工 L=102.5m				
	○鳥川大笹生線改良工事費(総合経済対策)(繰越明許費)				6,140
	・改良工 H=2基(橋台)				
	○南町佐倉下線改良工事費(総合経済対策)(繰越明許費)				10,000
	・測量設計				
	○杉妻町御山線(霞町工区)改良工事費(総合経済対策)(繰越明許費)				26,600
	・物件調査、物件補償、改良工 L=190m				

8款 土 木 費

2項 道路橋りょう費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(路 政 課)	2 道路整備市単事業費	213,580	県	7,015	債 175,300	31,265
	(説 明) 通行の安全性と利便性の向上を図るため、生活道路の整備を行った。 ○道路改良事業費 ・絵馬平4号線 ほか 47路線 測量設計、用地買収、物件補償、改良工 L=1,612.8m ○みなし道路整備事業費 ・みなし道路用地買収27件、登記10件 ○道路改良事業費(繰越明許費) ・北浦・仲森線 改良工 L=222.1m					179,702
	3 国県道路整備促進費	1,639	—	—	—	1,639
(説 明) 国や県への要望活動や各期成同盟会活動への参画により、西道路(Ⅱ期)をはじめとする国道及び県道の整備を促進した。						

8款 土 木 費

2項 道路橋りょう費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
橋りょう維持費 (道路保全課)	1 橋りょう維持費	92,915	国	23,165	債 20,600	49,150
	(説 明) 「福島市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、市が管理する橋梁の計画的な点検及び維持修繕等を行い、橋梁の安全な通行を確保した。 ○長寿命化推進費 ・南向台・黒岩線(田部屋橋) ほか176橋 橋梁点検 ○維持修繕費 ・長老沢線(大滝橋) ほか26橋 橋梁補修工 ・荒井・あづま公園線(あづま公園橋) 維持修繕 ・鎌田・笹谷線(鎌田大橋) ほか2橋 補修設計、計測調査 ・曾根田・三本木線(三本木橋) ほか1橋 虫害対策 ・事 務 費 ○長寿命化推進費(繰越明許費) ・清水内・宮ノ脇線(清水内橋) ほか41橋 橋梁点検					41,456
						50,406
2 道路メンテナンス事業費		411,333	国	228,780	債 164,400	18,153
(説 明) 老朽化や災害に対応するため、市が管理する橋梁の補強補修等を行い、橋梁の安全な通行を確保した。 ○長寿命化修繕事業費 ・古川線(古川橋) ほか20橋 橋梁補修工、補修設計 ○長寿命化修繕事業費(経済対策) ・松川畑・壇ノ腰線(新栄橋) ほか4橋 橋梁補修工、補修設計 ○長寿命化修繕事業費(繰越明許費) ・矢剣町・鳥谷下町線(天神橋) ほか2橋 橋梁補修工、補修設計						309,073
						7,300
						94,960

8款 土 木 費 3項 河 川 費 (単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
河 川 総 務 費 (河 川 課)	1 阿武隈川サミット事業費	600	—	—	600
	(説 明) 治水・利水、河川環境保全に対する理解促進を図るため、流域自治体の小学生を対象としたイベントとして、「阿武隈川源流探検」及び「舟に乗って学ぶ阿武隈川 i n 丸森」を開催した。				
河 川 維 持 費 (河 川 課)	1 洪水ハザードマップ活用事業費	3,999	国	1,999	— 2,000
	(説 明) 洪水の浸水深標識の設置を行った。 また、浸水想定区域や土砂災害危険箇所、避難所の位置などを記載したハザードマップを作成した。 ○まるとまちごとハザードマップ事業 N=9カ所 ○土砂災害ハザードマップ作成 9地区(飯坂町、松川町、大笹生、桜本、立子山、土湯温泉町、渡利、町庭坂、飯野町)				
	2 河川水路維持修繕等費	50,201	国	527 13,991	— 35,683
	(説 明) 地域住民の安全を確保するため、河川及び排水路等の適切な維持管理を行った。 ○河川水路等維持修繕工事 ○土砂浚渫、除草、清掃等委託				
	3 河川災害対策事業費	3,412	—	—	3,412
	(説 明) 浸水被害常襲箇所下流の排水樋管に設置している簡易型河川監視カメラにより、河川の監視を行った。 ○祓川外簡易型監視カメラ 5台(リース)				

8款 土 木 費 3項 河 川 費 (単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
	4 河川災害緊急対策事業費	48,432	—	債	42,900 5,532
	(説 明) 洪水・浸水被害を未然に防ぐため、緊急浚渫推進事業を活用し、土砂浚渫等を行った。 また、小規模水路の土砂浚渫や維持管理を行った。 ○河川氾濫防止対策事業費 ○河川土砂浚渫事業費 ・山田川 ほか6カ所 ○河川土砂浚渫事業費(繰越明許費) ・胡桃川 ほか19カ所				
河 川 改 良 費 (河 川 課)	1 河川整備市単事業費	4,689	—	雑入	12 4,677
	(説 明) 水害の未然防止のため、排水路の整備を行った。 ○稻荷森排水路 1箇所 L=36.3m				
	2 河川災害緊急対策事業費	357,145	—	債	357,100 45
	(説 明) 大雨による浸水被害を軽減するため、緊急自然災害防止対策事業を活用し、市管理河川の改修を行った。 ○河川強化事業費 ・小舟入川 ほか18箇所 L=1,239.3m ○河川強化事業費(繰越明許費) ・渋川 ほか3箇所 L=904m				

8款 土 木 費 4項 都 市 計 画 費 (単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
都市計画総務費 (都市計画課)	1 都市計画道路計画推進費	794		－	－	794
	(説 明) 長期未着手の都市計画道路において、見直し対象21路線のうち3路線を廃止した。 ○廃止した路線 ・須川町野田町線 L=0.98km ・国道114号線 L=2.07km ・山下町旭町線 L=0.44km					
(開発建築指導課)	2 盛土規制法関連事業費	3,286	国	1,543	－	1,743
	(説 明) 盛土による災害防止のため、盛土規制法による規制区域の指定に必要な調査を福島県と共同で実施した。					
交通対策費 (交通政策課)	1 鉄道・バス等公共交通施設整備促進費	114,450		－	雑入 75 債 102,700	11,675
	(説 明) 公共交通機関の利便性及び安全性の向上を図るため、阿武隈急行線の車両及び保安施設等の更新に対する国・宮城県・福島県・沿線市町との協調補助と、福島交通飯坂線の保安施設等の更新に対する国・県との協調補助を行った。 また、第4種踏切における安全確保を促進するため、注意看板、ミラーの設置補助を行った。 ○阿武隈急行緊急保安整備事業費等補助金 101,878 ○鉄道軌道輸送対策事業費補助金 4,980 ○鉄道利用促進事業費補助金 75 ○第4種踏切道対策事業費補助金 1,227 ○事 務 費 64 ○阿武隈急行緊急保安整備事業費等補助金（緑越明許費） 945 ○鉄道軌道輸送対策事業費補助金（緑越明許費） 5,281					

8款 土 木 費 4項 都 市 計 画 費 (単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
	2 バス路線運行維持対策費	151,369	県	1,492	－	149,877
	(説 明) 市民生活の交通手段を確保するため、生活路線バス等の運行に対して補助金を交付した。 ○生活路線バス等運行対策補助金及び委託バス等交通対策補助金 ○松川下川崎乗合タクシー運行業務委託 ○事 務 費					147,754 3,597 18
	3 中心市街地活性化交通支援 事業費	11,770		－	－	11,770
	(説 明) 市街地の回遊性を高めることで中心市街地の活性化を推進するため、市内循環ももりんバスの運行に 対して補助金を交付した。					
	4 路線バス等高齢者利用促進 事業費	163,537		－	雑入 325	163,212
	(説 明) 公共交通利用と高齢者の積極的な社会参加を促進するため、75歳以上の市民と広域避難者が無料で市 内路線バス及び福島交通飯坂線を利用できる乗車証を交付した。 ○高齢者無料乗車証「ももりんシルバーパスポート」 ・発 行 枚 数 5,000枚 (市民分4,890枚／広域避難者分110枚)					

8款 土 木 費

4項 都 市 計 画 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	5 地域で支える交通推進事業費	46	—	—	—	46
	(説 明) 公共交通不便地域等における移動困難者の日常生活の移動手段を確保するため、地域主体で計画し運行した事業に対して補助金を交付した。 ○補助件数 1件(立子山地区)					
	6 古閑裕而を活かしたまちづくり事業費	14,959	—	—	—	14,959
	(説 明) 福島駅と古閑裕而記念館を結ぶ周遊ルートにより「移動音楽館」をコンセプトとした古閑裕而メロディーバスを運行した。					
	7 E Vバス架装整備支援事業費	3,750	—	—	—	3,750
	(説 明) バス事業者が導入する本市初のE Vバスに対して、架装整備にかかる経費の一部を補助した。					

8款 土 木 費

4項 都 市 計 画 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	8 ユニバーサルデザインのまちづくり推進事業費	1,925	—	—	—	1,925
	(説 明) 福島市バリアフリー基本構想のその他の特定事業として、ユニバーサルの視点を取り入れた分かりやすいサインガイドラインの作成業務を実施した。					
	9 自転車利用促進事業費	61,395	—	—	雑入 8	61,387
	(説 明) 自転車の利用環境整備と利用促進を図るため、自転車駐車場の確保及び維持管理を行うとともに、放置禁止区域での指導及び長期放置自転車の撤去等を実施した。					
	10 地域公共交通支援事業費 (新型コロナウイルス関連)	166,810	—	—	—	166,810
	(説 明) 市民生活を維持するため、新型コロナウイルス感染症対策として乗客の密集を回避する平常の定時定路線運行を行った路線バス事業者に対し、運行経費の一部を支援した。					

8款 土 木 費		4項 都 市 計 画 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 記		
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
	11 シェアサイクル管理運営事業費 (新型コロナウイルス関連)	26,607	国 8,053	雑入 3,610	14,944
	(説 明) ポストコロナにおける中心市街地の回遊性向上や地域観光の活性化を図るため、ＩｏＴ（スマートフォン）を活用した非接触型の自転車貸出サービスを実施した。 ○貸出ポート 18ヵ所（※3～4月は期間限定で、花見山へ臨時ポート設定 計19ヵ所） ○自転車台数 70台（7月28日より20台増台、全70台へ） ○利 用 回 数 25,261回				
街 路 事 業 費 (道路建設課)	1 社会資本整備総合交付金事業費	274,477	国 144,343	債 122,700	7,434
	(説 明) 市街地における安全で円滑な交通を確保するため、幹線道路の整備を行った。 ○太平寺岡部線（御山町工区）改良工事費 26,036 ・補完設計、用地買収、物件補償、改良工 L=110m ○曾根田町桜木町線（宮下町工区）改良工事費 60,147 ・用地買収、物件補償、改良工 L=100m ○杉妻町早稲町線改良工事費 14,068 ・用地買収、物件補償 ○曾根田町桜木町線（宮下町工区）改良工事費（緑越明許費） 53,775 ・用地買収、物件補償、改良工 L=100m ○太平寺岡部線（御山町工区）改良工事費（総合経済対策）（緑越明許費） 106,350 ・改良工 L=151.7m ○曾根田町桜木町線（宮下町工区）改良工事費（総合経済対策）（緑越明許費） 14,100 ・改良工 L=50m				
公 園 費 (公園緑地課)	1 公園遊具安全安心整備事業費	4,997	—	—	4,997
	(説 明) 地域の憩いの場所を創出するとともに、安全で安心して利用できる公園づくりを推進するため、老朽化により緊急整備を要する児童遊び場等の公園遊具の修繕等を行った。 ○あらかわみのり公園 ほか 5公園 遊具塗装 ○あらかわみのり公園 ほか 5公園 安全シール貼付 ○北沢又樋越児童遊び場 ほか 3公園 遊具撤去工事 ○丸子南下川原公園 遊具更新 ○渡利七社宮児童遊園 修繕工事 ○高館児童遊び場 遊具更新				

8款 土 木 費

4項 都 市 計 画 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
	2 社会資本整備総合交付金事業費	70,000	国 35,000	債 33,000	2,000
	(説 明) 「福島市公園施設長寿命化計画」に基づく都市公園内の子育て環境の向上と安全安心な公園施設の充実を図るため、老朽化した公園施設を更新した。 ○弁天山公園 更新工事 四阿 1基 ○蓬萊中央公園 更新工事 園路 ○橋本公園 更新工事 遊具 3基 ○原蔭公園 更新工事 遊具 2基 ○南田公園 更新工事 遊具 2基 ○堰田公園 更新工事 遊具 3基 ○館ノ山公園 更新工事 四阿 1基 ○桜台第2公園 更新工事 遊具 1基				
緑 化 推 進 費 (公園緑地課)	1 都市緑化推進事業費	6,659	—	—	6,659
	(説 明) 緑のまちづくりに対する市民の関心を高めるとともに、花のまちづくりを推進するため、都市緑化キャンペーン等を実施した。 ○都市緑化普及費 3,677 ・都市緑化推進関連事業 ・緑化木害虫防除協議会助成金 ○ふくしま花のまちづくり事業費 2,983 ・花観光スポット整備事業 (福島駅前通りへのフラワーバスケット設置) ・市民共創による花のまちづくり運動				
都 市 再 開 発 事 業 費 (市街地整備課)	1 社会資本整備総合交付金事業費	4,399,000	国 2,533,000 県 933,000	基金繰入金 93,300 債 839,700	—
	(説 明) 社会資本整備総合交付金事業を活用し、民間事業者への支援を行い、福島駅東口地区市街地再開発における既存建物解体工事等を推進した。 ○福島駅東口地区市街地再開発緊急支援対策費 667,000 ○福島駅東口地区市街地再開発事業費(緑越明許費) 3,732,000				

8款 土 木 費		5項 住 宅 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 収 入	一 般 財 源
住 宅 総 務 費 (住 宅 政 策 課)	1 ふくしま☆スタイル住宅リノベーション事業費	15,886	国 7,128	債 8,700	58
	(説 明) 御山町団地の1室を新婚・子育て世帯が住みたいと感じる住宅にリノベーションし、既存市営住宅のイメージアップ、入居率向上及びコミュニティミックスの推進を図った。				
	2 空家等対策事業費	19,797	国 4,399	－	15,398
	(説 明) 「第2期福島市空家等対策計画」に基づき、空き家の発生を抑制するため、連携協定団体との合同相談会を開催した。 また、状態の悪い空き家の解消や流通及び利活用を促進するため、空き家バンクの運用に加え、特定空家等の除却を行った所有者及び空き家のリフォームや清掃を行った所有者等に補助金を交付した。				
		区分	対象者	補助額	補助件数
		特定空家等除却	特定空家等の所有者	工事費の4/5 (最大200万円)	5件
		リフォーム	空き家バンク物件購入者 (移住者、新婚・子育て世帯)	工事費の1/2 (最大150万円)	3件
		清掃	空き家バンク物件所有者	工事費の1/2 (最大10万円)	2件

8款 土 木 費		5項 住 宅 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 収 入	一 般 財 源
市営住宅管理費 (住宅政策課)	1 市営団地移転支援事業費	21,998	国 984	－	21,014
	(説 明) 耐震性が不足し、設備の老朽化も進み住宅としての機能が低下している市営住宅の用途廃止に向け、入居26世帯の移転を支援した。 ○蓬萊第三団地19号棟 20世帯 ○下釜団地（繰越明許費） 6世帯				
	2 ストック総合改善事業費	318,837	国 171,439	債 147,300	98
	(説 明) 市営住宅ストックの長寿命化、安全性向上、居住性向上を図るため、改修工事等を行った。 ○川前第二団地屋上防水改修工事 6,897 ○川前第二団地排水管改修工事 2,596 ○蓬萊第四団地給水方式変更工事 64,635 ○笹谷団地下水道接続等工事 92,843 ○市営住宅高齢者対応改修工事 5,112 ○所窪団地外壁改修等工事 67,981 ○由添団地給水方式変更設計業務委託 3,843 ○大下団地下水道接続設計業務委託 1,320 ○入江町団地外壁改修等工事（繰越明許費） 73,609				

(単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
常備消防費 (消防本部)	1 救急救命士養成研修費	5,356	県	952	—	4,404
	(説明) 10隊の救急隊全てを救急救命士運用隊として安定稼働するため、救急救命士を養成した。 ○養成者数 2人					
消防施設費 (消防本部)	1 高規格救急自動車整備費	37,940	—	債	28,800	9,140
	(説明) 消防署の高規格救急自動車を更新し、救急業務の充実を図った。 ○高規格救急自動車 1台					
	2 消火栓設置事業費	19,403	—	債	16,800	2,603
	(説明) 水道配水管の拡張及び布設替等に併せて消火栓を設置し、消防水利の確保を図った。 ○新設 5基 8,829 ○設置替 7基 10,412 ○撤去 2基 162					
	3 消防本部・福島消防署整備事業費	101,703	—	債	24,300	77,403
(説明) 消防本部・福島消防署を移転整備するため、庁舎の基本設計と建設予定地の測量・地質調査等を行った。						

(単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳		
			国 支 出	県 金	その他の収入 一般財源
	4 非常備消防自動車等整備費	9,854	—	債 6,600	3,254
	(説明) 消防団車両等を更新し、地域防災力の充実強化を図った。 ○小型動力ポンプ積載車 1台 7,832 ○小型動力ポンプ (B3級) 1台 2,022				
災害対策費 (危機管理室)	1 ペット同伴避難所開設運営費	184	—	—	184
	(説明) 飼い主とペットが同じスペースで過ごすことができる「ペット同伴避難所」の開設に必要な物品等を整備した。				
	2 防災意識醸成・危機対応力向上事業費	639	—	—	639
	(説明) 様々な世代が気軽に楽しみながら防災を学ぶ「ぼうさい体験パッケージ」を、学校や企業、地域において実施した。 また、新たに設立した「ふくしま防災推進ネットワーク」のメンバーを対象に、チャレンジ体験メニューの充実と見直しを目的とした実技研修会を開催した。 ○ぼうさい体験パッケージ 170 ・小中学校延べ9校、企業5社、地域6団体 ○チャレンジ体験メニュー研修会 469				
	3 ふくしま防災フェア事業費	985	—	—	985
	(説明) 災害協定締結企業と連携し、まちなかで災害を疑似体験できる「ふくしま防災体験フェア」を開催し、気軽に防災に触れる機会の創出と防災意識の醸成を図った。				

9款 消 防 費					
1項 消 防 費					
(単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
	4 地域防災力強化事業費	4,512	県 2,082	－	2,430
	(説 明) 自分たちの地域は自分たちで守るという共助の仕組みづくりに向け、市民自らが取り組む「地区防災マップ」及び「地区防災計画」の作成を支援した。 ○作成地区 ・地区防災マップ 清明学区、小倉寺地区、瀬上地区、湯野地区、土船地区 ・地区防災計画 清明学区、渡利地区、吉井田地区、上鳥渡地区				
	5 防災備蓄倉庫整備事業費	40,327	国 19,346	－	20,981
	(説 明) 災害発生時の迅速かつ的確な避難を確保するため、入江町防災広場内に防災備蓄倉庫等を整備した。 ○防災備蓄倉庫建築等工事 38,692 ・鉄骨造 平屋建 151.75㎡ ○備品等購入 1,635				
	6 総合防災情報システム改修事業費 (総合経済対策)	43,252	国 21,626	－	21,626
	(説 明) 災害発生時の避難発令判断をより迅速に行うため、新たに河川水位予測システムと市独自の雨量計を設置し、災害対策オペレーションシステムとデータ連携することで、さらなる災害対策の強化を図った。 ○河川水位予測システムの導入 4河川（濁川、八反田川、大森川、水原川） ○市独自雨量計の設置 3カ所				

10款 教 育 費					
1項 教 育 総 務 費					
(単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
事務局費 (教育研修課)	1 特別支援教育推進事業費	155,513	－	雑入 794	154,719
(学校教育課)	(説 明) 市立小・中学校及び特別支援学校に在籍する障がいのある児童生徒に対し、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導を行うため特別支援教育指導員を委嘱し、各学校の指導・助言等を実施した。 また、特に人的支援を要する市立小・中学校及び特別支援学校に特別支援教育協力員・支援員を配置し、特別支援教育を推進した。 ○協 力 員 数 47人 ○支 援 員 数 41人 ○配 置 校 46校				
	2 幼・保・小・中学校連接推進事業費	670	－	－	670
	(説 明) 幼稚園、保育所、認定こども園、小学校、中学校の学びのつながりを重視した学習を推進した。 中学校区における各校・園等及び保護者との共通理解による「家庭学習の手引き」等の自校化と実践を進めることにより、自らの学びをマネジメントする力を育成するため、幼・保・小・中学校の担当者が家庭学習の状況等について情報交換を行った。 また、発達段階に応じた家庭学習の内容や方法について検討を行った。 ○幼・保・小・中学校の教員・保育士の情報交換等の会議 74回 ○保育・授業参観等による教職員の保育・授業研究 98回 ○異年齢の子ども同士の交流 323回 ○保護者や地域との交流 94回				
	3 学力向上サポート事業費	10,556	－	－	10,556
	(説 明) 中学校に学習支援員を配置し、授業において個に応じたきめ細かな指導を行うとともに、昼休み時間等を活用し、手厚い学習支援を行った。 また、学校訪問を行わない学校を指導主事が訪問し、授業参観及び指導助言を行うことにより、担当教員の授業力の向上及び生徒の学力の向上を図った。 ○学習支援員数 12人				

10款 教 育 費		1項 教 育 総 務 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(教 育 研 修 課)	4 ふくしま・ふれあい・夢ぱ らん事業費	4,235	—	—	—	4,235
	(説 明) 各校において、学校と地域が一体となり、体験的・探究的な学習を展開し、そこに関わる「ひと・もの・こと」と触れ合いながら、自ら学び、考え、判断する活動を計画・実践した。 ○テーマ ・福島市の環境 ・福島市の伝統・文化 ・福島市の福祉・健康 ・福島市の国際理解 ・福島市の人々の暮らし ・福島市のものでづくり ・福島市のキャリア教育 ・福島市の食育 ・福島市の安全教育 ○実施校 43校					
	5 中学生ドリームアップ事業 費	6,986	—	—	—	6,986
	(説 明) 中学2年生対象の職場体験を、3年ぶりに最大3日間の日程で実施した。中学1年生で職場体験に向けての事前指導、中学3年生で実際の進路を考えるための講師招聘等を行い、3年間の系統的な取り組みを実施した。 ○実施校 19校					
(教 育 研 修 課)	6 I C T教育フューチャービ ジョン推進事業費	396,233	—	雑入	11	396,222
	(説 明) 福島型オンライン授業を実施するため、学校 I C T環境の保守及び運用並びに市立小・中学校及び特別支援学校への I C T支援員の派遣を行った。					

10款 教 育 費		1項 教 育 総 務 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(教 育 総 務 課)	7 福島型個性をのばす教育推進事業費	3,586		—	基金繰入金 1,605	1,981
(学 校 教 育 課) (教育施設管理課)	(説 明) 可能性に挑戦する子どもを育成するため、本市ゆかりの著名人や地元企業と連携してスポーツや芸術などで特色ある教育を実施した。 ○小学生編 ・「地域連携教室 ふくしまっこアカデミー 夢・希望・未来」 航空宇宙をテーマとして、地元企業等を講師に実施 4回、延べ61人参加 ○中学校部活動編 ・「プライム サッカー教室」 福島ユナイテッド F Cをコーチに実施 2校、延べ64回 ・「プレミア 美術教室」 日本画家の齋正機氏を講師に実施 5回 ・「プラチナ I C T教室」 ㈱エフコムを特別顧問に実施 1校、5回					
	8 公立夜間中学開設費	45,449	国 県	1,759 2,000	債 26,400	15,290
	(説 明) 6年4月の開校に向けた校舎改修、教育課程編成等を行い、習熟度別学習や多様なニーズに応じた学び直しの教育の提供を可能とするための教育環境を整備した。					
(教 育 研 修 課)	9 校務情報ネットワークシステム運用費	248,504		—	—	248,504
(説 明) 「統合型校務支援システム」を安定運用し、児童生徒情報を一元管理するとともに、校務事務の効率化を図った。						

10款 教 育 費		1項 教 育 総 務 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(学 校 教 育 課)	10 学校図書館 I C T 化事業費 (総合経済対策)	121,936	国	60,968	－	60,968
	(説 明) 学校図書館を電算化し、学校間及び市立図書館を連携させるシステムを整備した。 これにより、タブレットを活用した自校図書館の蔵書検索や、システム端末を利用した蔵書管理、貸 出機能の活用が可能となった。 ○運用開始日 6年3月1日 ○貸 出 状 況 15,050冊					
	11 子どもハートサポート事業 費	5,175		－	－	5,175
(教 育 研 修 課)	(説 明) 児童の心のケアをはじめ、不登校やいじめ、問題行動等の未然防止、早期発見及び即時対応を図るた め、県のスクールカウンセラー等派遣事業におけるスクールカウンセラー未配置の小学校に相談員を配 置し、個に応じた教育相談を実施した。 ○相 談 員 数 6人 ○配 置 校 21校					

10款 教 育 費		1項 教 育 総 務 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	12 総合教育センター費	158,162	国	2,241	雑入 16	155,905
	(説 明) 教職員研修、教育に関する専門的な調査研究を実施するとともに、教育相談、適応指導教室、特別支 援教育及び就学指導等の推進を図った。 ○職 能 研 修 12講座 計17回 881人 ○専 門 研 修 18講座 計22回 896人 ○特 別 研 修 1研修 1講座 延べ 67人 ○その他の研修 (自主研修セミナー 計7回 延べ57人、スクールアシスタント派遣6校 12回、 土曜自主研修3団体 88人) ○調査・研究事業 (読解力の向上に関する調査研究) ○教 育 相 談 (来所相談延べ898回、電話相談延べ3,664回、訪問相談延べ521回) ○適応指導教室 (対象児童生徒1組2人、2組47人、120日) ○早期教育相談 150人 ○定例教育相談 計74組 延べ296人 ○防災・放射線教育 1授業研究会 1回 36人					
	13 心のケア推進事業費 (復興事業費)	17,400	県	17,398	雑入 2	－
	(説 明) スクールカウンセラー3人を配置し、東日本大震災及び原子力災害を受け、様々なストレスを抱えて いる児童生徒、保護者及び教職員の心のケアを行った。					
	14 スクールソーシャルワ ーカー派遣事業費 (復興事業費)	8,729	県	5,527	－	3,202
	(説 明) スクールソーシャルワーカー3人を配置し、東日本大震災により被災した児童生徒及び保護者の心の ケア並びに家庭支援を行った。					

10款 教 育 費		1項 教 育 総 務 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(学 校 教 育 課)	15 オンライン家庭学習支援 事業費 (新型コロナウイルス関連)	102		-	-	102
	(説 明) 家庭内のインターネット環境が整備されていない世帯に対し、インターネットを契約する際に生じる 初期費用 (初期工事費、契約料) を支援した。 ○支給決定者 8人					
	16 健康観察アプリ導入費 (新型コロナウイルス関連)	1,983		-	-	1,983
(教 育 研 修 課)	(説 明) 児童生徒の体温や体調の履歴を管理できるアプリケーションを市立小・中学校及び特別支援学校へ導 入し、速やかに感染症対策に繋げられる体制を整えた。					

10款 教 育 費		2項 小 学 校 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
学 校 管 理 費 (学 校 教 育 課)	1 学校図書館図書整備費	10,108		－	－	10,108
	(説 明) 児童の読書意欲の向上に向け、図書充足率100%を維持しながら、各校の実情に応じた図書の更新を計画的に実施した。 ○購 入 冊 数 5,605冊					
学 校 建 設 費 (教育施設管理課)	1 瀬上小学校屋内運動場改築事業費	42,090	国	10,413	基金繰入金 1,625 債 17,700	12,352
	(説 明) 耐震補強が困難な屋内運動場の改築工事に伴い、既存屋内運動場解体工事等を行った。 ○遊具等設置工事 ○既存屋内運動場解体工事 ○図工室電気設備工事 ○電柱移転工事補償金					10,890 27,775 2,520 905
	2 余目小学校屋内運動場改築事業費	314,984	国	77,583	基金繰入金 4,779 債 123,200	109,422
	(説 明) 耐震補強が困難な屋内運動場の改築工事に伴い、既存屋内運動場解体工事等を行った。 ○余目小学校屋内運動場改築工事 (4～5年度継続事業)					255,020
	年 度	事 業 費	左 の 財 源 内 訳			
		特 定 財 源			一 般 財 源	
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他		
4	89,500	36,269	44,500	－	8,731	
5	255,020	58,998	104,400	－	91,622	
計	344,520	95,267	148,900	－	100,353	
○渡り廊下設置工事					4,760	
○既存屋内運動場等解体工事					55,204	

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
3	学校施設リフレッシュ事業費	235,393	国	23,034	基金繰入金 34,079 債 165,500	12,780
	(説 明)					
	屋上防水及び外壁改修を実施し、クラック補修・外壁塗装によるコンクリート躯体の劣化防止を図った。					
	○杉妻小学校南校舎外壁等改修工事 51,080					
	年 度	事業費	左 の 財 源 内 訳			
			特 定 財 源			一 般 財 源
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	
	5	51,080	—	38,300	—	12,780
	6	156,920	—	119,300	—	37,620
	計	208,000	—	157,600	—	50,400
○アスベスト含有分析調査業務委託（杉妻小、清水小、平野小） 924						
○清水小学校南校舎等外壁改修工事 114,969						
○平野小学校管理棟外壁等改修工事 68,420						
4	施設改修事業費	71,396	—	債	16,200	55,196
(説 明)						
児童の学習環境改善のため施設改修等の事業を行った。						
○福島第三小学校ほか5校バリアフリートイレ改修工事設計業務委託 5,555						
○特別教室プレハブ賃貸借 3,556						
○庭坂小学校プール循環ろ過装置改修工事 15,400						
○大森小学校ほか1校自動火災報知設備・非常放送設備改修工事 6,325						
○トイレ出入口改修工事 28,613						
○上記以外の施設改修工事 14件 11,947						

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
学 校 管 理 費 (学校教育課)	1 学校図書館図書整備費	5,885		－	－	5,885
	(説 明) 生徒の読書意欲の向上に向け、図書充足率100%を維持しながら、各校の実情に応じた図書の更新を計画的に実施した。 ○購入冊数 3,534冊					
学 校 建 設 費 (教育施設管理課)	1 西信中学校屋内運動場改築事業費	67,071	国	11,841	基金繰入金 7,771 債 27,500	19,959
	(説 明) 耐震補強が困難な屋内運動場の改築工事に伴い、既存屋内運動場解体工事等を行った。 ○西信中学校屋内運動場解体工事（4～5年度継続事業）					
	36,300					
	年 度	事業費	左 の 財 源 内 訳			
			特 定 財 源			一 般 財 源
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他		
4	－	－	－	－	－	
5	36,300	11,841	4,500	－	19,959	
計	36,300	11,841	4,500	－	19,959	
○渡り廊下設置等工事						
30,771						

10款 教 育 費 3項 中 学 校 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	2 渡利中学校屋内運動場改築事業費	398,707	国 92,069	基金繰入金 11,864 債 156,600	138,174
	(説 明) 耐震補強が困難な屋内運動場の改築工事に伴い、既存屋内運動場解体工事等を行った。 ○渡利中学校屋内運動場改築工事 (4～5年度継続事業) 326,107				
	年 度	事 業 費	左 の 財 源 内 訳		
			特 定 財 源		
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 一 般 財 源
	4	119,800	42,408	54,300	－ 23,092
	5	326,107	78,333	109,600	－ 138,174
	計	445,907	120,741	163,900	－ 161,266
	○既存屋内運動場解体等工事 72,600				
	3 施設改修事業費	62,070	－	債 36,800	25,270
	(説 明) 生徒の学習環境改善のため施設改修等の事業を行った。 ○地下オイルタンク廃止業務委託 1,633 ○特別教室プレハブ賃貸借 1,259 ○大鳥中学校プール改修工事 25,155 ○福島第四中学校屋内消火栓配管改修工事 24,090 ○上記以外の施設改修工事 14件 9,933				

10款 教 育 費 3項 中 学 校 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	4 松陵中学校校舎等改築事業費	1,202,370	国 557,139	債 512,500	132,731
	(説 明) 松川地区に本市初の義務教育学校を整備するため、松陵中学校の校舎等改築工事を行った。 ○松陵中学校 (松川地区義務教育学校) 改築工事 (4～6年度継続事業) 1,181,580				
	年 度	事 業 費	左 の 財 源 内 訳		
			特 定 財 源		
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 一 般 財 源
	4	－	－	－	－
	5	1,181,580	557,139	497,000	－ 127,441
	6	1,355,280	259,888	914,900	－ 180,492
	計	2,536,860	817,027	1,411,900	－ 307,933
	○造作家具設置工事 20,790				

10款 教 育 費

4項 特別支援学校費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
学 校 建 設 費 (教育施設管理課)	1 ふくしま支援学校校舎等改築事業費	830,301	国 83,273	基金繰入金 47,491 債 159,500	540,037
	(説 明) ふくしま支援学校の教育環境の整備と特別支援教育の充実を図るため、校舎等改築事業の2期工事として管理棟・屋内運動場の改築工事を行った。 ○福島養護学校管理棟等改築工事（2～5年度継続事業） 602,720				
	年 度	事 業 費	左 の 財 源 内 訳		
			特 定 財 源		
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
	2	－	－	－	－
	3	50,240	20,779	28,700	761
	4	306,493	114,121	150,800	41,572
	5	602,720	65,367	75,300	462,053
	計	959,453	200,267	254,800	504,386
	○道路用地登記業務委託ほか1件 1,247				
	○屋外倉庫建築工事 14,080				
	○家具・サイン設置工事 20,680				
	○外構工事 141,964				
	○既存管理棟・屋内運動場解体工事 45,885				
	○上記以外の関連工事 2件 2,288				
	○電柱移転工事補償金 1,436				

10款 教 育 費

5項 幼 稚 園 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
幼 稚 園 費 (幼稚園・保育課)	1 未就園児の定期的な預かりモデル事業費	1,707	国 1,536	－	171
	(説 明) 保育所等を利用していない未就園児を、市立幼稚園で定期的に預かり、対象児童を養育する保護者に対して面談を実施し、子育ての助言等を行い保護者の負担軽減を図った。 ○利 用 件 数 延べ201件				
	2 特色ある幼児教育・保育推進事業費	6,566	－	－	6,566
	(説 明) 子どもたちの豊かな創造性や感性を育むため、個性豊かで特色ある幼児教育・保育プロジェクトを実施する私立幼稚園、認可保育施設に対して補助金を交付した。 また、プロジェクトを市内外に広くPRするため、SNSを利用してPR動画を広告配信するとともに、市内の子育て世帯へ配布するための広報誌を作成した。 ○補 助 件 数 12件 ○動画視聴回数 204,079回 ○広報誌作成 3,000部				
	3 私立幼稚園教育振興補助金	34,840	－	－	34,840
	(説 明) 私立幼稚園に対して補助金を交付し、円滑な事業運営を支援するとともに、保護者負担軽減、障がい児を受け入れるための環境整備や教職員の指導力向上のための研修会へ支援を行い、私学教育の振興を図った。 ○運営費補助金 34,550 ○障がい児受入設備費等補助金 100 ○教職員研修事業補助金 190				
	4 幼稚園利用者実費負担軽減事業費補助金	5,385	国 1,795 県 1,795	－	1,795
	(説 明) 「幼児教育・保育の無償化」の対象とならない、保護者が実費負担する給食費のうち、副食材料費について、私立幼稚園を利用する年収360万円未満相当世帯又は第3子以降の子どもの保護者に対し補助金を交付した。 ※認可保育施設を利用する同要件の子どもの保護者については、副食材料費の負担を免除。				

10款 教 育 費 5項 幼 稚 園 費 (単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
	5 新型コロナウイルス感染症対策費	1,407	県	187	－
	(説 明) 市立幼稚園において、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、衛生用消耗品の購入や新しい生活様式に対応した保育業務支援システムの運用管理を行った。 ○市立幼稚園総務運営費 ○市立幼稚園 I C T 推進事業費				
					376 1,031

10款 教 育 費 6項 社 会 教 育 費 (単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
社会教育総務費 (生涯学習課)	1 三河台学習センター整備事業費	87,309	－	債	45,300
	(説 明) 地域の社会教育・生涯学習を推進するため、4月に新館供用が始まった三河台学習センターの旧館を解体し、外構工事に着手した。 ○旧館解体工事 ○外構工事 ○その他				
					56,497 29,870 942
	2 飯野学習センター整備事業費	32,665	－	－	32,665
社会教育振興費 (生涯学習課)	(説 明) 地域の社会教育・生涯学習を推進するため、飯野支所と複合化し、5月に新館供用が始まった飯野学習センターの備品購入、旧館からの引越し等を実施した。 ○備品購入等（繰越明許費） ○その他				
					31,202 1,463
社会教育振興費 (生涯学習課)	1 成人教育振興事業費	1,437	－	－	1,437
	(説 明) ○ I C T 活用推進事業（ I C T 活用セミナー） デジタルデバイド（情報格差）の解消に努めるとともに、高度情報化社会に対応できる成人を育成するため、 I C T の知識と技能を身につける機会を提供した。 ・参加者数 446人 ・学習回数 61回 ○ふるさと学びカレッジ 現役卒業世代を対象に、地域の歴史・文化に触れ、ふるさとの魅力や良さの再発見へつなげるとともに、社会で身につけた知識・経験・技能等を地域で活用し、学んだ成果を活かす機会を提供した。 ・開設数 22講座 ・学習回数 89回 ・参加者数 1,240人 ○社会教育関係団体事業補助 成人教育の振興を図るため、社会教育関係団体の事業費の一部に補助金を交付した。 ・団体数 2団体				

10款 教 育 費

6項 社 会 教 育 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	2 家庭教育学級開設費	2,270	—	—	—	2,270
	(説 明) 家庭と地域の連携の充実を図り、学びの面から子育てを支援するため、子どもの発達段階に応じて必要な知識の習得や子育てに関する不安・悩みの解消等につながる事業を実施するほか、父親参加型講座や幼稚園等と連携した講座を開催した。 ○開 設 数 38事業 ○参 加 者 数 5,326人 ○学 習 回 数 287回(講座も含む)					
生涯学習振興費 (生涯学習課)	1 二十歳の集い開催費	4,648	—	—	—	4,648
	(説 明) 式典(1部)及び企画委員による記念事業(2部)からなる二十歳の集いを開催し、自立した社会の一員としての自覚を促した。 ○開 催 月 日 6年1月7日 ○開 催 方 法 式典、記念事業 ○内 容 式典、企画委員による記念事業、記念品の贈呈 ○参 加 者 数 1,976人/2,635人					
	2 地域と学校の共創推進事業費	654	国	217	—	437
	(説 明) 学校・家庭・地域が連携協働し、地域全体で未来を担う子ども達の成長を支え、地域教育力の向上につなげた。 ○学校支援活動 ・実 施 校 数 小学校 43校/43校 中学校・特別支援学校 20校/20校 ・実 施 日 数 小学校 延べ1,134日 中学校・特別支援学校 延べ122日 ○地域学校協働活動 ・実 施 校 数 小学校 33校/43校 中学校・特別支援学校 16校/20校 ・実 施 日 数 小学校 延べ222日 中学校・特別支援学校 延べ108日					

10款 教 育 費

6項 社 会 教 育 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
文 化 振 興 費 (文化振興課)	1 シャガむ土偶ドキドキ事業費	2,240	国	1,070	—	1,170
	(説 明) 国重要文化財「シャガむ土偶び〜ぐ〜」をテーマとした事業を実施し、縄文文化の普及啓発及び魅力発信に努めた。 ○ファンクラブ「び〜ぐ〜会」の運営 ・期 間 回 数 10月〜6年2月、計4回 ・会 員 数 260人 ○まちかど博物館の実施 ・開 催 期 間 10月〜11月 ・参加店舗数 道の駅ふくしま、飯坂地区の計17施設					
	2 古関裕而を活かしたまちづくり事業費	29,895	国	3,450	—	26,445
	(説 明) 古関裕而氏と古関メロディーを活かしたまちづくりを推進するため、各種事業を実施した。 ○「古関裕而氏野球殿堂入り記念全早慶野球戦福島大会」の開催 ・開 催 月 日 11月26日 ・会 場 県営あづま球場 ・入 場 者 数 5,327人 ○「古関裕而記念音楽祭2023」の開催 ・開 催 月 日 8月11日 ・会 場 ふくしん夢の音楽堂(音楽堂) ・来 場 者 数 483人 ○「ふくしままちなか音楽祭2023」の開催 ・開 催 月 日 10月22日 ・会 場 まちなか広場、福島駅東口駅前広場・地下通路、新浜公園ほか ○古関裕而記念館関連 ・来館者おもてなし事業					

10款 教 育 費		6項 社 会 教 育 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			一 般 財 源
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	
	3 「ふくぶん（福島らしい文化）」発信事業費	4,397		－	－	4,397
(説 明) 本市固有のさまざまな文化や歴史の魅力を“福島らしい文化”として広く市内外へ向けて積極的に発信し、市民のふるさとへの誇りと愛着の醸成に寄与した。 ○土偶の日ドキドキ女子会 ・開催月日 10月9日 ・参加者数 133人 ・会場 宮畑遺跡史跡公園 ○夜の民家園 ・開催月日 7月22日 ・参加者数 1,643人 ・会場 民家園 ○光のアート＆サウンド×音楽堂 ・開催月日 11月5日 ・参加者数 900人 ・会場 ふくしん夢の音楽堂（音楽堂） ○書道パフォーマンス『華と花』 ・開催月日 12月10日 ・参加者数 273人 ・会場 写真美術館						
	4 「ふくしまチェンバー・オーケストラ」活動支援事業費	8,625		－	－	8,625
(説 明) 福島ゆかりのプロの音楽家により構成される「古閑裕而のまち ふくしまチェンバー・オーケストラ」のコンサート開催を支援した。 ○ふくしまチェンバー・オーケストラ公演 ・開催月日 9月17日、10月15日、11月19日 ・会場 ふくしん夢の音楽堂（音楽堂） ・来場者数 延べ1,169人						

10款 教 育 費		6項 社 会 教 育 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
学習センター費 (生涯学習課) (中央学習センター)	1 学習センター運営費	150,691		－	雑入 3,262	147,429
	(説 明)					
	社会教育活動の中心施設として、生活に役立つ知識・技能の習得と文化的教養の向上に寄与するため、市民の生涯にわたる各領域ごとの事業を実施した。					
	また、自主グループの育成、ボランティア活動の推進を通し、コミュニティづくりを促進するとともに、生涯学習のさらなる充実を図るため、学習活動の支援や場所の提供、学習情報の提供、学習相談、図書貸出し等を行った。					
	○学習センター事業実施状況・利用状況（16館6分館）					
	区 分	主 催 事 業	団体等施設利用	計		
	回 数(回)	2,889	44,169	47,058		
	人 数(人)	113,769	717,915	831,684		
	○ふくしまマスターズ大学（年3回開催）					
	・参加者数 延べ1,538人					
文 化 施 設 費 (文化振興課)	1 旧広瀬座再整備事業費	37,282	国	15,834	基金繰入金 2,548 債 18,900	－
	(説 明)					
	民家園内にある国指定重要文化財である旧広瀬座の再整備を進めた。					
	○旧広瀬座再整備事業費（5～7年度継続事業）					
	28,770					
	年 度	事業費	左の財源内訳			
			特定財源			一般財源
			国県支出金	地方債	その他	
	5	28,770	12,975	14,100	1,695	－
	6	437,957	190,732	222,400	24,825	－
7	326,353	100,483	203,200	22,670	－	
計	793,080	304,190	439,700	49,190		
○重要文化財旧広瀬座再整備事業防災工事追加設計業務委託ほか						
8,512						

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳																																																											
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源																																																								
図書館費 (図書館)	1 図書館運営費	225,152		－	雑入 75	225,077																																																								
(説明) 本館、分館（西口・子どもライブラリー）及び各学習センターの資料充実とインターネット予約事業により、図書館サービスの充実と読書活動の推進を図った。 また、各種講座等を開催し、読書意欲の喚起に努め、市民の教養・文化の向上に寄与した。 ○ 利用状況及び蔵書数（6年3月31日現在） <table><tr><th></th><th>利用者数(人)</th><th>貸出冊数(冊)</th><th>蔵書数(冊)</th></tr><tr><td>本館</td><td>122,110</td><td>344,069</td><td>436,518</td></tr><tr><td>移動図書館</td><td>11,693</td><td>29,912</td><td>36,582</td></tr><tr><td>西口ライブラリー</td><td>19,235</td><td>53,107</td><td>35,213</td></tr><tr><td>子どもライブラリー</td><td>10,312</td><td>43,978</td><td>34,892</td></tr><tr><td>蓬萊学習センター</td><td>18,265</td><td>63,902</td><td>43,890</td></tr><tr><td>清水学習センター</td><td>17,851</td><td>66,089</td><td>50,299</td></tr><tr><td>もちずり学習センター</td><td>10,513</td><td>39,494</td><td>32,594</td></tr><tr><td>北信学習センター</td><td>17,310</td><td>64,154</td><td>34,640</td></tr><tr><td>飯坂学習センター</td><td>14,517</td><td>50,096</td><td>36,422</td></tr><tr><td>吾妻学習センター</td><td>18,210</td><td>71,288</td><td>52,697</td></tr><tr><td>松川学習センター</td><td>9,997</td><td>41,621</td><td>28,929</td></tr><tr><td>その他の学習センター(9館)</td><td>39,961</td><td>126,879</td><td>89,797</td></tr><tr><td>計</td><td>309,974</td><td>994,589</td><td>912,473</td></tr></table>								利用者数(人)	貸出冊数(冊)	蔵書数(冊)	本館	122,110	344,069	436,518	移動図書館	11,693	29,912	36,582	西口ライブラリー	19,235	53,107	35,213	子どもライブラリー	10,312	43,978	34,892	蓬萊学習センター	18,265	63,902	43,890	清水学習センター	17,851	66,089	50,299	もちずり学習センター	10,513	39,494	32,594	北信学習センター	17,310	64,154	34,640	飯坂学習センター	14,517	50,096	36,422	吾妻学習センター	18,210	71,288	52,697	松川学習センター	9,997	41,621	28,929	その他の学習センター(9館)	39,961	126,879	89,797	計	309,974	994,589	912,473
	利用者数(人)	貸出冊数(冊)	蔵書数(冊)																																																											
本館	122,110	344,069	436,518																																																											
移動図書館	11,693	29,912	36,582																																																											
西口ライブラリー	19,235	53,107	35,213																																																											
子どもライブラリー	10,312	43,978	34,892																																																											
蓬萊学習センター	18,265	63,902	43,890																																																											
清水学習センター	17,851	66,089	50,299																																																											
もちずり学習センター	10,513	39,494	32,594																																																											
北信学習センター	17,310	64,154	34,640																																																											
飯坂学習センター	14,517	50,096	36,422																																																											
吾妻学習センター	18,210	71,288	52,697																																																											
松川学習センター	9,997	41,621	28,929																																																											
その他の学習センター(9館)	39,961	126,879	89,797																																																											
計	309,974	994,589	912,473																																																											

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	その他の 特定収入	一般財源
2	子どもの読書活動推進事業費	1,369	—	—	—	1,369
	(説明) 「10分読書運動」「ふくしま読書の日」を柱とした読書活動を推進するとともに、子どもの発達段階に応じた支援を行った。 中学生、高校生の読書意欲の向上のため、知的書評合戦「ビブリオバトル」を開催した。 ○ブックスタート事業（0～2歳児） ・実施内容「ブックスタートバック」プレゼント（申込制） ・配布人数 727人 ○ブックステップ事業（3歳児） ・実施内容「ブックステップバック」プレゼント（申込制） ・配布人数 414人 ○学校支援用図書セット貸出事業 ・貸出用図書購入 182冊 ・貸出セット数 766セット ○ビブリオバトル開催 ・開催月日 8月20日 ・参加者数 発表者 15人（中学生10人、高校生5人） ・観覧者数 87人					
3	学校図書館支援事業費	35,673	—	雑入 179	—	35,494
	(説明) 学校司書を小・中学校図書館に配置し、児童生徒の読書活動や学習への支援・学校図書館を活用した教育の充実を図った。 また、学校司書指導員による学校司書への指導・支援や、図書館・学校・学校司書の3者の連携推進により学校図書館の機能強化を行った。 ○学校司書 20人 ○配置校 63校（全校配置） ○学校司書指導員 1人					
4	電子書籍事業費 （新型コロナウイルス関連）	3,411	—	—	—	3,411
	(説明) 24時間いつでも、どこでも、手軽に使用できる電子図書館を運用した。 また、電子書籍の整備を行い、市民の多様なライフスタイルに合わせた読書環境を提供した。 ○電子書籍タイトル数 12,374冊（6年3月31日現在） ○貸出冊数 29,399冊					

10款 教 育 費

6項 社 会 教 育 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
こむこむ館費 (生涯学習課)	1 施設改修事業費	19,595	-	債	11,700	7,895
	(説 明) 雨漏りの解消等を図るため、屋根の改修に向けた実施設計等を行った。 ○実施設計業務委託 ○その他					13,090 6,505
	2 こむこむ館デジタルコンテ ンツ導入事業費 (総合経済対策)	62,296	国	24,029	-	38,267
	(説 明) デジタルへの知識や理解を深めてもらうことを目的に、2種類のデジタルコンテンツを導入し、子ども達に最新のデジタル技術を遊びながら学べる場を提供した。					

10款 教 育 費

7項 保 健 体 育 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
体 育 振 興 費 (スポーツ振興課)	1 ふくしまシティハーフマラ ソン事業費	66,000	-	-	-	66,000
	(説 明) 本市の魅力を全国に発信し、市民のスポーツ活動推進とともに、スポーツによる新たなにぎわいや交流人口の拡大、さらには中心市街地をはじめとする地域経済の活性化、共生社会の実現を図るため、ふくしまシティハーフマラソンを開催した。 ○ふくしまシティハーフマラソン2023 ・開 催 月 日 5月21日 ・会 場 誠電社WINDYスタジアム (信夫ヶ丘競技場) ・種 目 ハーフマラソン、10km、3kmペア、1.5kmチャレンジ車いす ・参 加 者 4,418人					
	2 オリ・パラレガシー事業費	1,849	-	-	-	1,849
	(説 明) 東京2020大会における競技開催市としてのレガシーを最大限に活かし、日米対抗ソフトボール2023や、日本体育大学女子ソフトボール部強化合宿の本市開催を支援するとともに、地域住民との共創によるおもてなしにより、本市の魅力を発信し、地域経済の活性化に寄与した。 ○日米対抗ソフトボール2023 ・開 催 月 日 8月6日 ・会 場 県営あづま球場 ○日本体育大学女子ソフトボール部強化合宿 ・合 宿 日 程 8月10日～12日 ・会 場 信夫ヶ丘球場					
	3 スポーツホームタウンにぎ わい創出事業費 (新型コロナウイルス関連)	12,313	-	雑入	4,781	7,532
	(説 明) 感染症対策を講じながらプロスポーツクラブ等と連携し、交流人口の拡大や中心市街地の活性化につながる交流大会や事業等を実施した。 また、ふくしまエールビジョンやNCVふくしまアリーナ (体育館・武道場) を活用してパブリックビューイングを実施し、スポーツを「みる」機会を提供した。					

(単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳																	
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源															
学校給食センター費 (教育施設管理課)	1 福島型給食推進事業費	226,328	—	—	226,328															
(説 明) 子育て支援の一環として学校給食1食あたり130円、給食費の約4割の保護者負担軽減を図るとともに、学校給食に本市産農産物の使用拡大を図り、地産地消の取り組みを実施した。 <table><tr><td colspan="2"></td><td>実 施 校 数 (校)</td><td>児 童 生 徒 数 (人)</td></tr><tr><td rowspan="2">市 立</td><td>小 学 校</td><td>21</td><td>4,772</td></tr><tr><td>中 学 校</td><td>15</td><td>4,776</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>36</td><td>9,548</td></tr></table>								実 施 校 数 (校)	児 童 生 徒 数 (人)	市 立	小 学 校	21	4,772	中 学 校	15	4,776	計		36	9,548
		実 施 校 数 (校)	児 童 生 徒 数 (人)																	
市 立	小 学 校	21	4,772																	
	中 学 校	15	4,776																	
計		36	9,548																	

11款 災害復旧費

1項 原子力災害復旧費

(単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳																									
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源																						
原子力 災害復旧費 (環境再生推進課) 【環境再生推進室】	1 除染事業費	1,222,526	国 県	5,041 1,217,485	—	—																						
	(説 明)																											
	除去土壌の搬出を行い現場保管の解消に努めるとともに、仮置場の原状回復工事等を実施し返還を進めた。																											
	○輸送等関連事業費 114,541																											
	・現場保管の解消（除去土壌の仮置場への搬出） 20件																											
	残箇所数 164件（6年3月31日現在）																											
	○仮置場関連事業費 1,039,489																											
	・仮置場の返還（原状回復）状況（6年3月31日現在）																											
	<table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th rowspan="2">箇所数</th><th colspan="2">工 事</th><th rowspan="2">完 了</th></tr><tr><th>残置物撤去</th><th>原状回復</th></tr><tr><td>仮 置 場</td><td>34</td><td>3</td><td>3</td><td>28</td></tr><tr><td>仮々置場</td><td>7</td><td>0</td><td>0</td><td>7</td></tr><tr><td>計</td><td>41</td><td>3</td><td>3</td><td>35</td></tr></table>						区 分	箇所数	工 事		完 了	残置物撤去	原状回復	仮 置 場	34	3	3	28	仮々置場	7	0	0	7	計	41	3	3	35
	区 分	箇所数	工 事		完 了																							
残置物撤去			原状回復																									
仮 置 場	34	3	3	28																								
仮々置場	7	0	0	7																								
計	41	3	3	35																								
○事 務 費 68,496																												

11款 災害復旧費

2項 土木施設災害復旧費

(単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳		
			国 支 出	県 金	その他の 特定収入 一般財源
道路橋りょう 災害復旧費 (道路保全課)	1 道路橋りょう復旧費 (令和5年9月豪雨関連)	21,913	—	債 19,900	2,013
	(説明) 9月6日の豪雨により被害を受けた市道施設の復旧工事を行った。 ○柴平・又太郎内線 ほか33カ所				

11款 災害復旧費

3項 衛生施設災害復旧費

(単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳		
			国 支 出	其 の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
保健衛生施設 災害復旧費 (保健総務課)	1 保健福祉センター復旧費 (令和4年福島県沖地震関連)	77,694	国 25,476	債 50,900	1,318
	(説明) 令和4年福島県沖地震により被害を受けた保健福祉センターの復旧工事等を行った。				

11款 災害復旧費

4項 教育施設災害復旧費

(単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳		
			国 支 出	其 の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
社会教育施設 災害復旧費 (生涯学習課)	1 こむこむ館復旧費 (令和4年福島県沖地震関連)	2,971	—	債 2,900	71
	(説明) 令和4年福島県沖地震により被害を受けたこむこむ館の復旧工事を行った。				

2 国民健康保険事業費特別会計

国民健康保険事業費特別会計決算

予算額は、23,374,872千円で、これに対し決算額は、歳入24,201,989千円、歳出22,874,377千円で、差引き1,327,612千円の決算剰余金を生じた。

1 決算の状況

(1) 歳 入

(単位 千円)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率 (%)
国 民 健 康 保 険 税	4,230,657	5,216,511	4,219,000	91,155	912,775	80.9
使 用 料 及 び 手 数 料	2	18	18	-	-	100.0
県 支 出 金	16,593,736	16,301,235	16,301,235	-	-	100.0
財 産 収 入	151	70	70	-	-	100.0
繰 入 金	2,084,507	2,073,022	2,073,022	-	-	100.0
繰 越 金	384,677	1,533,647	1,533,647	-	-	100.0
諸 収 入	71,112	65,541	65,413	-	128	99.8
国 庫 支 出 金	10,030	9,585	9,585	-	-	100.0
計	23,374,872	25,199,629	24,201,989	91,155	912,903	96.0

(2) 歳 出

(単位 千円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
総 務 費	452,092	437,755	-	14,337
保 険 給 付 費	16,429,085	16,146,371	-	282,714
国民健康保険事業費納付金	6,017,458	6,017,456	-	2
保 健 事 業 費	258,979	246,378	-	12,601
そ の 他 の 支 出	217,258	26,416	-	190,842
計	23,374,872	22,874,377	-	500,495

2 総被保険者数 47,151人 (6年3月31日現在)

3 歳 入

(1) 国民健康保険税 4,219,000 千円

○ 令和5年度税率

区分	所得割	均等割	平等割	課税限度額
医療分	6.50%	19,700円	18,300円	65万円
支援分	2.60%	7,800円	7,200円	22万円
介護分	2.60%	10,000円	6,200円	17万円

○ 一般被保険者国民健康保険税 4,218,596 千円

(単位 千円)

区 分	調 定 額	収 入 済 額	還 付 未 済 額 (再 掲)	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率 (%)	一 人 当 た り 調 定 額 (円)	一 世 帯 当 た り 調 定 額 (円)
医療給付費分現年課税分	2,780,633	2,651,801	4,949	-	133,780	95.4	57,203	84,626
後期高齢者支援金等分現年課税分	1,090,758	1,037,352	979	-	54,385	95.1	22,439	33,196
介護納付金分現年課税分	383,462	350,145	345	-	33,661	91.3	26,367	29,988
医療給付費分滞納繰越分	599,465	112,423	132	58,998	428,176	18.8	-	-
後期高齢者支援金等分滞納繰越分	218,681	41,774	12	20,747	156,171	19.1	-	-
介護納付金分滞納繰越分	138,394	25,101	3	11,226	102,070	18.1	-	-

○ 退職被保険者等国民健康保険税 403 千円

(単位 千円)

区 分	調 定 額	収 入 済 額	還 付 未 済 額 (再 掲)	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率 (%)	一 人 当 た り 調 定 額 (円)	一 世 帯 当 た り 調 定 額 (円)
医療給付費分現年課税分	-	-	-	-	-	-	-	-
後期高齢者支援金等分現年課税分	-	-	-	-	-	-	-	-
介護納付金分現年課税分	-	-	-	-	-	-	-	-
医療給付費分滞納繰越分	3,437	280	-	111	3,046	8.1	-	-
後期高齢者支援金等分滞納繰越分	684	52	-	28	604	7.6	-	-
介護納付金分滞納繰越分	998	71	-	45	882	7.1	-	-

○ 東日本大震災に係る国民健康保険税の減免状況（6年3月31日現在）

（単位 件、千円）

区	分	件 数	減 免 額
原子力災害対策特別措置法の規定等により避難対象となっている世帯		181	18,446

(2) 一般会計繰入金 2,073,022千円

（単位 千円）

区	分	決 算 額	摘 要
保 険 基 盤 安 定 繰 入 金（保 険 税 軽 減 分）		759,305	低所得者に対する保険税軽減相当額
保 険 基 盤 安 定 繰 入 金（保 険 者 支 援 分）		420,211	保険税軽減対象者数に応じた平均保険税の一定割合
未 就 学 児 均 等 割 保 険 税 繰 入 金		7,239	未就学児に対する保険税軽減相当額
職 員 給 与 費 等 繰 入 金		363,221	職員給与費・事務費等
出 産 育 児 一 時 金 繰 入 金		28,092	出産育児一時金に係るもの
財 政 安 定 化 支 援 事 業 繰 入 金		258,790	国民健康保険財政の健全化及び保険税負担の平準化に資するための負担金
そ の 他 一 般 会 計 繰 入 金		235,895	・ 子ども医療費等繰入金 86,417 ・ 国庫支出金等影響額補填繰入金 149,478
産 前 産 後 保 険 税 繰 入 金		269	出産する予定の被保険者に対する産前産後期間の保険税免除相当額

4 歳 出

(1) 保 険 給 付 費 16,146,371千円

(単位 件、千円)

区 分	決 算 額		左 の 内 訳			
			一 般 被 保 険 者 分		退 職 被 保 険 者 等 分	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
療 養 給 付 費	903,625	14,030,955	903,624	14,030,943	1	12
療 養 費	12,819	76,811	12,819	76,811	-	-
審 査 支 払 手 数 料	914,815	58,059	914,815	58,059	-	-
高 額 療 養 費	29,595	1,919,278	29,595	1,919,278	-	-
高 額 介 護 合 算 療 養 費	70	1,923	70	1,923	-	-
移 送 費	-	-	-	-	-	-
出 産 育 児 一 時 金	96	42,156	96	42,156	-	-
葬 祭 費	343	17,150	343	17,150	-	-
傷 病 手 当 金	4	40	4	40	-	-
計	1,861,367	16,146,371	1,861,366	16,146,359	1	12

※福島県国民健康保険団体連合会からの返還金は含めない。

○ 東日本大震災に係る窓口一部負担金免除証明書交付状況（6年3月31日現在）

(単位 件)

区 分	証 明 書 交 付 数
原子力災害対策特別措置法の規定等により避難対象となっている被保険者	235

○ 東日本大震災に係る窓口一部負担金免除状況（6年3月31日現在）

(単位 件、千円)

区 分	免除件数	免 除 額
現物給付分（6年2月診療分まで）	5,630	32,710
現金給付（還付）分（6年3月支給分まで）	14	237

○ 令和3年福島県沖地震関連災害に係る窓口一部負担金免除証明書交付状況（6年3月31日現在）

（単位 件）

区	分	証 明 書 交 付 数
令和3年福島県沖地震関連災害により特に甚だしい被害を受けたと認められる被保険者		-

○ 令和3年福島県沖地震関連災害に係る窓口一部負担金免除状況（6年3月31日現在）

（単位 件、千円）

区	分	免除件数	免 除 額
現物給付分（6年2月診療分まで）		1	4
現金給付（還付）分（6年3月支給分まで）		-	-

○ 令和4年福島県沖地震関連災害に係る窓口一部負担金免除証明書交付状況（6年3月31日現在）

（単位 件）

区	分	証 明 書 交 付 数
令和4年福島県沖地震関連災害により特に甚だしい被害を受けたと認められる被保険者		-

○ 令和4年福島県沖地震関連災害に係る窓口一部負担金免除状況（6年3月31日現在）

（単位 件、千円）

区	分	免除件数	免 除 額
現物給付分（6年2月診療分まで）		-	-
現金給付（還付）分（6年3月支給分まで）		9	225

5 基金の状況

(1) 特定目的基金

（単位 千円）

区	分	4 年 度 末 現 在 高	5 年 度 決 算 額		5 年 度 末 現 在 高	積 立 方 法
			積 立 額	取りくずし額		
国 民 健 康 保 険 財 政 調 整 基 金		1,000,995	70	-	1,001,065	譲渡性預金

3 飯坂町財産区特別会計

飯坂町財産区特別会計決算

予算額は、126,684千円で、これに対し決算額は、歳入202,670千円、歳出99,156千円で、差引き103,514千円の決算剰余金を生じた。

1 決算の状況

(1) 歳 入

(単位 千円)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率 (%)
使 用 料 及 び 手 数 料	92,355	160,475	93,219	9,555	57,701	58.1
国 庫 支 出 金	4,356	2,000	2,000	-	-	100.0
財 産 収 入	15	15	15	-	-	100.0
繰 越 金	29,837	107,285	107,285	-	-	100.0
諸 収 入	121	151	151	-	-	100.0
計	126,684	269,926	202,670	9,555	57,701	75.1

(2) 歳 出

(単位 千円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
財 産 区 管 理 会 費	227	161	-	66
温 泉 経 営 費	87,888	66,966	-	20,922
公 衆 浴 場 費	33,310	31,809	-	1,501
山 林 管 理 費	259	220	-	39
予 備 費	5,000	-	-	5,000
計	126,684	99,156	-	27,528

2 温泉事業関係

(1) 温泉供給事業

12カ所の源泉から汲み揚げた温泉を11カ所の分湯槽を通じ、72カ所に供給した。

事業内容

(単位 千円)

区 分	説 明	事 業 費
供 給 設 備 整 備 費	・ 筑前源泉改修工事	3,575
	・ 温泉供給事業用水中ポンプ購入	2,310
保 有 施 設 最 適 化 推 進 費	・ 5 源泉水中ポンプ化設計業務委託	4,400
	・ 大門集湯槽改修設計業務委託	2,145
	・ 八幡動力室改修設計業務委託	1,408

(2) 公衆浴場事業

4カ所の公衆浴場を管理運営し、127,433人の利用者があった。

公衆浴場利用者数

(単位 人)

公 衆 浴 場 名	利 用 者 数
十 綱 湯	29,777
天 王 寺 穴 原 湯	28,922
八 幡 の 湯	37,864
大 門 の 湯	30,870
計	127,433

3 山林事業関係

(1) 山林管理事業

財産区造林地の適切な管理を実施した。

4 公設地方卸売市場事業費特別会計

公設地方卸売市場事業費特別会計決算

予算額は、249,719千円で、これに対し決算額は、歳入283,858千円、歳出234,881千円で、差引き48,977千円の決算剰余金を生じた。
このうち、市場施設再整備計画事業の継続費繰越に伴う持越所要財源7,722千円を控除すると、純剰余金は、41,255千円となった。

1 決算の状況

(1) 歳 入		(単位 千円)					
区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率 (%)	
使 用 料 及 び 手 数 料	154,201	152,052	151,534	-	518	99.7	
財 産 収 入	3,177	3,177	3,177	-	-	100.0	
繰 入 金	80,822	80,822	80,822	-	-	100.0	
繰 越 金	11,517	48,324	48,324	-	-	100.0	
諸 収 入	2	1	1	-	-	100.0	
計	249,719	284,376	283,858	-	518	99.8	

(2) 歳 出		(単位 千円)			
区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	
経 営 費	231,074	218,241	7,722	5,111	
公 債 費	16,645	16,640	-	5	
予 備 費	2,000	-	-	2,000	
計	249,719	234,881	7,722	7,117	

2 取 扱 高（年度集計）

(1) 青 果 物

（単位 t、千円）

野 菜 等		果 実		合 計	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
32,240	7,583,487	8,351	3,707,605	40,591	11,291,092

（注）野菜等には、鳥卵及び加工食品を含む。

(2) 水 産 物

（単位 t、千円）

鮮 魚		冷 凍 魚 ・ 塩 干 加 工 品		合 計	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
1,496	2,022,815	2,590	2,568,993	4,086	4,591,809

(3) 花 き

（単位 千本、千鉢、千個、千円）

切 花		鉢 物 ・ そ の 他		合 計	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
13,586	1,051,412	570	168,107	14,155	1,219,519

3 指定管理者管理運営状況

（一社）市公設地方卸売市場協会を指定管理者として市場の管理運営を行い、施設の維持管理に努めるとともに、料理教室等を開催するなど市場の活性化を図った。

○ 経 費

・ 指定管理料 87,143千円

○ 施設利用状況

・ 料理教室ほか 31回 1,447人

4 維持補修事業

市場機能の維持を図るため、既存の冷蔵庫冷凍機修繕及び重量電動シャッター修繕、火災報知設備幹線修繕を実施した。

事 業 費 14,998千円

5 市場施設再整備計画事業

施設の老朽化が進行していることから市場機能の高度化及び強化を図るため、市場再整備に向け、敷地測量の実施や整備基本計画を策定した。

事業費 28,865千円

6 各種補助等

(1) 経営基盤強化対策費補助

安価で豊富な生鮮食料品の安定供給を確保し、公設地方卸売市場がもつ「市民の台所」としての役割を果たすため、市場関係者に経営基盤強化を図るための補助金を交付した。

補助金額 5,383千円

(2) 市場協会運営費補助

(一社)市公設地方卸売市場協会の運営円滑化を図るため、補助金を交付した。

補助金額 15,248千円

5 土地区画整理事業費特別会計

土地区画整理事業費特別会計決算

予算額は、24,955千円で、これに対し決算額は、歳入27,527千円、歳出23,072千円で、差引き4,455千円の決算剰余金を生じた。

1 決算の状況

(1) 歳 入		(単位 千円)						
区	分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率(%)	
福島北土地区画 整理事業収入	繰入金	15,022	15,022	15,022	-	-	100.0	
	繰越金	1	2,331	2,331	-	-	100.0	
	諸収入	37	80	80	-	-	100.0	
福島都心中央土地区画 整理事業収入	繰入金	9,894	9,894	9,894	-	-	100.0	
	繰越金	1	200	200	-	-	100.0	
計		24,955	27,527	27,527	-	-	100.0	

(2) 歳 出		(単位 千円)			
区	分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額
福島北土地区画整理事業費		15,060	13,177	-	1,883
福島都心中央土地区画整理事業費		9,895	9,895	-	-
計		24,955	23,072	-	1,883

6 介護保険事業費特別会計

介護保険事業費特別会計決算

予算額は、28,241,857千円で、これに対し決算額は、歳入27,931,765千円、歳出27,677,021千円で、差引き254,744千円の決算剰余金を生じた。

1 決算の状況

(1) 歳 入

(単位 千円)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率 (%)
介 護 保 険 料	5,803,299	5,863,994	5,811,725	15,823	46,616	99.1
使 用 料 及 び 手 数 料	1	-	-	-	-	-
国 庫 支 出 金	6,320,429	6,372,560	6,372,560	-	-	100.0
支 払 基 金 交 付 金	7,314,333	7,166,212	7,166,212	-	-	100.0
県 支 出 金	3,927,015	3,890,690	3,890,690	-	-	100.0
財 産 収 入	361	192	192	-	-	100.0
繰 入 金	4,494,700	4,311,810	4,311,810	-	-	100.0
繰 越 金	375,175	375,174	375,174	-	-	100.0
諸 収 入	6,544	3,402	3,402	-	-	100.0
計	28,241,857	27,984,034	27,931,765	15,823	46,616	99.8

(2) 歳 出

(単位 千円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
総 務 費	515,180	447,066	-	68,114
保 険 給 付 費	26,287,226	25,819,989	-	467,237
地 域 支 援 事 業 費	954,753	938,293	-	16,460
基 金 積 立 金	112,539	112,370	-	169
公 債 費	1	-	-	1
諸 支 出 金	371,158	359,303	-	11,855
予 備 費	1,000	-	-	1,000
計	28,241,857	27,677,021	-	564,836

2 介護保険被保険者数（6年3月31日現在）（単位 人）

総 数	第1号被保険者数	第2号被保険者数
173,487	83,488	89,999

3 第1号被保険者介護保険料収入状況（単位 千円）

区 分	調 定 額	収 入 済 額	還 付 未 済 額 (再 掲)	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率 (%)
現 年 度 分 特 別 徴 収 保 険 料	5,330,171	5,339,838	9,667	-	-	100.0
現 年 度 分 普 通 徴 収 保 険 料	479,017	457,370	413	-	22,060	95.4
計	5,809,188	5,797,208	10,080	-	22,060	99.6
滞 納 繰 越 分 普 通 徴 収 保 険 料	54,806	14,517	90	15,823	24,556	26.3

（注）収入済額は還付未済額を含み、収入率は還付未済額を算入しない。

4 要介護認定状況（6年3月31日現在）（単位 人）

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
人 数	2,400	2,337	3,464	3,114	2,314	2,095	1,371	17,095
割 合 (%)	14.0	13.7	20.3	18.2	13.5	12.3	8.0	100.0

5 保険給付状況

(単位 千円)

	サ ー ビ ス 区 分	サ ー ビ ス 内 容	給 付 額
介護サービスの給付状況	訪問介護	ホームヘルパーによる日常生活の世話	2,045,822
	訪問入浴介護	移動入浴車等による入浴介護	190,801
	訪問看護	看護師等による療養上の世話	655,945
	訪問リハビリテーション	理学療法士等によるリハビリテーション	90,116
	居宅療養管理指導	医師等による療養上の管理・指導	168,396
	通所介護	通所施設での食事、入浴サービス	2,604,704
	通所リハビリテーション	通所施設でのリハビリテーション	833,189
	短期入所生活介護	老人福祉施設でのショートステイ	912,024
	短期入所療養介護	老人保健施設等でのショートステイ	261,802
	特定施設入居者生活介護	有料老人ホーム等における介護	1,320,253
	福祉用具貸与	特殊寝台等福祉用具の貸与	979,040
	福祉用具購入費支給	腰掛便座等の購入に対する給付	38,192
	住宅改修費支給	手すり取付等住宅改修工事に対する給付	50,182
	居宅介護支援	居宅介護サービス計画作成	1,372,918
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	24時間対応による定期・随時の訪問介護・看護	749,033
	夜間対応型訪問介護	夜間の定期的な巡回や随時訪問	3,236
	認知症対応型通所介護	認知症の方への通所施設での食事、入浴サービス	245,957
	小規模多機能型居宅介護	通い・訪問・宿泊を組み合わせた介護	594,455
	看護小規模多機能型居宅介護	上記サービスに訪問看護を組み合わせた介護	398,501
	認知症対応型共同生活介護	グループホームにおける介護	1,701,950
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	小規模の特別養護老人ホーム入所者へのサービス	204,502
	地域密着型通所介護	定員が18人以下の通所施設での食事、入浴サービス	560,501
	介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム入所者へのサービス	4,761,256
	介護老人保健施設	老人保健施設入所者へのサービス	3,242,579
	介護療養型医療施設	療養病床での療養看護や医学的介護	-
	介護医療院	長期療養のための医療や日常生活上の介護	7,004
	小	計	23,992,358
介護予防サービスの給付状況	介護予防訪問看護	看護師等による療養上の世話	45,311
	介護予防訪問リハビリテーション	理学療法士等によるリハビリテーション	13,442
	介護予防居宅療養管理指導	医師等による療養上の管理・指導	6,661
	介護予防通所リハビリテーション	通所施設でのリハビリテーション	180,930
	介護予防短期入所生活介護	老人福祉施設でのショートステイ	8,906
	介護予防短期入所療養介護	老人保健施設等でのショートステイ	1,441
	介護予防特定施設入居者生活介護	有料老人ホーム等における介護	46,800
	介護予防福祉用具貸与	歩行器等福祉用具の貸与	125,270
	介護予防福祉用具購入費支給	腰掛便座等の購入に対する給付	9,495
	介護予防住宅改修費支給	手すり取付等住宅改修工事に対する給付	29,409
	介護予防支援	介護予防サービス計画作成	103,948
	介護予防認知症対応型通所介護	認知症の方への通所施設での食事、入浴サービス	42
	介護予防小規模多機能型居宅介護	通い・訪問・宿泊を組み合わせた介護	14,809
	介護予防認知症対応型共同生活介護	グループホームにおける介護	4,926
	小	計	591,390
その他	特定入所者介護サービス費		525,737
	高額介護サービス等費		598,337
	高額医療合算介護サービス等費		78,629
	審査支払手数料		27,102
	小	計	1,229,805
合		計	25,813,553

6 基金の状況

(単位 千円)

区 分	4年度末現在高	5年度決算額		5年度末現在高	積立方法
		積立額	取りくずし額		
介護給付費準備基金	2,692,531	112,370	170,000	2,634,901	譲渡性預金

7 地域支援事業

(1) 介護予防事業等費

要支援者などを対象に介護予防・日常生活支援総合事業を実施した。

また、高齢者が要介護状態にならずに健康で暮らせるために、介護予防事業を推進した。

○ 介護予防・日常生活支援総合事業

(単位 千円)

サ ー ビ ス 種 別	サ ー ビ ス 内 容	事 業 費
第1号訪問事業（訪問型サービス）	ホームヘルパーによる日常生活の世話	167,957
第1号通所事業（通所型サービス）	通所施設での食事、入浴サービス	529,135
介護予防ケアマネジメント事業	介護予防サービス計画書の作成費用	72,721
高額介護予防サービス事業		1,647
審査支払手数料		2,861
計		774,321

7 庁舎整備基金運用特別会計

庁舎整備基金運用特別会計決算

予算額は、1,000千円で、これに対し決算額は、歳入・歳出それぞれ1,000千円と同額であった。

1 決算の状況

(1) 歳 入		(単位 千円)				
区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率 (%)
貸 付 金 元 利 収 入	1,000	1,000	1,000	-	-	100.0
計	1,000	1,000	1,000	-	-	100.0

(2) 歳 出		(単位 千円)		
区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
繰 出 金	1,000	1,000	-	-
計	1,000	1,000	-	-

8 後期高齢者医療事業費特別会計

後期高齢者医療事業費特別会計決算

予算額は、4,008,450千円で、これに対し決算額は、歳入3,993,211千円、歳出3,979,120千円で、差引き14,091千円の決算剰余金を生じた。

1 決算の状況

(1) 歳 入

(単位 千円)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率 (%)
後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	3,165,011	3,168,017	3,147,305	5,220	21,079	99.3
使 用 料 及 び 手 数 料	1	-	-	-	-	-
繰 入 金	833,025	830,436	830,436	-	-	100.0
繰 越 金	1	11,148	11,148	-	-	100.0
諸 収 入	10,412	4,322	4,322	-	-	100.0
計	4,008,450	4,013,924	3,993,211	5,220	21,079	99.5

(2) 歳 出

(単位 千円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
総 務 費	92,340	89,686	-	2,654
後期高齢者医療広域連合納付金	3,906,110	3,886,129	-	19,981
諸 支 出 金	10,000	3,305	-	6,695
計	4,008,450	3,979,120	-	29,330

2 被 保 険 者 数 45,590人 (6年3月31日現在)

3 保険料収入状況

(単位 千円)

区 分	調 定 額	収 入 済 額	還付未済額(再掲)	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額
現 年 度 分 特 別 徴 収 保 険 料	2,044,830	2,048,647	3,817	-	-
現 年 度 分 普 通 徴 収 保 険 料	1,099,560	1,088,913	1,482	-	12,129
滞 納 繰 越 分 普 通 徴 収 保 険 料	23,627	9,745	288	5,220	8,949
計	3,168,017	3,147,305	5,586	5,220	21,079

4 東日本大震災に係る対応状況

(1) 東日本大震災に係る後期高齢者医療保険料の減免状況（6年3月31日現在）

（単位 件、千円）

区	分	件 数	減 免 額
原子力災害対策特別措置法の規定等により避難対象となっている被保険者		114	3,660

(2) 東日本大震災に係る窓口一部負担金免除証明書交付状況（6年3月31日現在）

（単位 件）

区	分	証 明 書 交 付 数
原子力災害対策特別措置法の規定等により避難対象となっている被保険者		114

(3) 東日本大震災に係る窓口一部負担金免除状況（6年3月31日現在）

（単位 件、千円）

区	分	免除件数	免 除 額
現物給付分（6年2月診療分まで）		3,155	12,690
現金給付（還付）分（6年3月支給分まで）		-	-

9 青木財産区特別会計

青木財産区特別会計決算

予算額は、2,154千円で、これに対し決算額は、歳入14,140千円、歳出564千円で、差引き13,576千円の決算剰余金を生じた。

1 決算の状況

(1) 歳入

(単位 千円)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率 (%)
財 産 収 入	381	472	455	-	17	96.4
繰 越 金	1,772	13,685	13,685	-	-	100.0
諸 収 入	1	-	-	-	-	-
計	2,154	14,157	14,140	-	17	99.9

(2) 歳出

(単位 千円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
財 産 区 管 理 会 費	234	154	-	80
管 理 費	920	410	-	510
予 備 費	1,000	-	-	1,000
計	2,154	564	-	1,590

2 事業の状況

(1) 山林管理事業

青木生産森林組合へ委託し、財産区有地を適切に管理した。

10 工業団地整備事業費特別会計

工業団地整備事業費特別会計決算

予算額は、1,952,461千円で、これに対し決算額は、歳入1,747,923千円、歳出1,710,874千円で、差引き37,049千円の決算剰余金を生じた。

このうち、第2期福島おおぞらインター工業団地整備事業の継続費繰越に伴う持越所要財源77千円を控除すると、純剰余金は、36,972千円となった。

1 決算の状況

(1) 歳 入		(単位 千円)					
区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率 (%)	
県 支 出 金	572	535	535	-	-	100.0	
財 産 収 入	490,387	490,387	490,387	-	-	100.0	
繰 越 金	1	-	-	-	-	-	
諸 収 入	1	1	1	-	-	100.0	
市 債	1,461,500	1,438,400	1,257,000	-	181,400	87.4	
計	1,952,461	1,929,323	1,747,923	-	181,400	90.6	

(2) 歳 出		(単位 千円)			
区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	
工 業 団 地 整 備 費	1,482,592	1,277,744	181,477	23,371	
公 債 費	433,524	433,130	-	394	
予 備 費	36,345	-	-	36,345	
計	1,952,461	1,710,874	181,477	60,110	

2 継続費の件

(1) 福島おおぞそうインター工業団地整備事業費

産業の振興および雇用創出のため、企業誘致の受け皿となる第2期福島おおぞそうインター工業団地の整備を進めた。

○第2期福島おおぞそうインター工業団地整備事業（5～7年度継続事業）

（単位 千円）

年度	事業費	左 の 財 源 内 訳			
		特 定 財 源			一般財源
		国県支出金	地方債	その他	
5	154,923	-	154,900	-	23
6	854,277	-	854,200	-	77
7	672,800	100,000	572,800	-	-
計	1,682,000	100,000	1,581,900	-	100

11 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計

母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計決算

予算額は、21,853千円で、これに対し決算額は、歳入31,292千円、歳出16,881千円で、差引き14,411千円の決算剰余金を生じた。

1 決算の状況

(1) 歳入 (単位 千円)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率 (%)
繰 入 金	3,882	3,554	3,554	-	-	100.0
繰 越 金	9,985	19,066	19,066	-	-	100.0
諸 収 入	7,986	11,706	8,672	490	2,544	74.1
計	21,853	34,326	31,292	490	2,544	91.2

(2) 歳出 (単位 千円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	18,362	13,390	-	4,972
諸 支 出 金	3,491	3,491	-	-
計	21,853	16,881	-	4,972

2 貸付状況 (単位 人、千円)

区 分	人 数			金 額		
	新 規	継 続	合 計	新 規	継 続	合 計
母 子 福 祉 資 金 貸 付 金	5	3	8	1,591	1,752	3,343
父 子 福 祉 資 金 貸 付 金	-	-	-	-	-	-
寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 金	-	-	-	-	-	-
計	5	3	8	1,591	1,752	3,343

各基金運用状況報告書

各基金の運用状況報告書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第241条第5項の規定により、下記の基金につき令和5年度の運用状況を示す書類を作成したので、監査委員の審査に付し、その意見をつけて別紙のとおり提出する。

記

1 福島市土地開発基金

1 福島市土地開発基金

この基金は、公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要のある土地をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図るため設置したものであるが、5年度の運用状況は次のとおりである。

(1) 現金収支状況

(単位 円)

区 分					金 額
年 度 当 初 現 在 高					1,467,882,362
積 立 額	新 規 積 立				-
	利 子 積 立				92,477
	処 分 益 金 積 立				1,562
	貸 付 益 金 積 立				-
	土 地 貸 付 料				355,908
	小 計				449,947
財 産 取 得 額					135,629,637
財 産 処 分 額					45,923,332
財 産 処 分 に 伴 う 差 額					-
貸 付 額	貸 付				-
	償 還				-
年 度 末 現 在 高					1,378,626,004

(2) 貸付金の状況

(単位 円)

年 度 当 初 現 在 高	5 年 度		年 度 末 現 在 高
	増	減	
1,338,000,000	-	-	1,338,000,000

(3) 土地等の取得・処分の状況

(単位 円)

用 途	4 年 度 未 残 高		5 年 度 取 得 高		5 年 度 処 分 高		5 年 度 未 残 高	
	面積(㎡)	金 額	面積(㎡)	金 額	面積(㎡)	金 額	面積(㎡)	金 額
来 庁 者 用 駐 車 場 用 地	407.07	89,555,400	-	-	-	-	407.07	89,555,400
特 定 公 共 賃 貸 住 宅 用 地	1,599.00	32,068,200	-	-	-	-	1,599.00	32,068,200
(仮) 信夫山ポケットパーク整備用地	329.57	15,885,274	-	-	-	-	329.57	15,885,274
(都) 渡 利 本 内 線 事 業 用 地	220.42	17,536,845	-	-	-	-	220.42	17,536,845
(都) 曾根田町桜木町線代替用地	3,043.94	183,000,000	-	-	-	-	3,043.94	183,000,000
(都) 太 平 寺 岡 部 線 事 業 用 地	785.37	31,957,774	-	-	31.90	2,542,430	753.47	29,415,344
(都) 曾根田町桜木町線事業用地	153.34	21,057,142	149.18	13,657,477	302.52	34,714,619	-	-
(都) 杉妻町早稲町線事業用地	-	-	272.78	87,575,202	53.54	8,666,283	219.24	78,908,919
市道入江町・桜木町線事業用地	69.70	3,763,890	-	-	-	-	69.70	3,763,890
市道杉妻町・御山線道路用地	861.38	55,600,000	-	-	-	-	861.38	55,600,000
市道大蔵・南慶二線事業用地	-	-	29.35	1,423,475	-	-	29.35	1,423,475
市道北沢又・丸子線事業用地	-	-	30.34	1,288,638	-	-	30.34	1,288,638
市道北谷地・長畑線事業用地	-	-	17.31	112,515	-	-	17.31	112,515
市道杉妻町・御山線(新浜町工区)代 替 地	-	-	343.70	28,600,000	-	-	343.70	28,600,000
市道鳥川・大笹生線事業用地	-	-	290.73	2,972,330	-	-	290.73	2,972,330
合 計	7,469.79	450,424,525	1,133.39	135,629,637	387.96	45,923,332	8,215.22	540,130,830